

筑波大学大学院 人間総合科学学術院

教育学学位プログラム

2022年度 履修ガイド

教育学学位プログラム

目次

1. 履修に関する情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.1

学年暦

履修上の一般的注意事項 (Twins/Kdb 簡易マニュアル)

授業実施指針について

2. 開設授業科目一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.25

学術院共通基盤科目

(必修科目：教育学理論研究、次世代教育開発研究、Theory of International Education) 他

専門基礎科目 (教育基礎科学 SP)

専門基礎科目 (次世代 SP・学校教育領域・S L 分野)

専門基礎科目 (次世代 SP・学校教育領域・英語教育分野)

専門基礎科目 (次世代 SP・学校教育領域・芸術科教育分野)

専門基礎科目 (次世代 SP・学校教育領域・保健体育教育分野)

専門基礎科目 (次世代 SP・国語教育領域)

専門基礎科目 (次世代 SP・社会科教育領域)

専門基礎科目 (次世代 SP・数学教育領域)

専門基礎科目 (次世代 SP・理科教育領域)

専門基礎科目 (国際教育 SP)

専門科目 (教育基礎科学 SP)

専門科目 (次世代 SP・学校教育領域・S L 分野)

専門科目 (次世代 SP・学校教育領域・英語教育分野)

専門科目 (次世代 SP・学校教育領域・芸術科教育分野)

専門科目 (次世代 SP・学校教育領域・保健体育教育分野)

専門科目 (次世代 SP・国語教育領域)

専門科目 (次世代 SP・社会科教育領域)

専門科目 (次世代 SP・数学教育領域)

専門科目 (次世代 SP・理科教育領域)

専門科目 (国際教育 SP)

外国人教員研修留学生カリキュラム

3. 履修方法・修了要件・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.90

教育学学位プログラム全体

教育基礎科学 SP

次世代 SP

国際教育 SP

達成度評価について

4. 各種資格の取得について・・・・・・・・・・・・・・・・ p.97

教育職員免許状の取得について

教員免許取得に係る科目一覧（初等教育・教育学学位 P）

学校心理士資格について

5. その他の情報へのリンク・・・・・・・・・・・・・・・・ p.110

利用上の注意

履修ガイドに記載されている情報は、2022年4月6日時点のものです。
情報が新たに更新される場合がありますので、最新の情報は Kdb や Twins にて
ご確認ください。授業方法については Manaba の方も参照してください。

履修に関する情報

学年暦

履修上の一般的注意事項 (Twins/Kdb 簡易マニュアル)

授業実施指針について

令和4年度学年暦

事 項	筑波キャンパス(学群/大学院)	東京キャンパス
春学期(4月1日～9月30日)		
学年開始	4月1日(金)	4月1日(金)
春季休業	4月1日(金)～4月4日(月)	4月1日(金)～4月4日(月)
入学式	4月5日(火)	4月9日(土)
新入生オリエンテーション	4月5日(火)～4月7日(木)	4月9日(土)
オリエンテーション予備日	4月8日(金)～4月12日(火)	
春学期授業開始	4月13日(水)	4月12日(火)
春季スポーツ・デー	5月14日(土)～5月15日(日) (予定)	
春Aモジュール期末試験	5月24日(火)	
春ABモジュール期末試験	6月29日(水)～7月5日(火)	
春ABCモジュール期末試験	8月3日(水)～8月9日(火)	7月30日(土)、8月2日(火)～8月5日(金)
春学期授業終了	8月9日(火)	7月29日(金)
期末試験予備日	8月10日(水)	8月6日(土)
春Cモジュール期末試験	8月10日(水)	
夏季休業	8月11日(木)～9月30日(金)	8月9日(火)～9月30日(金)
卒業式/大学院学位記授与式	9月22日(木)	
秋学期(10月1日～3月31日)		
秋学期入学式	9月30日(金)	
開学記念日	10月1日(土)	10月1日(土)
秋学期授業開始	10月3日(月)	10月4日(火)
筑波キャンパス電気設備点検(全学停電)	10月下旬(予定)	
学園祭	11月4日(金)～11月6日(日) (予定)	
秋Aモジュール期末試験	11月10日(木)	
秋季スポーツ・デー	11月19日(土)～11月20日(日) (予定)	
秋ABモジュール期末試験	12月22日(木)～12月28日(水)	
冬季休業	12月29日(木)～1月5日(木)	12月29日(木)～1月4日(水)
秋ABCモジュール期末試験	2月8日(水)～2月14日(火)	1月24日(火)、1月27日(金)、1月28日(土) 2月1日(水)、2月2日(木)
秋Cモジュール期末試験	2月15日(水)～2月16日(木)	
秋学期授業終了	2月14日(火)	1月26日(木)
期末試験予備日	2月15日(水)～2月16日(木)	1月31日(火) 2月3日(金)
春季休業	2月17日(金)～3月31日(金)	2月4日(土)～3月31日(金)
卒業式/大学院学位記授与式	3月24日(金)	3月25日(土)
学年終了	3月31日(金)	3月31日(金)

(備 考)

- 1 学園祭の実施に伴い、11月4日(金)及び11月7日(月)の授業は臨時休講とする。(東京キャンパスを除く)
 - 2 定期健康診断の日程については、別に定め、実施時間に当たる学群・学類の当該年次及び大学院の授業は、臨時休講とする。(東京キャンパスを除く)
 - 3 授業日数確保のため、下記の祝日には授業を実施する。ただし、5月2日(月)は臨時休講とする。(東京キャンパスを除く)
4月29日(金)、7月18日(月)、10月10日(月)
 - 4 授業日数確保のため、下記のとおり曜日を振替えて授業を実施する。(東京キャンパスを除く)
5月6日(金)は火曜日の授業を実施する。
11月8日(火)は木曜日の授業、11月9日(水)は金曜日の授業、11月25日(金)は水曜日の授業を実施する。
1月17日(火)は月曜日の授業を実施する。
 - 5 推薦入試の実施に伴い、11月28日(月)～11月30日(水)は全日臨時休業とする。ただし28日は3年次TOEIC®IPテストを実施する。(東京キャンパスを除く)
 - 6 大学入学共通テストの実施に伴い、1月13日(金)及び1月16日(月)は全日臨時休業とする。(東京キャンパスを除く)
 - 7 医学類に係る卒業日は令和5年3月10日とし、卒業式は上記日程に従い実施する。
- ※ 学期(学期の区分)は、春学期と秋学期の2学期とし、5週単位の6つ(春A、春B、春C、秋A、秋B、秋C)のモジュールで構成する。

1 履修上の一般的注意事項

(1) 学期

学期は、春学期と秋学期の2学期とし、6つのモジュールで構成しています。学期の期間は次のとおりです。

春学期： 4月1日～9月30日 秋学期： 10月1日～3月31日

春学期は春A、春B、春Cモジュール、秋学期は秋A、秋B、秋Cモジュールで構成されます。

また、教育上特別の必要がある場合は、休業期間等において授業を行うことがあります。

2022年度各モジュールの期間、授業開始日、期末試験日等については、以下及び学年暦を参照してください。

	Aモジュール開始授業実施期間		Bモジュール開始授業実施期間		Cモジュール開始授業実施期間	
春学期	春ABC	4月13日～8月2日	春BC	5月25日～8月2日	春C	7月6日～8月9日
	春AB	4月13日～6月28日	春B	5月25日～6月28日	-	-
	春A	4月13日～5月23日	-	-	-	-
	春Aモジュール期末試験※		: 5月24日			
春AB・春Bモジュール期末試験		: 6月29日～7月5日				
春ABC・春BCモジュール期末試験		: 8月3日～8月9日				
春Cモジュール期末試験※		: 8月10日				
秋学期	秋ABC	10月1日～2月7日	秋BC	11月11日～2月7日	秋C	1月6日～2月14日
	秋AB	10月1日～12月21日	秋B	11月11日～12月21日	-	-
	秋A	10月1日～11月9日	-	-	-	-
	秋Aモジュール期末試験※		: 11月10日			
秋AB・秋Bモジュール期末試験		: 12月22日～12月28日				
秋ABC・秋BCモジュール期末試験		: 2月8日～2月14日				
秋Cモジュール期末試験※		: 2月15、16日				

※春A・C、秋A・Cモジュール期末試験日について

A又はCモジュールで完結する科目の試験を実施するための日で、該当しない科目は原則として休講となります。期末試験日における試験実施の有無、日程等については科目ごとに周知します。授業担当教員の指示に従って受講してください。

(2) 授業時間

授業時間の区分は、次のとおりです。(1時限＝75分)

【筑波キャンパス】(月曜日～金曜日開講)

時限	開始時間～終了時間	休憩時間
第1時限	8:40～9:55	9:55～10:10
第2時限	10:10～11:25	11:25～12:15
第3時限	12:15～13:30	13:30～13:45
第4時限	13:45～15:00	15:00～15:15
第5時限	15:15～16:30	16:30～16:45
第6時限	16:45～18:00	

大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例に係る授業時間

時限	開始時間～終了時間	休憩時間
第7時限	18:00～19:15	19:15～19:20

第 8 時限	19 : 20 ~ 20 : 35	
--------	-------------------	--

【東京キャンパス】（火曜日～土曜日開講。ただし、火曜日～金曜日は第 7 時限及び第 8 時限開講、土曜日は第 1 時限から開講）

時限	開始時間～終了時間	休憩時間
第 1 時限	8 : 55 ~ 10 : 10	10 : 10 ~ 10 : 20
第 2 時限	10 : 20 ~ 11 : 35	11 : 35 ~ 11 : 45
第 3 時限	11 : 45 ~ 13 : 00	13 : 00 ~ 13 : 45
第 4 時限	13 : 45 ~ 15 : 00	15 : 00 ~ 15 : 10
第 5 時限	15 : 10 ~ 16 : 25	16 : 25 ~ 16 : 35
第 6 時限	16 : 35 ~ 17 : 50	17 : 50 ~ 18 : 20
第 7 時限	18 : 20 ~ 19 : 35	19 : 35 ~ 19 : 45
第 8 時限	19 : 45 ~ 21 : 00	

(3) 単位と時間

1 単位の授業科目は 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、その授業時間は次の基準によるものとします。

講義、演習 15 時間～30 時間 1 単位

実験、実習、実技 30 時間～45 時間 1 単位

※本学では、1 時限（75 分）の授業を 1.5 時間（90 分）として計算しています。

(4) 開設授業科目一覧

① 大学ホームページ

毎年度の開設科目は大学のホームページに掲載されています。

URL https://www.tsukuba.ac.jp/education/g-courses/g-tsukuba_tokyo.html

年度初めの計画が掲載されていますので、新規開講や教室・曜日・時限等の変更などに注意してください。

② 教育課程編成支援システム（KdB） <https://kdb.tsukuba.ac.jp/>

教育課程編成支援システム（KdB）を利用して、最新の科目情報の検索や科目のシラバスを閲覧することができます。操作方法については「(13)教育課程編成支援システムマニュアル（学生用）」を参照してください。

③ 授業方法

授業科目は、講義・演習・実験等で行っておりますが、2 つ以上の授業方法を併用する授業科目もあります。

科目一覧においては各開設科目の授業方法を下記一覧のとおり表記しています。

記号	授業方法
1	講義
2	演習
3	実習・実験・実技
4	講義及び演習

記号	授業方法
5	講義及び実習・実験・実技
6	演習及び実習・実験・実技
7	講義、演習及び実習・実験・実技
0	その他

(5) 履修申請

履修を希望する科目については、定められた履修申請期間中（③履修申請の日程参照）に履修申請をしなければなりません。履修申請をしない科目の履修は認められませんので、各自必ず履修申請を行ってください。

① 履修申請に当たっての注意事項

- ア. 履修申請をするに当たっては、学修計画について事前に指導教員等の指導を受けてください。
- イ. 開講学期曜時限が確定している科目については、各モジュールの履修申請期間が決まっていますので、期間内に履修申請を行ってください。定期的な曜時限を設けていない科目は、以下の4つに分類されます。
 - ・集中：曜時限が定期ではなく、ある程度集中した日程で行う授業形態。開講日時が決定した時点で掲示等により周知しますので、掲示等に記載された履修申請期間内に履修申請を行ってください。
 - ・随時：実験指導的な内容で、学生が長時間にわたり実験等に従事する中で必要な都度、教員と調整の上、指導を受ける授業形態。各モジュールの履修申請期間内に履修申請を行ってください。
 - ・応談：少人数のセミナー的な内容で、おおむね定期的に行われるが、教員の都合などで日時を変更することが少なからず生じるような授業形態。各モジュールの履修申請期間内に履修申請を行ってください。
 - ・NT：「NT」とは、” Non-timetabled attendance is possible” の略称であり、開講曜時限は定めていないものの、シラバスに示されている受講推奨曜時限を目安として、レポート提出期限等に注意しながら、計画的に履修する科目です。NT科目の受講推奨曜時限と同一曜時限に開講される他の科目の履修が可能です。
- ウ. 履修申請期間以外は、原則として申請した科目の変更はできません。やむを得ず履修申請期間外の追加履修申請や履修申請削除が必要な場合は、対応支援室大学院教務担当にて確認のうえ、必要な手続きを行ってください。
- エ. 同一曜時限内に複数の科目を履修することはできません。
- オ. 大学院の他教育組織及び学群で開設されている科目の履修を希望する場合には、当該科目の担当教員、指導教員及び組織長の承認を得てください。ただし、資格取得のために学群開設の教職科目等を履修する場合には、学群の科目等履修生として履修申請してください。（学群の科目等履修生になるためには別途手続が必要ですので、対応支援室大学院教務担当にて確認してください。）
- カ. 時間割等の変更がある場合は掲示等でお知らせしますので、必ず確認のうえ履修申請を行ってください。
- キ. 既に単位を修得した科目を再度履修すること（同一科目の再履修）は認められません。
- ク. 同じ科目名の科目が複数ある場合があります。自分の入学年度、所属組織に対応した科目であるか確認してから履修申請を行ってください。

② 履修申請の方法

履修申請は、「TWINS」というシステムを利用してウェブ上で行います。（<https://twins.tsukuba.ac.jp/>）

入学時に統一認証システムのIDと初期パスワードが記載されたカードを配付しています。このIDとパスワードを使用してTWINSにログインしてください。TWINSの操作方法については「(12)TWINSの利用にあたって」を参照のうえ、定められた履修申請期間内に行ってください。

なお、統一認証のパスワードが不明になった等の事情により再交付が必要な場合には、学術情報メディアセンターあるいは附属図書館に再交付を願い出てください。

③ 履修申請の日程

TWINSログイン後のトップページにある「履修・成績関係日程」で確認してください。

※集中授業等開講日や授業担当教員が未定の科目は、別途履修申請期間を設ける場合があります。掲示等に注意してください。

④ 授業科目区分

1. 科目区分は「専門科目」「専門基礎科目」「基礎科目」「その他（要件外）」の中から、履修申請時に自動で初期値に設定されますので、科目ごとに選択する必要はありません。
2. 科目区分の初期設定は必ずしも履修方法に合致した科目区分とならない場合があります。科目区分の修正が必要な場合には、対応支援室大学院教務担当にて修正方法を確認してください。

【履修申請上の授業科目区分記号表】 ※平成 25 年度以降入学者

コード	科目区分	コード	科目区分
A	専門科目	C	基礎科目
B	専門基礎科目	D	その他の科目

※平成 24 年度以前入学者については、入学年度の大学院便覧を参照してください。

⑤ 学群の授業科目の履修申請

1. 学群の授業科目を大学院学則 37 条に基づき履修する場合は、TWINS の「特別履修申請」にて申請書を作成し、指導教員及び学位プログラムリーダー又は専攻長の承認印をもらい、対応支援室大学院教務担当へ提出してください。
2. 学群で開設されている授業科目の履修申請期間は大学院と同じです。必ず期間内に特別履修申請を行ってください。

(6) オンライン授業の受講について

① 授業実施方法について

筑波大学では、2020 年度秋学期以降、授業の実施方法を下記のとおり分類しています。

各科目の授業実施方法は年度初めの計画を大学ホームページの開設授業科目一覧の備考欄に掲載しているほか、最新の情報は KdB の備考欄やシラバスに記載されます。また、Web 掲示板(TWINS)にお知らせが出ることもあります。

1. オンライン（オンデマンド型）：

manaba 等を用い、予め録画しておいた講義動画や資料等を学生が任意の時間帯に視聴でき、学生が当該授業を行う教室等以外の場所で履修することにより、対面授業の一部または全てを代替する方式をいいます。

ただし、動画の公開期間や課題などは、開設科目一覧に記載されている曜時限に履修することを想定して設定されていますので、特に指示のある場合を除き、できるだけその曜時限に受講するようにしてください。

2. オンライン（同時双方向型）：

ウェブ会議システム等を用い、授業の様子を遠隔地に同時配信し、学生が当該授業を行う教室等以外の場所で、授業にリアルタイムで参加する方式をいいます。

3. 対面：教室等において対面で実施します。

4. その他の実施形態：

上記の複数の方法で実施する場合も「その他の実施形態」となります。詳細はシラバスで確認してください。

② manaba について

manaba は、それぞれの授業ごとにウェブから利用できるコースページを作成し、教員と学生が教材を電子的に共有したり、課題の出題と提出を行ったりすることができる学習管理システムです。TWINS で履修登録が完了すると、翌日以降に履修科目のコースにアクセスできるようになります。オンライン授業の実施に際しては、教材の共有に加えて、科目の受講方法や講義、動画、課題の提出など、manaba が中核的な役割を果たすことになります。（<https://manaba.tsukuba.ac.jp>）

③ 授業に使用するソフトウェア・ハードウェアについて

本学学生はオンライン授業で用いられるグループウェアの Teams や、動画配信サービスの Stream を含む Microsoft 社が提供する様々なサービス群を利用することができます。また、オンライン授業を受講するためには、パーソナルコンピュータ、タブレット、スマートフォンなどの端末及び通信回線が必要です。その他、オンライン授業を受講するために必要な手順の詳細は学術情報メディアセンターの「オンライン授業受講案内」を確認してください。(<https://www.cc.tsukuba.ac.jp/wp/remote-lecture-students/>)

④ 授業で使用される資料等の取り扱いについて

授業で配布された資料や教材、講義動画や音声等を受講者が無断で複製・転載・転用してはいけません。

⑤ 新型コロナウイルス感染症への対応について

情報を大学ホームページ上で発信していますので、随時確認してください。

(<https://www.tsukuba.ac.jp/about/antidisaster-crisismanagement/covid-19/>)

(7) 成績評価と試験

① 成績評価・単位授与

成績評価は、授業担当教員がシラバス記載の方法により判定し、下記により A+、A、B、C 及び D の 5 段階で評価します。なお、各教育組織が定める一部の科目においては、P または F の可否のみで評価します。総合評価が A+、A、B、C 及び P は合格とし単位を授与します。D 及び F は不合格として単位は授与しません。(成績証明書に記載されるのは、単位が授与された A+、A、B、C 及び P 評価の科目です。)

【成績評価基準】

(1) A+ : 90~100 点 A : 80~89 点 B : 70~79 点 C : 60~69 点 D : 59 点以下

(2) P : 合格 F : 不合格

なお、2 つの学期にわたり授業を行う科目は、学期毎に学期評価をするとともに、最終学期において総合評価します。

② 試験等

試験等とは、学期中の定められた試験期間内に行う試験、レポート等です。試験期間は、学年暦を見て確認してください。

③ 評価確認方法

成績評価は、モジュール毎に定められた成績参照開始日から、TWINS 上で確認できます。

④ 成績評価に関する申し立てについて

成績評価について問合せや疑義がある場合は、まずは授業担当教員に問い合わせてください。その結果、解決しない場合は、当該授業科目を開設している教育組織所定の方法を支援室教務担当へ問い合わせ、所定の様式に必要な事項を記入して提出してください。

(8) 入学前に他大学院等において修得した単位の認定及びそれに伴う在学年限の短縮について

① 単位の認定

大学院学則の規定に基づき、本学大学院入学前に他の大学院において授業科目を履修し修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)については、15 単位を限度として、当該学生が所属する教育組織の修了要件となる単位として認定することがあります。

なお、本学の大学院において修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)については、15 単位を超えて認定することがあります。

② 在学期間の短縮

上記の単位認定により、教育課程の一部を履修したと所属する教育組織が認めるときは、単位数・修得に要した期間・授業内容その他を勘案して、1年を超えない範囲で本学に在学したものとみなすことがあります。

③ 申請方法

単位認定（及びそれに伴う在学年限の短縮）を希望する学生は、入学後速やかに「単位認定申請書」等に対応支援室大学院教務担当で受け取り、本学大学院入学前の大学院における成績証明書を添えて、新入生オリエンテーション及び掲示等で周知した提出期日までに同担当へ提出してください。

④ 単位認定の注意事項

入学前に他大学院等において修得した単位と、入学後に留学や単位互換により他の大学院において履修し修得した単位は、それぞれ15単位を限度として教育組織の修了要件となる単位として認定することがありますが、合わせて20単位を超えることができません。

(9) 一貫制博士課程3年次編入学生の既修得単位の認定について

入学手続きの時に提出された成績証明書に基づき単位認定の手続きを行いますので、改めて申請する必要はありません。ただし、単位認定にあたり不明な点があった場合は、別途証明書等の提出を求めるとことや面接を行うことがあります。

(10) 対応事務組織

本学では、学生をサポートするための事務組織として支援室を設置し、各種願出の提出、履修相談、授業料免除及び奨学金等の手続きについて対応しています。

各教育組織の対応支援室は次のとおりです。何かあったときは支援室にご相談ください。

また、支援室とは別に各教育組織の事務室でも対応しています。

【2020年度以降入学者用】

教育組織	対応支援室	場所
人文社会ビジネス科学学術院 人文社会科学研究群	人文社会エリア支援室	1A棟3階
人文社会ビジネス科学学術院 ビジネス科学研究群 法曹専攻 国際経営プロフェッショナル専攻	社会人大学院等支援室	東京キャンパス（文京校舎3階）
理工情報生命学術院 数理物質科学研究群	数理物質エリア支援室	1A棟3階
理工情報生命学術院 システム情報工学研究群 グローバル教育院 エンパワーメント情報学プログラム	システム情報エリア支援室	3A棟2階
理工情報生命学術院 生命地球科学研究群 国際連携持続環境科学専攻	生命環境エリア支援室	2B棟3階

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群の以下の学位プログラム： 教育学、心理学、障害科学	人間エリア支援室	2A 棟 2 階
人間総合科学学術院 人間総合科学研究群の以下の学位プログラム： ニューロサイエンス、ヒューマン・ケア科学、 パブリックヘルス、スポーツ医学、体育学、 体育科学、スポーツ・オリンピック学、 コーチング学、芸術学、デザイン学、 世界遺産学 スポーツ国際開発学共同専攻、 大学体育スポーツ高度化共同専攻	体育芸術エリア支援室	5C 棟 2 階
人間総合科学学術院 人間総合科学研究群の以下の学位プログラム： フロンティア医科学、公衆衛生学、看護科学、 医学	医学医療エリア支援室	4A 棟 2 階
人間総合科学学術院 国際連携食料健康科学専攻	国際連携食料健康科学専攻 事務室	4E 棟 6 階
人間総合科学学術院 人間総合科学研究群の以下の学位プログラム： カウンセリング、カウンセリング科学、 リハビリテーション科学、 スポーツウエルネス学	社会人大学院等支援室	東京キャンパス（文京校舎 3 階）
人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 情報学学位プログラム	図書館情報エリア支援室	7B 棟 2 階
理工情報生命学術院 システム情報工学研究群・生命地球科学研究群 ライフイノベーション学位プログラム 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 ライフイノベーション学位プログラム ヒューマンバイオロジー学位プログラム グローバル教育院 ヒューマニクス学位プログラム	グローバル教育院事務室	総合研究棟 A 7 階

【2019 年度以前入学者用】

教育組織	対応支援室	場所
教育研究科	人間エリア支援室	2A 棟 2 階
人文社会科学研究科	人文社会エリア支援室	1A 棟 3 階
ビジネス科学研究科	社会人大学院等支援室	東京キャンパス（文京校舎 3 階）
数理物質科学研究科	数理物質エリア支援室	1A 棟 3 階
システム情報工学研究科 グローバル教育院 エンパワーメント情報学プログラム	システム情報エリア支援室	3A 棟 2 階

生命環境科学研究科	生命環境エリア支援室	2B 棟 3 階
人間総合科学研究科 教育学専攻、心理専攻、障害科学専攻、 教育基礎学専攻、学校教育学専攻、 心理学専攻、障害科学専攻	人間エリア支援室	2A 棟 2 階
人間総合科学研究科 芸術専攻、世界遺産専攻、 感性認知脳科学専攻、体育学専攻、 ヒューマン・ケア科学専攻、 スポーツ医学専攻、体育科学専攻、 コーチング学専攻、 世界文化遺産学専攻、 スポーツ国際開発学共同専攻、 大学体育スポーツ高度化共同専攻	体育芸術エリア支援室	5C 棟 2 階
人間総合科学研究科 看護科学専攻、フロンティア医科学専攻、 生命システム医学専攻、 疾患制御医学専攻	医学医療エリア支援室	4A 棟 2 階
人間総合科学研究科 国際連携食料健康科学専攻	国際連携食料健康科学専攻 事務室	4E 棟 6 階
人間総合科学研究科 生涯発達専攻、スポーツ健康システム・ マネジメント専攻、生涯発達科学専攻	社会人大学院等支援室	東京キャンパス（文京校舎 3 階）
図書館情報メディア研究科	図書館情報エリア支援室	7B 棟 2 階
グローバル教育院 ヒューマンバイオロジー学位プログラム ライフイノベーション学位プログラム ヒューマニクス学位プログラム	グローバル教育院事務室	総合研究棟 A 7 階

(11) 教室表示

科目一覧において教室は次の例のように略号で表示されています。より詳細な教室一覧は別紙を参照してください。不明な点是对应支援室等にお問い合わせください。

教室名（日本語表記）	教室名（英語表記）	棟名・階
1D201	1D201	1D 棟 2 階 201 室
4A204	4A204	4A 棟 2 階 204 室
5C412	5C412	5C 棟 4 階 412 室
7A203	7A203	7A 棟 2 階 203 室
8A106	8A106	文科系修士棟 106 室
総合 A111	2Z111	総合研究棟 A 1 階 111 室
総合 B110-1	3Z110-1	総合研究棟 B 1 階 110 室
人社 A201	8E201	人文社会学系棟 A 2 階 208 室
自然 B215	1K215	自然系学系 B 棟 2 階 215 室
理科系 B107	B107 Nat. Sci.	理科系 B 棟 1 階 107 室
人間 A202	8C202	人間系学系 A 棟 2 階 202 室

(12) TWINSの利用にあたって Use of TWINS

TWINS(ついでず)とは、正式名称を「Tsukuba Web-based Information Network System」と言い、筑波大学の教育情報システムの愛称です。科目の履修登録や成績確認は、このシステムで行います。

TWINS is a nickname of the educational information system of the University of Tsukuba. Its official name is “Tsukuba Web-based Information Network System”. Students can register courses and confirm their academic assessment via this system.

●ログインの方法 How to login

TWINSは、Webブラウザで以下のURLにアクセスします。日本語か、英語かの選択をします。

You can access to TWINS via Web browser: You can choose the Japanese Pages or the English Pages.

<https://twins.tsukuba.ac.jp/>



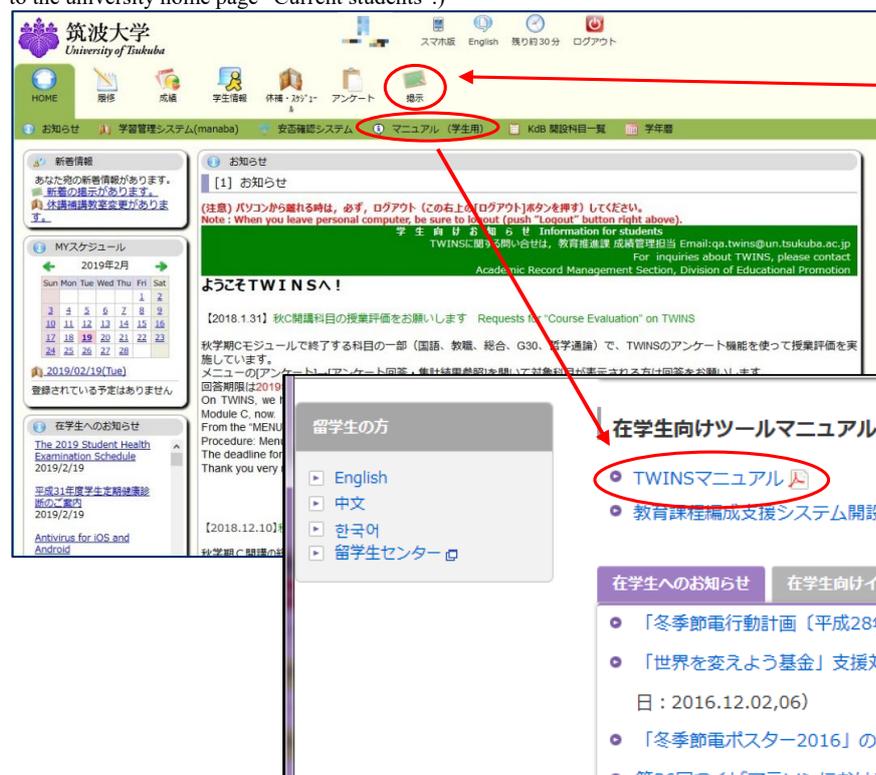
ユーザ名は「学籍番号」です。パスワードは、入学時に配付している「統一認証システム初期パスワード」カードに記載されています。

Your username to login is the same as your student ID number and your initial password is written on the card “Unified Authentication System Password” which has been distributed to you.

●TWINS利用マニュアルへのアクセス How to access to the user's manual for TWINS.

マニュアルは、ログイン後の上部メニューからリンクしてありますので、使い方の詳細はそちらをご覧ください。(筑波大学のホームページ内「在学生の方へ」のページに移動します)

You can find the user's manual for TWINS from “Manual” button on the menu bar for details. (When you click the “Manual”, it jumps to the university home page “Current students”.)



●Web掲示板システム

ページ上部の「掲示」ボタンから、Web掲示板システム (TIPS) へ移動できます。

Web bulletin board system

You can go to Web bulletin board system (TIPS) from “bulletin board” button.

●TWINSに関する問い合わせ For more information about TWINS

TWINSのシステムに関する質問等は、qa.twins@un.tsukuba.ac.jpへメールをお寄せください。なお、履修申請や成績の内容については支援室教務担当へご相談ください。

We would like to get your feedback and inquiries at qa.twins@un.tsukuba.ac.jp. Please contact to academic service office regarding Subject register and academic records.

●TWINSによる履修申請の概略 Outline of the course registration by TWINS

メニューから[履修]を選択して、[履修登録・登録状況照会]を選択します。

From the Menu, choose the “Course”, and then click on the “Course registration, Registration status” which is following the sub menu.

① 開いているタブが登録する科目のモジュールに合っているか確認してください。

Check the tab if it is appropriate module for the subject that you are registering.

② 曜日・時限が定まっている科目の登録は、その科目の開設曜日・時限の「未登録」の文字をクリックしてください。

Click “None” button for the module, day, and period of the course you want to register.

履修申請期間外には「未登録」をクリックしても何も起こりません。

Even if you click on “None” before or after the register period, nothing happens.

③ 曜日・時限が定まってない科目（集中講義）、通常の履修申請期間外に科目を登録するときは、[集中/その他の科目登録]ボタンをクリックしてください。

If and when registering for courses which are intensive or out of the given period of the registration, click on the “Register for intensive courses”.

左の画面で、履修申請する科目の[科目番号]を入力し[登録]ボタンをクリックしてください。

On this left screen, enter the course code and click “Register” button.

上の画面に戻り、曜日・時限枠に登録科目が表示されていることを確認します。集中講義については、画面下部にある「集中授業など」欄に表示されています。

When the registration is completed, confirm the subject is displayed in a column of the day and that of the period.

Regarding the “Intensive course”, the result is seen at the bottom of the screen.

④ 科目番号が分からない場合は、[科目番号検索]をクリックすると検索する事ができます。

If you don't know the course code, click the link “Course search”.

科目検索では、検索条件設定画面が現れます。適宜、選択条件を組み合わせご利用ください。

On the “Course Search”, search condition menus are come out. Please set a subject along with appropriate combinations.

★ 検索条件指定時の注意点 Attention to Search Condition

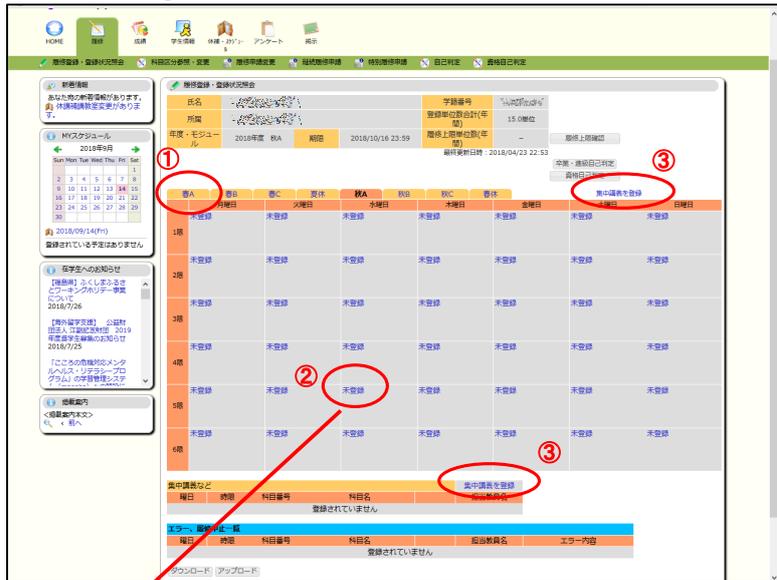
1. 担当教員または開講時期が未定の科目は、開設授業科目一覧に掲載されていても、TWINSでは検索結果にも表示されません。担当教員・開講時期の決定後に、TWINSに登録され履修申請できるようになります。

2. 開設所属には学群やセンターを指定します。学類や主専攻による絞り込みはできません。開設所属が判らない場合は、「指示なし」に変更して検索をやり直してください。

3. 設置区分、開設所属、学期、曜日、時限、標準履修年次が、自身の所属年次などから自動で設定されています。必要に応じて変更してください。

1. Some courses, the class supervisor / the instructor or the semesters are yet to be determined, which exist on a course list as a designated subject. Those courses are, however, not recorded on TWINS, thus the screen does not reflect on the search results at that time. In that case, the course registration is available after the pending conditions (such as the class supervisor/ the instructor or the semester) are settled.

2. The Course Affiliation is assigned to the school or the center. Narrowing the target by the college or the major is not possible for the search.

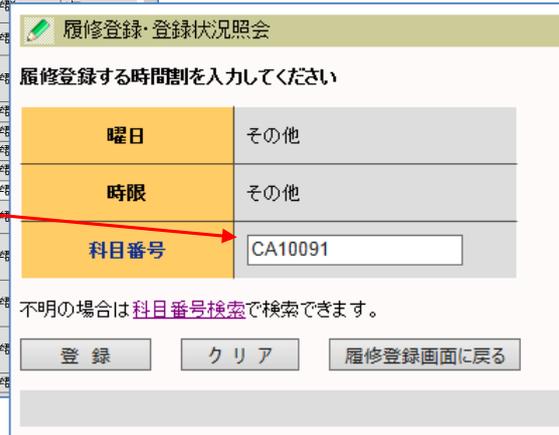


3. "Setup Category", "Course Affiliation", "Term", "Day", "Period" and "Regular year level of course" are automatically set according to your enrolment school year or the other information. Thus, please change the items in case of the needs.

[検索]ボタンをクリックすると、次の様に検索結果の一覧が表示されます。その中から履修する科目名を選択すると、元の画面に戻り、当該科目の科目番号が入力されています。以降は科目番号を直接入力した時と同じです。



When you click the search button, a list for course search is appeared as you can see on your left hand side. Choose an intended subject, then the screen comes back to the original (see the chart below) with the course code. After the above operation, conduct the same procedure as you directly input the code.



右に履修登録期間後の登録結果例を示します。 Course registration result:

A screen shown on your right hand side is an example of a course registration result after the due date.

履修申請を取り消す場合は、時間割形式で表示されている登録済科目の科目番号をクリックしてください。

削除確認画面が現れるので、内容を確認して[削除]ボタンをクリックしてください。

In the case where you cancel a course registration, click on the "Course Code" on a class schedule table you've already input at the moment. Once the confirmation screen appears, click on "Delete" to cancel the registration.

履修科目の追加・削除は、その科目の履修申請期間内であれば、何度でも行うことができます。

Additions and deletions of your courses can be performed repeatedly within a period of the course registration.

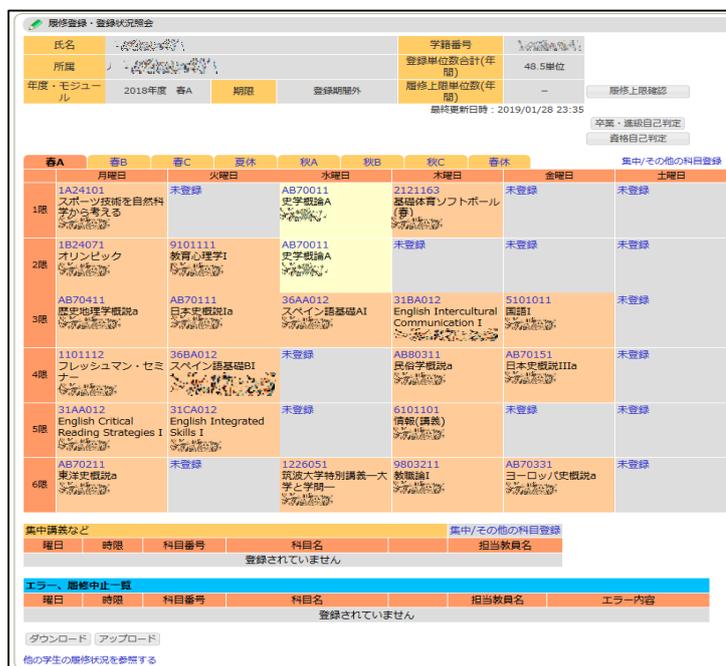
登録科目の色の違いは、黄色の科目は単一モジュール開講科目であることを表し、オレンジ色の科目は複数モジュール開講の科目であることを表しています。

Color coding for the registration subjects: Yellow: Single module / Orange: Multiple modules

●TWINSによる事前登録について About pre-registration by TWINS

別刷にて事前登録・受講調整についての説明リーフレットを配布していますので、参照してください。

Regarding Pre-Registration / Course Registration Adjustment, please refer to the leaflet we have distributed to explain that.



●証明書の発行について Issuance of Certification

TWINSは、各種証明書を提供しています。学割証、在学証明書、成績証明書、健康診断書、卒業見込証明書等です。

在學生は、学内各所に設置してある証明書自動発行機を使用できます。証明書は、皆さん自身でログインして発行します。発行機の設置場所は、各支援室、スチューデントプラザ、大学会館、下田臨海実験センター、菅平高原実験センターで、設置場所毎に移動時間に違いがありますが、どの発行機でも同じものを発行できます。

TWINS provides various certificates such as Student discount certificate, Certificate of Enrollment, Transcript of Academic Record, Health Certificate and Certificate of Expected Graduation. When the current student needs to obtain the certificates, please operate an "Automatic Certificate Issuing Machine" by yourself. The machines are placed on the campus.

Issuing machines:

The setting places of the machines are Academic Service Offices, Student Plaza, University Hall, Shimoda Marine Research Center and Sugadaira Montane Research Center. The operation-hour of the machines is different in each setting place, but available form of the certificates is the same.

証明書自動発行機の設置場所 The installation locations of issuing machines.

設置場所 The installation location	標準の利用時間 Operating time	紙切れ等の問い合わせ Contact for out of paper and so on
第3エリア 3A棟2階 支援室内 In the Academic service office (3A, 2F), <i>Dai-san</i> area.	月曜～金曜 Monday - Friday 9:00～17:00	システム情報エリア支援室 学群教務 Undergraduate courses educational affairs, Academic Service Office for the Systems and Information Engineering Area.
第2エリア 2B棟3階 支援室内 In the Academic service office (2B, 3F), <i>Dai-ni</i> area.		生命環境エリア支援室 学生支援 Student affairs, Academic Service Office for the Life and Environmental Sciences Area.
第2エリア 2C棟4階 人間エリア支援室前スペース The space in front of the Office for Human Sciences Area. (2C 4F), <i>Dai-ni</i> area.		人間エリア支援室 学群教務 Undergraduate courses educational affairs, Academic Service Office for the Human Sciences Area.
第1エリア 1A棟3階 支援室内 In the Academic service office (1A, 3F), <i>Dai-ichi</i> area.		人文社会エリア支援室 学群教務 Undergraduate courses educational affairs, Academic Service Office for the Humanities and Social Sciences Area.
第1エリア 1D棟2階 スチューデントプラザ エントランスホール Entrance hall, Student Plaza (1D, 2F), <i>Dai-ichi</i> area.	月曜～金曜 Monday - Friday 9:00～21:00	学生生活課 学生企画チーム Students planning section, Division of Student Welfare.
大学会館エリア 9P棟2階 事務室内 In the office of bild. 9P 2nd floor, <i>Daigaku-kaikan</i> area	月曜～金曜 Monday - Friday 9:00～17:00	学生交流課 (1A101) Division of Student Exchange, Department of Student Affairs.
体芸エリア 5C棟2階 支援室内 In the Academic service office (5C, 2F), <i>Tai-gei</i> area.		体育芸術エリア支援室 学生支援 Student affairs, Academic Service Office for the Art and Sport Sciences Area.
医学医療エリア 4A棟2階 エントランスホール Entrance hall In bild. 4A 2nd floor, <i>Igaku-iryuu</i> area.		医学医療エリア支援室 学生支援担当 Student Support, Academic Service Office for the Medical Sciences Area
春日エリア 7B棟2階 学生支援室内 In the Student Support Section (7B, 2F), <i>Kasuga</i> area.		図書館情報エリア支援室 学生支援係 Student Support Section, the Academic Service Office for the Library, Information and Media Studies Area.
東京キャンパス 文京校舎3階334 社会人大学院等支援室内 In the Academic service office for the Business Sciences Area (3F #334), Tokyo Campus.	火曜～金曜 Tuesday - Friday 10:00～21:10 土曜 Saturday 10:00～20:00 月曜 Monday 10:00～18:30	社会人大学院等支援室 教務担当 Academic Service Office for the Business Sciences Area.
下田臨海実験センター 第一研究棟1階 事務室内 In the office, <i>Dai-ichi-kenkyut-tou</i> (1F), Shimoda Marine Research Center.	月曜～金曜 Monday - Friday 9:00～17:00	下田臨海実験センター 事務係 Office for the Shimoda Marine Research Center.
菅平高原実験センター 事務室内 In the office, Sugadaira Montane Research Center.		菅平高原実験センター 事務室 Office for the Sugadaira Montane Research Center.

(13) 教育課程編成支援システムマニュアル (学生用)

Curriculum Scheduling Support System Manual (For Students)

1. 教育課程編成支援システムとは

教育課程編成支援システム (KdB) は筑波大学で開講される授業科目の情報を管理・公表するデータベースです。授業科目の情報等は、以前は教育組織ごと・年度ごとに Excel で作成し、印刷物として配布したり、各学群等のホームページで公開したりするなどされてきました。一体のデータベースとして公開することで、データの一貫性や更新性を高めることを目指しています。

Web ブラウザを起動して <https://kdb.tsukuba.ac.jp> にアクセスしてください。サポートしているブラウザは IE/Firefox/Chrome/Safari の各最新版と一つ前のメジャーバージョンです。

日本語・英語の表示切り換え

アクセス直後の標準画面は日本語表記ですが、画面右上の [English] ボタンを押すと英語表記に変わります。

1. What is the Curriculum Scheduling Support System

The Curriculum Scheduling Support System (KdB) is a database that manages/publishes information regarding courses offered at the University of Tsukuba. As of now, it has been created in excel by each educational organization every academic year and distributed in print, however we are striving to integrate the databases to enhance the consistency and renewability of the data.

Please launch a web browser and access <https://kdb.tsukuba.ac.jp>. Supported browsers are the latest and second latest versions of Internet Explorer/Firefox/Google Chrome/Safari.

Switching Displayed Languages between Japanese/English

When you first access the website the page will be displayed in Japanese, but you can select the [English] at the top right of the screen to change to English.

2. 科目の検索と科目一覧のダウンロード

科目検索

科目の検索を行うには、検索条件を指定し、「検索」ボタンをクリックします。指定できる検索条件は、

- ① 年度 (指定必須)
- ② 学期 (部分一致; 指定したモジュールを開講時期に含む科目が表示されます)
- ③ 曜日 (部分一致; 指定した曜日を開講曜日に含む科目が表示されます)
- ④ 時限 (部分一致; 指定した時限を開講時限に含む科目が表示されます)
- ⑤ 教室 (指定した教室で実施する科目が表示されます)
- ⑥ コースカタログ (選択した科目のまとまりに属する科目が表示されます)
- ⑦ キーワード検索 (入力したキーワードに合致する科目が表示されます)
- ⑧ チェックボックス
 - 概要・シラバスを含む (概要・シラバス情報も含めて表示する場合にチェック)
 - 英語で実施 (英語で授業を行う科目を表示する場合はチェック)
 - 科目等履修生対象 (科目等履修生が申請可能な科目を表示する場合にチェック)

短期留学生対象（短期留学生が申請可能な科目を表示する場合にチェック）

当該年度開講しない科目を除く（当該年度に開設する科目のみ表示する場合にチェック）

の 8 種類です（図 1）。1 つ以上の条件を指定して検索ボタンをクリックすると、全ての条件を満たす科目だけが表示されます（図 2）。

2. Course Searches and Downloading the Course List

Course Search

By specifying the search criteria and clicking the “Search” button, the relevant courses will be displayed.

You can refine your search through the following 8 criteria. (Figure 1)

- ① Academic year (specification is required)
- ② Term/Module (partial match; courses that are offered within the specified module will be displayed)
- ③ Day (partial match; courses that are offered within the specified day of the week will be displayed)
- ④ Period (partial match; courses that are offered within the specified time period will be displayed)
- ⑤ Classroom (Courses held in the specified classroom will be displayed)
- ⑥ Course catalogue (Courses belonging to the specified group will be displayed)
- ⑦ Keyword Search (Courses that match with the keyword will be displayed)
- ⑧ Checkbox
 - 概要・シラバスを含む”Include outline・syllabus” (check if you want to display the outline and the syllabus information)
 - 英語で実施”Conducted in English” (check if you want to display the Conducted in English)
 - 科目等履修生対象”For Credited Auditors” (check if you want to display the courses that allows Credited Auditors to apply)
 - 短期留学生対象” Courses open to Exchange student” (check if you want to display the Courses open to Exchange student to apply)
 - Except for the courses that will not be opened in the Academic Year（Put a check if you want to display only the courses that will be opened in the Academic Year.）

If you specify more than one criterion and hit the search button, only the courses that meet all of the specified criteria will be displayed. (Figure 2) To be able to create a timetable at the same time, a timetable tab for each module will be added at the upper middle section of the screen, and on the right side of the screen, an overview timetable will be displayed.

The screenshot shows a search form with the following elements:

- Language: English
- ① 年度: 2022
- ② 学期: 指示なし
- ③ 曜日: 指示なし
- ④ 時限: 指示なし
- ⑤ 教室: 指示なし
- ⑥ コースカタログ: 指示なし
- ⑦ フリーワード: (empty)
- ⑧ Checkboxes: 概要・シラバス・備考含む, 英語で実施, 科目等履修生対象, 短期留学生対象, 当該年度開講しない科目を除く
- Buttons: 検索, クリア

図 1 検索の画面

Figure 1 The Search Screen

科目検索

- 1) 「年度」欄には初期値として現在の年度が入力されています。通常は操作の必要はありませんが、年度の入力は必須であり、複数年度にまたがる検索をすることはできません。
- 2) その他の検索条件をプルダウンメニューから選択してください。たとえば「学期」をクリックすると、学期のプルダウンリストが表示されるので、条件としたいモジュール（「春 A」など）を選択します。「コースカタログ」は科目一覧等の目次に相当する見出しが階層的に表示されるので、表示したい見出しをクリックしてください。右三角のアイコンをクリックすると見出しの次の階層が表示されます。検索条件を解除する際は、右下の「クリア」ボタンをクリックします。
- 3) 「検索」ボタンをクリックします。

1. To search for a course held at a given year, place your cursor over the “year” column and enter the year. However, since the initial value in the column will be the current year, usually this step is not necessary. There must be a year in that column and it cannot perform searches across multiple years.
2. Please select other search criteria with the pull-down menu. For instance, if you click on the “semester selection”, a pull-down list will be displayed and you can select the desired module (such as “Spring A”). For the requisite, headings that correspond to the subject list’s table of contents will be displayed hierarchically. If you click on the triangle on the right, the next hierarchy of headings will be displayed. When you want to cancel a search criterion, click on the “Clear” button at the lower right of the screen.
3. Click on the “Search” button.

年度 : 2021
 学期 : 指示なし ▼ 曜日 : 指示なし ▼ 時限 : 指示なし ▼
 教室 : 指示なし ▼ > 指示なし ▼ > 指示なし ▼
 コースカタログ : 開設授業科目一覧 ▼ > 基礎科目(共通科目等) ▼ > 芸術 ▼ >
 指示なし ▼ > 指示なし ▼
 フリーワード :
 OR AND
 概要・シラバス・備考含む 英語で実施 科目等履修生対象 短期留学生対象 当該年度開講しない科目を除く

検索 クリア

1件目 から 12件目の検索結果を表示しています (全部で 12件あります) 検索結果ページ: << 前へ 1 次へ >>

科目番号	科目名	授業方法	単位	年次	学期	曜時限	教室	担当教員	備考	科目等履修生	状態
4002013	芸術(油彩画実習)	3	1.0	1 - 4	春AB	月4,5	5C303	福満 正志郎	対面		シラバス 授業概要
4004013	芸術(日本画実習)	3	1.0	1 - 4	春AB	月4,5	アート&デザイン実習室1	山本 浩之, 塚 敬明	人数制限あり(15名)対面		シラバス 授業概要

1件目 から 12件目の検索結果を表示しています (全部で 12件あります) 検索結果ページ: << 前へ 1 次へ >>

科目一覧ファイル形式: [EXCEL形式] 科目一覧ダウンロード シラバスダウンロード

表示件数: [100] 件 表示

図 2 検索実行後の画面

Figure 2 Search Results Screen

科目一覧のダウンロード

- 1) 画面中央下部の「科目一覧ファイル形式」から EXCEL 形式 (Office Open XML 形式。以下、XLSX 形式) と CSV 形式のいずれかを選択します。CSV 形式は Shift JIS コードで保存されるので、一部の人名等が正しく表示できない場合があります。
- 2) 「科目一覧ダウンロード」ボタンをクリックします。
- 3) ブラウザが「kdb_yyyymmddhhmmss.xlsx」(yy...ss は年月日時分秒) または「kdb_yyyymmddhhmmss.csv」というファイル名で表示中の科目一覧をダウンロードします。ブラウザによっては、「保存」するか、アプリケーションで「開く」かをこの時点で選択します。

Downloading the Course List

1. Select either CSV format or EXCEL format (XLSX format of Office Open XML) from the course list from the lower center of the screen. Since the CSV format is stored in a Shift JIS code, there may be times where a person's name cannot be displayed correctly.
2. Click the "Download Course List" button.
3. The browser will download the course list with the file name "kdb_yyyymmddhhmmss.xlsx" or "kdb_yyyymmddhhmmss.csv" (yy...ss being the year, month, day, hour, minute, second). Depending on the browser, it should give you an option to "save" or "open" the file at this point.

シラバスの表示

科目一覧画面から各科目のシラバスを表示させることができます。

- 1) シラバスは、参照欄の「シラバス」がリンクになっています。「シラバス」をクリックすると新しいタブを開いてシラバス本文が表示されます (図 3)。なお、シラバスが作成されていない科目は「シラバス」がグレーアウトで表示され、クリックできない様になっております。
- 2) 最初に表示されるシラバスは、年度途中における実施内容の変更を反映した「最新版」です。「公式版のシラバスを表示」リンクをクリックすると、年度当初に公開した「公式版」のシラバスが表示されます。

Displaying the Syllabus

If the educational organization is using the syllabus function in KdB, you can display the syllabus for each course from the course list

1. Syllabus is linked to the "Syllabus" in the reference column. When Click "Syllabus", open a new tab and display the text of the syllabus. (Figure 3) Additionally, the subject that syllabus has not been created is displayed in gray out and cannot be clicked.
2. The syllabus displayed first is the "latest version" that reflects the changes for the detail of implementation in the middle of the Academic Year. If you click the link "Display the Syllabus Official Version", the official version released at the beginning of the year will be displayed.

シラバスのダウンロード

- 1) 「シラバスダウンロード」 ボタンをクリックします。
- 2) ブラウザが「syllabus_yyyymmddhhmmss.pdf」(yy...ss は年月日時分秒) というファイル名で表示中の科目全てのシラバスをダウンロードします。

※ダウンロードできるのは、「公式版」のシラバスです。

Downloading the Syllabus

1. Click the “download the syllabus” button.
 2. The browser will download all the syllabus for all the courses displayed on the screen with the file name “syllabus_yyyymmddhhmmss.pdf” (the yy...ss is year, month, day, hour, minute, second)
- * The syllabus that you can download is the version on the "official website".

シラバス参照

[公式版のシラバスを表示](#)

最終更新日：2020/09/14

1226151 社会基礎学I-「グローバル化」と「地方の活性化」に貢献できる輝く人材の育成:世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる連続リレー講義

1.0 単位, 1 年次, 春C 集中
坪内 孝司

授業概要

世界は、新興国の急成長、産業や市場のボーダレス化、ICT等、先端技術の進歩などにより、人材・情報・資金が国境を越えて行きかっています。同時に国は勿論のこと、国内の地域や都市の間でも競争が激化しています。このため、地球環境問題や資源・エネルギー問題など、世界にまたがるグローバルな課題に的確に対処していくことが求められています。また、少子高齢化と人口減少が急速に進んでいるわが国で、豊かな生活と産業の発展の鍵を握るのは、地方の活性化であり、地方で活躍し、輝く若い人材が求められています。この激動の時代を生き抜く学生の皆さんが、「国際社会と地域社会に貢献する」という高い志を持って研鑽に励むためには、この講義で説く『社会基礎学』の習得が必要不可欠と考えます。本リレー講義では、社会基礎学とは何かを探求し、全学群生を対象に、今後の大学生活で身に付けるべき知識、教養、想像力や構想力向上をサポートします。具体的には以下の6分野にプライオリティを置き、産業界・官界・政界のトップリーダーがリレー講義を実施、皆さんとともに考えます。1「グローバル化と地域の日本のあり方」、2「政治・政策」、3「安全保障・憲法」、4「経済・産業」、5「資源・エネルギー」、6「世界/アジア」(順不同)

備考

【事前登録対象】(教育企画室企画)
2020年度開講せず。
実務経験教員

授業形態

講義

科目群

学位プログラム・コンピテンスとの関係

本科目の受講により、「広い視野と国際性」および「批判的・創造的思考力」が特に涵養されることを目的とする。

授業の到達目標(学修成果)

社会の営み全般において密接に関係し合う、1 グローバル化と地域の日本のあり方、2 政治・政策、3 安全保障・憲法、4 経済・産業、5 資源・エネルギー、6 世界/アジア、の重点6分野のそれぞれにおいて、現代社会が抱えている問題やその問題解決のアプローチを、講義内容に即して説明することができる。
2前記6分野における問題解決が、多くの場合、それぞれの分野にまたがって広範に関連し合うことを、講義の内容に即して説明できる。

図3 シラバス表示画面

Figure 3 Syllabus Display Screen

令和4年 4月 5日

学群学生
大学院学生 各位

教育担当副学長
加藤 光保

令和4年度春学期における対面授業及びオンライン授業の実施指針について

令和4年度春学期における授業の実施については、新型コロナウイルス感染症に係るオミクロン株の感染が拡大している一方、職域接種等による学生及び教職員へのワクチン接種の進展、授業による感染事例が報告されていないこと等を踏まえ、継続して対面授業（期末試験を含む）の実施を可能とします。

対面授業（期末試験を含む）に参加する場合は、マスクの正しい着用の徹底、手指消毒の徹底等、最大限の感染防止対策を講じるとともに、以下の点に留意してください。なお、今後本学の活動形態のレベルを変更する場合には、改めて連絡します。

1. 令和4年度春学期における対面授業の実施について

1) 対面授業の実施方針

春学期における対面授業は、十分な感染対策を取った上で実施します。ただし、今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況等によっては、対面授業の制限等、取扱いを変更する場合があります。

大学に入構する際は、各自が入構する日の直近14日間の健康観察記録を付け、その記録表を担当教員（授業担当教員、指導教員等）に提示できるよう携帯してください。記録表は大学の様式例を利用するか、もしくは同等の内容が記載されていれば大学の様式例によらずとも結構です。また所属する教育組織が指定する健康観察アプリの使用も可とします。入構に際しては、健康観察記録を付けるとともに、原則として直近の14日間平熱が保たれ、風邪症状のないことが入構する際の条件となっておりますが、詳細については、ウェブサイトに掲載されている「新型コロナウイルス感染が疑われる場合の本人の行動フロー（<https://www.tsukuba.ac.jp/about/antidisaster-crisismanagement/covid-19/index.html>）の本学のガイドライン及び活動状況」を参照してください。

健康観察記録表 様式例（EXCEL）

健康観察記録表（行動履歴欄あり） 様式例（EXCEL）

2) 構内での活動時における注意事項

- ・ 入構時は、必ずマスクを正しく着用してください。ただし、屋外で人と十分な距離（1

メートル以上)を確保できる場合には、マスクを外して構いません。

- ・入構時は、周囲との間隔が概ね1メートル以上空くよう常に努めてください。
- ・頻繁に手指の消毒を行うか、水と石鹸による手洗いを徹底してください。
- ・入構時、マスクを外している間の会話は避けてください。また、マスクをしている場合であっても、近距離での会話や、大声を出すことは控えてください。

3) 新型コロナウイルス接触確認アプリ等の活用について

感染者との接触状況の把握方法として、厚生労働省にて公開している新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)の使用を推奨します。

4) 対面授業への参加を希望しない、参加できない学生への配慮について

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、通学や授業での感染への不安、健康上不安のある親族との同居、海外に居住し渡日できない等の理由がある場合、オンライン授業により実施するか、またはオンライン授業の併用(対面授業に参加しない学生に対してオンライン授業を実施)により実施するなどの対応を検討しますので、所属教育組織等の指示に従い申し出てください。**特に指示のない場合は、できるだけ早めに授業担当教員等に相談してください。**

2. 令和4年度春学期におけるオンライン授業の実施について

1) オンラインによる授業実施となる場合

履修登録学生全員が密を避けられる十分な広さの教室が確保できない場合、オンラインにより授業を実施します。

また、基礎的な知識定着を主な目的とする授業のなかには、オンライン授業(オンデマンド型)で提供されるようにしているものがあります。繰り返し視聴することで、学修効果がより高まることが期待されるためです。

春学期における時間割及び授業の実施方法(対面授業もしくはオンライン授業等)を参考にしつつ、KdB(開設授業科目一覧。kdb.tsukuba.ac.jp/)の備考欄とシラバス、manabaの情報等を確認しながら履修計画を検討してください。KdBの備考欄の分類は以下ようになります。

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| ①オンライン(オンデマンド型) | 英訳:Online(Asynchronous) |
| ②オンライン(同時双方向型) | 英訳:Online(Synchronous) |
| ③対面 | 英訳:face-to-face |
| ④その他 | 英訳:Hybrid or Others |

(①~③の方法を複数組み合わせる場合も「その他」となります。詳細はシラバス等で確認してください。)

2) 他大学又は外国の大学等の授業科目をオンラインで履修することについて

他大学又は外国の大学等の授業科目をオンラインで履修することも可能となっています。履修の際は、事前にクラス担任教員、指導教員等と履修計画等について相談の上、「オンライン履修届」を提出して履修してください。必要な手続きについては、各支援室にて指示を受けてください。

実際に海外渡航しなければ身に付けることが困難なことがある中で、例えば留学に係る

事前学修・事後学修のうち基礎的な知識定着、語学力等の向上等については、オンライン履修が効果的と思われますので、活用してください。

3) 通信環境に支障のある学生への配慮について

授業料免除申請者等、真に経済的な理由により、通信環境を整備することが困難な学生に対しては、令和4年度限りとしてモバイル Wi-Fi の無償貸与を行う予定です。申請に必要な案内については、追って各教育組織よりお知らせする予定です。

4) オンライン授業に係る学生向けの支援情報について

学生向けの支援情報については、学術情報メディアセンターサイトに「オンライン授業受講案内」(<https://www.cc.tsukuba.ac.jp/wp/remote-lecture-students/>) にて公表しています。随時情報共有を行いますので、定期的に確認してください。

3. 学生スペースの開放について

各教育組織・センター内の PC サテライト室、ラウンジ（学生控室）や自習スペース、大教室等の開放を行う場所等について WEB 掲示板 (TWINS) の「大学から学生へのお知らせ (学内専用)」(見つけづらい場合は「学生控室等の開放状況」等と検索してください) にて公開しています。情報は更新されますので、定期的に確認してください。マスクを着用することを前提として声を出すことが可能な部屋を確保してほしいとの要望は承知しており、現在教育組織にて検討を行っています。なお、オンライン授業中学生が発言困難な状況も想定し、チャットでの質問受付も適宜授業で活用可能とするよう教員に依頼しています。

サテライト室の開室状況については、こちらの URL で公開しています。

https://www.u.tsukuba.ac.jp/satellites_status/

4. 授業に対する質問や意見等について

オンライン授業に関する学生アンケートの回答内容等も踏まえつつ、教員に授業の改善を図っていただけるよう依頼していますので、授業に関する学生の皆さんからの質問や意見等については、遠慮せず適宜授業担当教員に伝えていただくようお願いします。

5. 学生への修学上の配慮について

以下の場合等により授業等を欠席する必要がやむを得ず生じる場合において、可能な限り配慮するよう教員に依頼しております。

- ・ 学生が新型コロナウイルスに感染した場合
- ・ 医療機関等で PCR 検査が必要と判断され結果待ちの場合
- ・ 濃厚接触者として自宅待機となった場合
- ・ 体調不良（発熱・呼吸器症状・風邪症状がある場合で、新型コロナウイルス感染症の疑いのある学生）となった場合
- ・ 学生がワクチンの接種を受けるに当たり、接種のために授業等を欠席する必要がやむを得ず生じる場合
- ・ 新型コロナワクチンの副反応であるかにかかわらず、接種後、学生に発熱等の風邪の症状がみられる場合

これらの理由により授業等を欠席する場合は、速やかに学生各自で授業等の担当教員に

事情を申し出てください。なお、体調に問題がなければ、自宅待機中にオンライン授業を受講しても構いません。

6. 学内食堂の利用に関する留意点

各食堂、喫茶では濃厚接触を避けるため、従来から座席を減らし、対面で座らないように新型コロナウイルス感染症への感染防止策を実施しています。

また、テイクアウトメニューを増やし食堂が混雑しないように工夫も行っていきます。

新型コロナウイルス感染防止を図るため、食堂利用時の注意事項として以下のことを守っていただくようお願いします。

- (1) 席は移動せず対面で座らない
- (2) 食事中以外はマスクを正しく着用する
- (3) 会話を控え食事は短時間で済まし早めに席を次の方へ譲る
- (4) テイクアウトも利用する

7. 証明書の発行について

証明書発行機の利用前後には、手指消毒をするなど感染対策を講じてください。

居住地の都合等により証明書発行機の利用が困難な場合は、添付の申請書に返信用封筒を同封の上、所属する教育組織を担当する支援室（総合学域群はアカデミックサポートセンター）に郵送してください。なお、発行及び郵送には日数がかかりますので、御請求の際は十分に余裕を持ってください。

証明書交付願

※情報メディア創成学類、知識情報・図書館情報学類は、学類指定の様式にて申請してください。

8. 全学的な対応等の情報について

本学の新型コロナウイルスへの対応指針や、活動形態の変更、その他重要な事項等については、引き続き大学ウェブサイトでお伝えします。Web 掲示板(TWINS ログイン内)と併せて定期的に更新情報を確認してください。

【連絡先】

不安や不明な点があれば、クラス担任、指導教員、授業担当教員等に相談してください。上記の連絡方法が分からない場合は、各エリア支援室に相談してください。

また、学修に関しては、以下へご相談ください。

教育推進部 教育推進課

029-853-2202

開設授業科目一覧

学術院共通基盤科目

(必修科目:教育学理論研究、次世代教育開発研究、Theory of International Education)

他

専門基礎科目 (教育基礎科学 SP)

専門基礎科目 (次世代 SP・学校教育領域・S L 分野)

専門基礎科目 (次世代 SP・学校教育領域・英語教育分野)

専門基礎科目 (次世代 SP・学校教育領域・芸術科教育分野)

専門基礎科目 (次世代 SP・学校教育領域・保健体育教育分野)

専門基礎科目 (次世代 SP・国語教育領域)

専門基礎科目 (次世代 SP・社会科教育領域)

専門基礎科目 (次世代 SP・数学教育領域)

専門基礎科目 (次世代 SP・理科教育領域)

専門基礎科目 (国際教育 SP)

専門科目 (教育基礎科学 SP)

専門科目 (次世代 SP・学校教育領域・S L 分野)

専門科目 (次世代 SP・学校教育領域・英語教育分野)

専門科目 (次世代 SP・学校教育領域・芸術科教育分野)

専門科目 (次世代 SP・学校教育領域・保健体育教育分野)

専門科目 (次世代 SP・国語教育領域)

専門科目 (次世代 SP・社会科教育領域)

専門科目 (次世代 SP・数学教育領域)

専門科目 (次世代 SP・理科教育領域)

専門科目 (国際教育 SP)

外国人教員研修留学生カリキュラム

学術院共通専門基盤科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OAS0001	人間総合科学基礎論	2	1.0	1・2	春C	月2,3		内山 治樹	人間総合科学学術院の各学位プログラムの学生が、持ち回りで、各自の研究テーマや学位プログラムの学問領域の特徴をプレゼンし、履修者全員で議論することにより、自身の専門とは異なる分野の研究に関する基礎知識、研究手法、物の見方、考え方を学ぶ。この演習を通して、分野融合的視点を身につけることにより、人間に関する総合的理解を深め、探究心に磨きをかける。各学位Pの後期課程学生が、プレゼン指導やディスカッションのファシリテーターの役割を担うTFとして参画する。	その他の実施形態 オンライン（一部オンデマンド型）
OAS0101	教育学理論研究	1	1.0	1	春C	月1,2		濱田 博文, 佐藤 博志, 上田 孝典, 藤井 穂高, 平井 悠介, タスタンベコワ クアニシ, 京免 徹雄, 徳永 智子, 田中 正弘, 藤田 晃之	教育学研究を展開する上で、関連する学問分野の理論的な基礎を学ぶ。「教育」に関わるテーマを研究するのは教育学だけでなく、関連領域として様々な学問分野においてもテーマとなりえる。そのため、様々な学問分野における基礎的な理論や方法について学ぶことで、教育学研究を進めるための視野を広げ、複眼的な視点から教育学を研究する素養を身に付ける。具体的には、教育をテーマにした以下の学問分野における研究から教育学への知見を導く。教育学と思想・哲学/歴史学/外国研究/地方行政学/政治学/社会学/経営学/法律学/文化人類学/福祉学の各学問分野が検討される。	
OAS0102	次世代教育開発研究	1	1.0	1	春C 秋A	集中	2H101	小松 孝太郎, 國分 麻里, 井田 仁, 康 磯田 正美, 清水 美恵, 藤田 晃之, 石崎 和宏, 樋口 直宏, 宮崎 明世, 唐木 清志, 長田 友紀, 田中 マリア, 土屋 陽介	次世代教育開発をテーマに、最新の教育時事の理論的検討やディスカッションを行う。本学が定める汎用コンピテンスである「知の活用力」「マネジメント能力」「コミュニケーション能力」「チームワーク力」「国際性」、及び、教育学(前期)学位プログラムの専門コンピテンスである「教育課題発見能力」「教育内容探究能力」「教育学的分析能力」「教育課題解決能力」の基礎を培うことを目標とする。具体的には、『Society 5.0に向けた人材育成』に関わる理論や国内外の実践事例等を中心に広範に調査し、学校教育、キャリア教育、教育工学など多様な視点から分析的・総合的な検討を受講者間の議論を通して行う。	オンライン(オンデマンド型)。対面
OAS0103	Theory of International Education	1	1.0	1	秋C	金3,4, 集中		川口 純, 平明子, 菊地 かおり, Carol Inugai-Dixon, 北山 夕華, 原 和久	国際教育に関する諸問題を多角的な視点から理解し、またその論点について十分な知識をもとに論じることができるようになることを目標とする。授業では、国際教育に関する諸問題について、国際教育開発及び国際教育協力、国際理解教育、グローバル化の中での高等教育の変容などを事例として考察し、国際教育及び教育の国際化をめぐる今日的な動向及びその論点について理解を深める。英語によって授業を行う。	1/7, 13, 21, 28, 2/4 12:15~15:00 英語で授業。 オンライン(同時双方向型)
OAS0104	心理統計学特講	1	2.0	1・2	秋AB	月3,4		山口 一大, 登藤 直弥	本授業では、受講者が量的研究を行う際に、リサーチクエスションの設定、研究計画の立案、これに基づくデータの収集や分析、結論の導出といった手続きを適切に行えるようになることを目指し、教科書に沿って授業を行う。	・受講にあたり、所属学位プログラム(専攻)は問わないため、誰でも受講可能。 オンライン(オンデマンド型)
OAS0201	武道学	1	1.0	1・2	春AB	水2	50412	大石 純子	わが国の武道文化は、歴史の中で変化変容し、また、広く世界に広がりながら現代にいたっている。本授業では、まずそのあたりについて学ぶ。その上で、武道の精神性について古典文献等の講読を通して考える。	オンライン(オンデマンド型)

OAS020 2	健康増進学特講	1	1.0	1・2	春AB	月2	5C302	大蔵 倫博	加齢に伴う生活機能の変化と健康との関連に基づき、健康増進(サクセスフルエイジング)に必要なトレーニング法、生活実践法などについて講義する。一般健康者、高齢者、有疾患者に対する運動処方についても講義する。学習目標は、中年期から高齢期までのヘルスプロモーションのあり方および加齢にともなう体力(生活機能)の低下と健康との関連について理解することである。特に、サクセスフルエイジング、元氣長寿のための運動プログラム、中年期における体重管理の意義、健康におよぼす運動習慣化の効果、保健指導の問題点と健康支援の重要性、統計データから読み解く高齢者問題、生活機能、身体機能と介護予防の関係、認知機能と介護予防の関係、心理社会機能と介護予防の関係について学ぶ。	01EH550と同一。 オンライン(同時双方向型)
OAS020 3	トレーニング学	1	2.0	1	春AB秋AB	木1		前村 公彦, 谷川 聡	スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、課題解決法や手段の選択・創造法、時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、効果的なトレーニング実践法、トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。また、トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティーとその研究方法論について学んでいく。	AT必修科目 01EH621と同一。 オンライン(オンデマンド型)
OAS020 4	Olympic and Paralympic History (オリンピック・パラリンピック史)	1	1.0	1	秋AB	火1		澤江 幸則, 大林 太郎	オリンピック競技会、パラリンピック競技会の歴史について、その始まりと発展過程について今日的課題とともに学ぶ。授業計画は次のとおり。 (1)古代オリンピックの起源と展開について、 (2)メア競技祭の復興と展開について、 (3)イギリスと近代ギリシャにおける古代オリンピック復興、 (4)近代オリンピックの展開、 (5)日本におけるオリンピック競技会の歴史、 (6)ストックマンデビル競技会の創設、 (7)パラリンピック競技会の創設と発展、 (8)日本におけるパラリンピック競技会の歴史、 (9)筑波大学とオリンピックの歴史。	01EH044と同一。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) To due the COVID-19 crisis, this course will be held online. Online synchronous courses may be adopted if the situation changes.
OAS030 1	研究のビジュアルデザイン	2	1.0	1・2	春AB	月2		田中 佐代子, 小林 麻己人	研究成果を効果的に発表するために必要なビジュアルデザインの基本的な知識や技術を、PowerPointやExcelによる演習課題の制作を通して学ぶ。人間の心身及び諸活動に関する研究成果を効果的に発表するために必要なビジュアルデザインの実践力を身につけることを目的とする。	オンライン(オンデマンド型)
OAS030 2	スポーツ芸術表現学への招待	1	1.0	1・2	秋AB	火6	5C216	太田 圭, 嵯峨 寿, 大原 央聡, 田島 直樹, 寺山 由美, 本間 三和子	スポーツを題材とした「スポーツ芸術」について、アートのみならずサブカルチャーや文芸など、多様な領域におけるスポーツ芸術の表現について学ぶ。	オンライン(オンデマンド型)
OAS030 3	大学を開くデザインプロデュースA	2	1.0	1・2	春AB	応談	6A308	渡 和由, 山田 協太, 原 忠信	複数の教員がプロジェクトを立ち上げ、多様な学生でチームを組み、地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。短期・長期留学生の参加を歓迎する。 本科目においては、チームごとにプロジェクト対象地域や施設の調査を通して課題を探り、提案のアイデア出しを行い協働者と共有する。その後、課題や提案をまとめ、全教員と全チームで合同発表会を行う。	教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の水曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。 対面

0AS0304	大学を開くデザインプロデュースB	2	1.0	1・2	春C 夏季休業中	応談	6A308	渡 和由, 山田 協太, 原 忠信	複数の教員が立ち上げたプロジェクトについて、多様な学生のチームが地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。短期・長期留学生の参加を歓迎する。 本科目においては、チームごとに協働者とプロジェクトの試行や実装実験とワークショップ等の実践を行う。その後、実践の結果と課題をまとめる。	教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の水曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。 対面
0AS0305	大学を開くデザインプロデュースC	2	1.0	1・2	秋AB	応談	6A308	渡 和由, 山田 協太, 原 忠信	複数の教員が立ち上げたプロジェクトについて、多様な学生のチームが地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。短期・長期留学生の参加を歓迎する。 本科目においては、チームごとに協働者とプロジェクトの実装および制作などの実践を行う。その後、提案と実践の課程および成果や課題をまとめ、全教員と全チームで合同発表会を行う。	教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の水曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。 対面 対面とオンライン併用
0AS0306	世界遺産を科学する	1	1.0	1・2	秋AB	火1	人社B218	黒田 乃生, 飯田 義彦, 池田 真利子, 伊藤 弘, 上北 恭史, 下田 一太, 武 正憲, 松井 敏也, 八木 春生, 吉田 正人	世界遺産保護における課題と解決方法を自然科学、人文社会科学の視点から講述する。美術史、政策、観光、保存科学、景観保護、自然保護など世界遺産を対象に多様な切り口から知識と総合的な視座を獲得する。同時に国内外の世界遺産における国際協力の事例と手法を学ぶ。	対面 希望者はオンライン受講可能
0AS0401	こころの神経科学	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中		高橋 阿貴, 綾部 早穂, 山田 一夫, 岩木 直, 國松 淳, 三益 亜美, 阿部 高志	「こころ」を理解するための神経科学的研究の手法と成果について学習し、社会への応用の可能性を考える。専門学問領域の修得を深めるために、分野横断的融合型研究の視点を活用する豊かな発想を養う。 分子から精神までを網羅するニューロサイエンスの基礎を学ぶことにより、こころの理解に向けての分野横断的視点や考え方を学ぶことができる。	オンライン(同時双方向型)
0AS0402	神経科学先端セミナー1	1	1.0	1・2	通年	応談		高橋 阿貴, 國松 淳, 山田 洋	遺伝子、分子、細胞、組織、生理、システム、数理、行動、認知、応用、支援など、ニューロサイエンスの各領域の先端的な研究について、担当教員が毎回ゲストとして招く研究者によるセミナー講演を通して学ぶ。最新の研究手法や理論についての知識を深めるとともに、講師とのインフォーマルディスカッションを通して、生命科学、行動科学、情報科学、社会科学を架橋するニューロサイエンスの醍醐味、面白さを学び、ヒトのこころの理解を目指す人間科学の研究者としての視野を広げる。	対面
0AS0501	医科学セミナーI(ブレインサイエンス)	1	1.0	1・2	通年	応談		松本 正幸	分子神経生物学からシステム脳科学および臨床医学にわたる様々な神経科学の分野で活躍する第一線の研究者が行う最新のトピックスに関する講義に参加し、研究の最前線を知るとともに、神経科学の最新の研究成果について、自分自身の研究分野との関連で議論する。 トピック:脳、神経、病変、精神、パーキンソン病、自閉症、統合失調症、ロボットスーツHAL	
0AS0502	医科学セミナーII(生化学、分子生物学)	1	1.0	1・2	通年	応談		入江 賢児	生化学、分子生物学の分野で活躍する第一線の研究者が行う最新のトピックスに関する講義に参加し、研究の最前線を知るとともに、生化学、分子生物学の最新の研究成果について、自分自身の研究分野との関連で議論する。 トピック:代謝、DNA複製、転写、翻訳、遺伝子発現制御、細胞周期、アポトーシス、がん	

OAS0503	医科学セミナーIII(免疫学)	1	1.0	1・2	通年	応談	渋谷 和子	免疫学の分野で活躍する第一線の研究者が行う最新のトピックスに関する講義に参加し、研究の最前線を知るとともに、免疫学の最新の研究成果について、自分自身の研究分野との関連で議論する。 トピック:免疫系は生体を異物から防御するための必須の機構であるが、一方でアレルギーや自己免疫のように不都合な反応も起こしうる。学生を研究者の卵として位置づけ、学外の免疫学研究者の最先端の研究に触れることによって研究に対するモチベーションを高め、また今日の免疫学研究の現状と動向について考察する。	
OAS0504	医科学セミナーIV(プライマリケア)	1	1.0	1・2	通年	応談	総合D116 前野 哲博	プライマリ・ケアや保健医療福祉の現場で活躍する第一線の研究者が行う最新のトピックスに関する講義に参加し、現場の最前線を知るとともに、プライマリ・ケアや保健医療福祉の最新の研究成果について、自分自身の研究分野との関連で議論する。 トピック:プライマリ・ケア、保健医療福祉	01EQ041と同一。
OAS0505	医科学セミナーVII(臨床研究セミナー)	1	1.0	1・2	通年	応談	橋本 幸一	疫学や生物統計学に関する講義の補完として、疫学や生物統計学分野で活躍する第一線の研究者が行う最新のトピックスに関する講義に参加し、現場の最前線を知るとともに、疫学や生物統計学の最新の研究成果について、自分自身の研究分野との関連で議論する。また、原著論文を担当を決めて紹介し、セミナー形式にてディスカッションすることで学習効果を高める。 トピック:疫学、生物統計学	01EQ060と同一。
OAS0506	医科学セミナー基礎	1	1.0	1・2	通年	随時	小林 麻己人、入江 賢児	医科学研究(脳神経科学分野・生化学・分子生物学分野・免疫学分野・臨床研究分野など)にわたる最新の話題を第一線で活躍する研究者が紹介する。当該研究者は、担当教員が毎回ゲストとして招く。	・教室は決定次第連絡 ・医科学セミナーI(ブレインサイエンス)、医科学セミナーII(生化学・分子生物学)、医科学セミナーIII(免疫学)、医科学セミナーVII(臨床研究セミナー)のいずれとも同時には履修できない。
OAS0507	社会医学概論	1	2.0	1	春AB	木1.2	市川 政雄、近藤 正英、五所 正彦、齋藤 環、田宮 菜奈子、山岸 良匡、我妻 ゆき子、笹原 信一郎、森田 展彰、伊藤 智子、大谷 保和、菅野 幸子、Togoobaatar Ganchimeg、福重 瑞穂、堀 愛、岩上 将夫、高橋 晶、高橋 司	人びとの健康に寄与する要因が多岐にわたること、人びとの健康を増進するには学際的な取り組みが欠かせないことを理解することを目標とする。社会医学の今日的課題をさまざまな観点から論じることができる。	01EQ005と同一。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)
OAS0601	カウンセリング方法論基礎I	1	1.0	1	春A 春季休業中	集中	カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)担当教員	広義のカウンセリング領域における基本概念整理を行い、文献検索による課題の絞りこみや様々な研究方法の概要について習得する。本科目においては広義のカウンセリング領域について基本概念や方法を学ぶことにより、人間の心身及び諸活動に関する幅広い知識と総合的視座を身に付けることを目的とする。他領域の学生にとっても、知識の習得、文献検索、研究方法の修得などから専門知識及び専門技能に必要な倫理を学ぶことが可能となる。	4/13、4/27、5/18、2/15

OAS060 2	リハビリテーション方法論基礎I	1	1.0	1	春A	水7,8	リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_M1担任,リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当 教員	研究法の基礎として,研究デザイン,学術論文の要件,臨床研究の倫理,実験計画法,調査法,観察法,面接法,質的研究法,事例研究法,文献研究法,検査法等について概説する。	・受講は人間総合科学学術院の在生に 限る。
OAS060 3	スポーツ・ヘルスポモーション方法論	1	1.0	1・2	春C	水7,8	菊 幸一,尾縣 貢,柴田 愛,水上 勝義,辻 大士	スポーツ・ヘルスポモーションの修士論文・特定課題研究報告書の作成のために必要な基礎的な方法論について概説する。各自の研究計画の実現に向けて,研究デザインと科学的方法の客観性を担保する方法基礎論を理解し,文献や資料のオンライン検索の方法を学ぶ。また,社会調査法の一般的な手順を概説する。さらに,調査や実験データの分析法・検定法などの統計手法について,分析や検定結果の解釈法について文献を用いて理解したり,実際に統計解析ソフトを用いながら理解を深める。	01EK002と同一
OAS070 1	Research Foundation	2	2.0	1	秋C	月・木 1,2	ユニオン講義室 森嶋 厚行,李 昇 姫,金 尚泰,上保 秀夫,金 宣経	まず,それぞれの担当教員が専門とする研究領域を紹介し,研究テーマの設定方法や調査・実験の方法,研究成果の公表方法などの特徴について解説する。その後,修士論文執筆を最終目標として,文書作成,研究倫理,ブレインストーミング,協調作業,プレゼンテーションの5つのテーマについて学ぶ。(取り上げるテーマの順番は変更になる可能性がある。)さらに,研究の遂行と論文作成のために有用な各種のツールの使い方を演習を通して学ぶ。これらを通して,研究者となるための基礎的知識と技能を身に着ける。	毎年英語で授業 対面
OAS070 2	研究者のための学術情報流通論	1	1.0	1	春AB	集中 7C103	逸村 裕,宮入 暢子	自らの専門分野の学術情報流通と評価を見つめなおし,他分野の研究評価の在り方を知ることで,学術全般についての意識を高めるとともに,研究と学術情報流通のあり方についてマクロに考える。	4/23,5/21,6/25 対面
OAS070 3	音響メディア情報	1	1.0	1	春C	火1,2	寺澤 洋子,善甫 啓一,内山 俊朗,松原 正樹	社会における音の課題(音声コミュニケーション,音環境,聴取と認知など)について学び,音楽やメディアアートといった応用的な事例の検討を通じて,実社会におけるコミュニケーションのユニバーサルデザインを考える。	オンライン(オンデマンド型)
OAS070 4	情報アクセス	1	2.0	1・2	秋AB	金5,6	佐藤 哲司,関 洋平,森嶋 厚行	大量の情報へのアクセスは,ビッグデータ時代の鍵となる技術であり,その重要性は益々増大するばかりである。本講義では,情報アクセスの中心技術である情報検索,情報管理・統合技術,自然言語処理について,最先端の技術動向を交えながら説明する。これらの領域における最先端の話題として,WWWを舞台としたコレクティブインテリジェンスや共創知,クラウドソーシング,ソーシャルメディアにおける情報統合についても解説し,情報アクセス技術のこれまでとこれからの研究や社会応用の展望について理解を深める。	偶数年度は英語で授業,奇数年度は日本語で授業;メディアサイエンス専門科目;教職科目;学術院共通専門基礎科目 OATW11Aと重複履修不可。 01MB02, 01MBC01と同一。 その他の実施形態 第1-2回はオンライン(オンデマンド型), 第3-7回はオンライン(同時双方向型), 第8-10回はオンライン(オンデマンド型)

教育学学位プログラム(博士前期課程)

専門基礎科目(教育基礎科学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATAAO1	日本教育史特講	1	2.0	1・2					日本教育史のベーシックな知見を習得しながら、歴史的視野から教育や学校の系譜について説明することができるようになるのが目標である。前近代および近代以降の日本の教育や学校について巨視的に概観し、ナショナリズム・オリエンタリズム・コロニアリズムの概念とその視点を獲得しながら整理する。具体的には、日本教育史およびナショナリズム・オリエンタリズム・コロニアリズムに関する基礎的な文献を講読し、受講者による発表と討議によって検討する。	01ED321と同一。 2022年度開講せず。
OATAAO2	日本教育史演習	2	2.0	1・2					日本教育史に関する論文・資料に習熟しながら、歴史的視野から教育や学校について思考し、展望することができるようになるのが目標である。ナショナリズム・オリエンタリズム・コロニアリズムの研究成果にも学びつつ、近現代日本の教育や学校について多角的に再検討を加え、専門的な知見を深めていく。具体的には、日本教育史およびナショナリズム・オリエンタリズム・コロニアリズムに関する専門的な文献を、受講者による発表と討議によって検討する。	01ED322と同一。 2022年度開講せず。
OATAAO3	教育哲学特講	1	2.0	1・2	通年	応談		平井 悠介	個性の育成と社会性の育成をはじめとした、教育を取り巻く価値の二項対立に注目しながら、現代の教育に関わるさまざまな問題と、教育のあり方とを検討していく。その際、近代教育理論・教育思想、特にリベラリズム思想に課題解決の糸口を求めていき、問題の本質を深く探究していく。	教室：人間系学系B棟 520
OATAAO4	教育哲学演習	2	2.0	1・2	春AB 秋 AB	木2		平井 悠介	現代の教育事象を分析する教育哲学関係文献の読解を主眼に置き、教育をめぐる価値対立を乗り越えるための教育哲学的思考を育成する。授業前半では、教育哲学、および教育学理論の基礎知識を理解し、教育現実を分析する視点の獲得を目指す。授業後半では、近年の教育哲学研究の成果を講読することにより、教育現実と教育思想の接合について理解することを目指す。	教室は人間系学系B棟 B520
OATAAO5	生涯学習・社会教育学特講	1	2.0	1・2	春AB	火5,6		上田 孝典	近年における社会教育・生涯学習をテーマとした最新の研究動向を理解し、基礎的な理論と方法を習得することを目的とする。具体的には、社会教育・生涯学習をめぐる学習理論研究、歴史研究、法制度の改正を踏まえた政策動向、地方自治体における生涯学習行政、住民自治や市民活動の展開、社会教育施設をめぐる実践動向など、受講者の関心に基づいた先行研究を取り上げ、討議によって検討を行う。このことを通じて社会教育・生涯学習の研究的視点を習得し、幅広い知識と方法論を身に付ける。	教室：人間系学系B棟 415

OATAA06	生涯学習・社会教育学演習	2	2.0	1・2	通年	応談	上田 孝典	社会教育・生涯学習の公教育としての意味について検討することで、歴史的に構築されてきた「権利としての社会教育」の思想についての理解を深める。学校教育と並び社会教育が公教育として制度化された背景には、社会教育・生涯学習が「権利」として捉えられてきた背景がある。こうした理論的基盤を構築してきた基本文献を講読する。具体的には、乗杉嘉壽、吉田熊次、春山作樹、下村湖人、小尾範治、川本宇之介、宮原誠一、平沢薫、吉田昇、津高正文、小川利夫、藤岡貞彦、小林文人、島田修一ら戦前から戦後初期にかけて社会教育研究における理論構築を担った基本文献を検討する。検討を通じて、権利としての社会教育・生涯学習の今日的意味と公教育の役割について考察を行う。	教室は人間系学系棟B415
OATAA07	教育制度学特講	1	2.0	1・2	春AB秋AB	金3	藤井 穂高	学校間の移行と接続、教育制度論におけるアーティキュレーションの意義と課題について、学術的な研究に基づき説明できることを目標とする。具体的には、教育制度論におけるアーティキュレーションにかかる国内外の先行研究を取り上げ、学校間の移行と接続について、その意義(なぜ必要なのか)、内容(接続において何が問われるのか)、課題(克服すべき点)などに関する学術的成果を概説する。具体的な内容は、学校体系の基本理論、小1プロブレムにおける日本の問題状況、「接続期」の設定とその意義、義務教育学校、中等教育学校、諸外国の改革動向などである。	教室：人間系学系B棟523/524
OATAA08	教育制度学演習	2	2.0	1・2	通年	応談	藤井 穂高	今日の我が国及び諸外国の教育改革における資質・能力論の現状とその理論的根拠について学術的研究に基づき説明できることを目標とする。具体的には、今日、我が国及び諸外国の教育政策において、資質・能力(コンピテンシー)論に基づく改革が主流となりつつある。そうした中で、現状の改革動向を踏まえたうえで、その理論的根拠がいかなるものかを、関係文献の読解を中心に検討する。具体的には、奈須正裕『「資質・能力」と学びのメカニズム』、国立教育政策研究所『資質・能力[理論編]』、OECDのキー・コンピテンシー論、グリフィン他『21世紀型スキル』とファデル他『21世紀の学習者と教育の4つの次元』である。	教室は人間系学系B棟B523/524 01ED328と同一。
OATAA09	学校経営学特講	1	2.0	1・2	春AB秋AB	金4	濱田 博文	本授業の内容は、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の学校経営に関する理論と現代的課題について学び、学校経営に関する研究成果と課題について討議をおこなう。まず、学校経営に関する基礎理論およびその歴史的展開過程を、代表的な文献の講読を通じて理解する。次いで、小学校・中学校・高等学校の学校経営についての政策と実践に関する様々な文献や調査報告書等を参照しながら、現代的な課題について討議する。それらを踏まえて、これまでの学校経営研究成果を確かめ、今後求められる研究課題について考える。	教室：人間系学系B棟B523/524
OATAA10	学校経営学演習	2	2.0	1・2	春AB秋AB	木5	佐藤 博志	学校経営研究の展開、動向、実際について理解、考察することをテーマとし、学校経営研究の動向、実際、今後の課題について理解し、様々な視点や背景をふまえて、学校経営研究の今後の展望等について論じられるようになることを目標とする。具体的には、学校経営に関するこれまでの研究の展開、学校経営をめぐる最新の研究、諸外国で行われている研究の動向を検討する。小学校、中学校、高等学校を対象とした研究も検討する。研究者の背景や特徴も捉えつつ、文献等を分析し、学校経営研究をめぐる成果、課題、展望について議論、考察する。	教室：人間系学系B棟B516 01ED332と同一。

OATAA1 1	比較・国際教育学特講	1	2.0	1・2	春AB秋 AB	木3	タスタンベコワ クアニシ	この授業では比較教育研究の理論と実践をテーマとし、比較教育研究の方法論を学び、多様な教育問題を多様なアプローチで研究できることを把握することを目標とする。具体的には、比較教育学研究は地域、国、言語圏、また研究の主体と対象によってアプローチが異なることの原因について検討する。欧米諸国、東洋諸国、旧ソ連諸国における研究方法の特徴を整理する。理論書を基に、比較教育研究の目的、意義、対象、方法について学び、具体的な実践例を分析し、検討する。授業形態は講義、学生の個別発表とグループディスカッションである。	教室：人間系学系B棟 520
OATAA1 2	比較・国際教育学演習	2	2.0	1・2	通年	応談	タスタンベコワ クアニシ	この授業では比較教育学研究における量的研究と質的研究の方法論を学び、比較教育学研究の国内外の動向を把握する。全体を通して、比較教育学研究における論文の書き方を学ぶことを目標とする。具体的には、『比較教育学研究』と“Comparative Education Review”に特集として編成されている研究論文の検討分析を行い、比較教育学研究の量的研究と質的研究の方法論を整理する。日本語と英語で書かれる論文の特徴を検討し、論文の書き方を学ぶ。	教室は人間系学系B棟 B520 01ED334と同一。
OATAA1 3	道徳教育学特講	1	2.0	1・2	春AB	月3,4	田中 マリア	道徳教育学研究を行う上で素地となる知識や見方の獲得をめざす。具体的には、道徳教育学研究として本質的な問いや考え方などについて学ぶために有益と思われる著書や論文等を選定し、それを精読することで改めて道徳教育学分野における基礎的な用語の確認や道徳教育学研究として求められる問題などについて検討していく。	教室：人間系学系B棟 520
OATAA1 4	道徳教育学演習	2	2.0	1・2	通年	応談	田中 マリア	自らの関心のある課題を道徳教育学研究として掘り下げていこうとする姿勢や能力の育成をめざす。具体的には、受講者の関心のある課題に関連した学術論文の中から道徳教育学研究として掘り下げていこうとする上で適していると思われる学術論文を各々選定し、相互に紹介し合う。受講者はこの作業を通して自己の関心のある課題に関する研究動向を把握するだけでなく、それらを道徳教育学研究の一系譜として掘り下げていこうとする意識や道徳教育学研究として掘り下げていく際の視点や論点、勘所などを身につけていく。	01ED424と同一。
OATAA1 5	カリキュラム論特講	1	2.0	1・2	通年	応談		カリキュラムに関する研究動向と今後の課題の分析、検討を通して、この分野の基本的理解を深めることを目標とする。そのため、学部段階の教職科目の内容など、教育課程や学習指導要領に関する基礎知識を確認しつつ、より広範なカリキュラム研究における今日の多様な動向を理解する。具体的には、教職科目の各種テキストや教育学関連事典類の比較検討、日本カリキュラム学会をはじめとする専門諸学会の機関誌掲載論文などの講読を行う予定である。	01ED419と同一。
OATAA1 6	カリキュラム論演習	2	2.0	1・2	通年	応談		新しい教科の研究開発や教科再編を軸とした演習を通じ、カリキュラム開発に関する専門的理解を深めることを目標とする。いわゆるカリキュラムのユーザーからメーカー、ひいてはマネージャーへと、認識の移行や拡大を促し、この分野の知見を深めるねらいがある。具体的には、文部科学省の研究開発学校や教育課程特例校に代表される、各種研究開発の事例を検討し、その成果と課題にもとづいた新教科の研究開発を試みる。受講者による課題への取り組みと発表が中心となる予定である。	01ED420と同一。

0ATAA17	教育方法学特講	1	2.0	1・2	春AB秋AB	火2	樋口 直宏	教育方法学に関する文献講読を通して、研究動向と課題について考察する。これらを通して、学習指導や授業分析に関する基礎的な知見を習得できるようになることを目標とする。具体的には、学習指導スキルに関する諸理論について、文献を読み進めながら発表および討論を行う。また、学校現場における授業観察や学習補助にも携わることがのぞまれる。これらの取り組みを通じて、理論構築ならびに実践研究のデータ収集をあわせて行う。	教室は人間系学系B棟B410 01ED421と同一。
0ATAA18	教育方法学演習	2	2.0	1・2	春AB秋AB	火6	樋口 直宏	受講者各自の発表と討論を通して、教育方法学に関する理論的および実証的研究を行う。これらを通して、教育方法学および教職に関する応用的知見を習得できるようになることを目標とする。具体的には、授業分析および指導効果要因に関する理論等、受講者各自の関心のあるテーマについて、発表および討論を行う。また、学校現場やビデオにおける授業観察を取り入れ、授業分析の実際にも携わる。これらの取り組みを通じて、学校における実践方法についても習得できることを期待したい。	教室：人間系学系B棟B410 01ED422と同一。
0ATAA19	キャリア教育学特講	1	2.0	1・2	春AB秋AB	随時	藤田 晃之	今日のキャリア教育推進施策の特質と課題を明らかにすることを通じて、今日的課題についての理解を深めることを目標とする。具体的には、キャリア教育に関する基礎的な理解を前提としつつ、今日のキャリア教育推進施策関連文書を読み解くことを通じて、キャリア教育分野の研究課題を検討する。	
0ATAA20	キャリア教育学演習	2	2.0	1・2	春C	月3-6	藤田 晃之	今日的な研究課題に関する理解を前提として、学校におけるすべての教育活動を通じたキャリア教育の実践の在り方について理解を深め、研究者としての力量形成を図ることを目標とする。	教室：人間系学系B棟B520 01ED436と同一。
0ATAA21	教育社会学特講	1	2.0	1・2	春AB秋AB	火3	徳永 智子	最新の教育社会学研究のリーディングスの講読を通じて、グローバルに展開される教育社会学研究の多様な視座を身に着けることを目的とし、国内外の教育社会学の多様化する研究領域・理論的視座・方法論を学ぶ。具体的には、主にJenny Ozga編著『Sociology of Education』(Sage)を使用し、いくつかの論文を選び講読し、討論する。適宜、関連する日本語文献も紹介しながら、1)教育社会学の理論と方法、2)教育政策、3)教育・文化・アイデンティティ、4)学校教育の4つのテーマを議論する。	教室：人間系学系B棟B520
0ATAA22	教育社会学演習	2	2.0	1・2	通年	応談	徳永 智子	国内外の教育社会学や関連領域における理論・概念を学び、さまざまな教育現象を分析する視点や方法を身に着けることを目的とし、文献を読みながら、教育社会学研究の課題設定、問いの立て方、研究方法などについて学び、最終的には各受講者が学んだ視点や方法を取り入れた研究構想を発表する。具体的には、受講者の関心に合わせて、学校教育、教育問題、マイノリティと教育、グローバル化と教育、教育政策など多様な研究領域の文献を読み、教育社会学研究の成果や課題を議論する。毎回、学生が文献に基づく報告をし、全員で討論する。	教室は人間系学系B棟B520（集中講義の教室は別途案内予定） 01ED521と同一。
0ATAA23	高等教育論特講	1	2.0	1・2	通年	応談	田中 正弘	授業のテーマは、大学改革である。日本の大学改革に関する代表的なテキスト講読を通して、現在の課題（教育改革や質保証の在り方、進学機会の拡大など）の解決方法を多国間比較の観点から議論することである。授業の到達目標は次の3つである。 (1)日本の大学の歴史と現在の制度の特徴を説明できる。 (2)現在の課題を発見し、その課題が生じた理由を論じられる。 (3)課題の解決方法を他国の制度をモデルに提示できる。	教室は人間系学系B棟B516 01ED369と同一。

OATAA2 4	高等教育論演習	2	2.0	1・2	春AB秋 AB	木6	田中 正弘	<p>授業のテーマは、大学入試である。諸外国の大学入試に関する代表的なテキスト講読を通して、各国において、どのような背景の下で、どのような改革が行われてきたかを理解する。そして、それらの改革の課題の解決方法を多国籍比較の観点から議論する。授業の到達目標は次の3つである。</p> <p>(1) 諸外国（ヨーロッパと東アジアの国）における大学入試の特徴を説明できる。</p> <p>(2) 入試改革の課題を発見し、その課題が生じた理由を論じられる。</p> <p>(3) 課題の解決方法を他国の制度をモデルに提示できる。</p>	教室は人間系学系B棟 B516
OATAA2 5	特別活動学特講	1	2.0	1・2	通年	応談	京免 徹雄	<p>特別活動(学級・ホームルーム活動、児童会・生徒会活動、学校行事、クラブ活動)は、様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」のための資質・能力の育成を目指す取組である。本授業では、市民社会・職業社会を生き抜くために必要なこれらの資質・能力を培うために、集団のダイナミクス(協働性)、子どもの自治(自律性)、話し合いによる合意形成(民主性)を、どのように学校教育に取り入れていくべきか、多角的に考察する。</p> <p>春学期には、国内的視点から特別活動の成立・発展のプロセスについて理解する。第1回~第5回では歴史や理論に関する講義を行い、それをふまえて第6回~第10回では特別活動の各領域において各自テーマを設定し、その理論と実践について発表してもらう。</p> <p>秋学期には、国際的視点から特別活動の特質を分析する。第11回~14回では日本型教育モデルの輸出に関する動向や、国際比較の視点・方法について講義を行い、それをふまえて第15回~第19回では、外国の教科外活動の特徴および日本との相違点について発表してもらう。</p>	教室は人間系学系B棟 B520 01ED471と同一。

OATAA26	特別活動学演習	2	2.0	1・2	春AB秋AB	月2	京免 徹雄	<p>近年、日本の特別活動（学級・ホームルーム活動、児童会・生徒会活動、学校行事、クラブ活動）が社会情動的スキルの発達に有効であるとして、世界的に注目を集めています。課外活動は大部分の先進国で導入されていますが、日本のようにナショナル・カリキュラムを整備して体系的に実践している国は少数にとどまらず。一方で、多様性や創造性といった視点が弱くグローバル社会に対応できていないといった課題や、学校現場の実践知（暗黙知）に強く依拠する「理論なき実践」であり、ゆえに各教師・学校による取組の差が大きいといった限界も指摘されてきました。</p> <p>特に、現在の学習指導要領において特別活動はキャリア教育の「要」として位置づけられています。学級活動・ホームルーム活動に(3)「1人1人のキャリア形成と自己実現」が設けられ、「キャリア・パスポート」の活用もはじまりましたが、VUCA時代に入浴する中でどのように児童生徒を意思決定に導くか、試行錯誤が続いています。こうした状況を打開するには、国際的なキャリア・ガイダンスの理論や実践を理解した上で、それを日本独自の文脈において活用していくことが求められます。世界の学術的知見を踏まえて、日本のこれまでの実践を見直し進化させていくことによってこそ、国際的に開かれた「日本型キャリア教育モデル」としてのTokkatsuを構築することができるのではないのでしょうか。</p> <p>以上のような問題意識のもと、本授業では、James A. Athanasou and Harsha N. Perera (2019). International Handbook of Career Guidance (Second Edition) をテキストとして、毎回担当者を決めて、翻訳・プレゼンテーションをしてもらいます。本書は、主に国際キャリア教育学会（IAEVG）で活躍する研究者50名以上が参加して作成された国際ハンドブックの第2版である。キャリア・ガイダンスの歴史、政策、理論、実践、評価、研究方法などに関する38の論考が集録されており、各国において活用されている。一方で、序文で強調されている</p>	教室：人間系学系B棟520 01ED472と同一。
OATAA27	教師教育学特講	1	2.0	1・2	春AB秋AB	火4	朝倉 雅史	<p>教師教育に関する実践と研究の動向を学ぶ中で、主要な論点と研究課題について理解することを目指す。特に、教師教育に関わる政策・制度・文化の変遷と教師教育研究の展開を同時に把握するための資料収集と文献講読を行う。具体的には、教員養成・採用・研修に関わる政策文書や各種調査報告書、その他の資料をもとに実践的な動向を把握する。さらに教師教育研究に関するいくつかの基本的文献を講読しながら、それらの内容を批判的に吟味していく。これらの作業を通じて、教師教育に関わる実践と研究の相互関係をつかむと同時に、今後の重要な研究課題について考えを述べられるようになることを目標とする。</p>	教室：人間B520 西暦偶数年度開講。
OATAA30	教育政策学演習	2	2.0	1・2	春AB秋AB	木3		<p>本授業では、教育政策の理論や研究動向を検討し、現代の教育政策について考察を行う。具体的には、まず、教育政策の動向を理解し、分析するうえで有益となる概念、政策選択の対立軸、研究の知見などについて、テキストの講読を通じて学ぶ。加えて、そうした視点も参照しながら、関連するトピックを取り上げた文献を検討し、さらに理解を深めていく。これらを通じて、現代の教育政策を多角的に深く分析し、今後の課題や展望を考察することを目指す。</p>	教室：人間B516 西暦偶数年度開講。

OATACO 1	教育臨床学特講	1	2.0	1・2	通年	応談	学校教育および家庭や社会が抱える教育にかかわる問題、児童生徒の問題について、問題の理解(データの見方)、分析の仕方(データ処理)、メカニズムの理解と解明、問題解決に向けた援助方法について学ぶ。具体的には、児童生徒理解、問題理解、そのための研究的アプローチ(関係資料の収集、論文・データの見方、データ処理の仕方、問題のメカニズムの解明と考察)で授業を構成する。教育臨床学的見地からどのように問題を解明・理解し、課題解決にむけた仮説をたてるのか、について学ぶ。	
OATACO 2	教育臨床学演習	2	2.0	1・2	通年	応談	学校教育および家庭や社会が抱える教育にかかわる問題、児童生徒の問題について、問題の理解、問題のメカニズムの理解、問題解決に向けた、援助の方法について学び、これを身につけることが主な目的である。具体的には問題解明と解決に向けたアプローチ(教育現場における問題の解決と援助に向けた実践)から授業を構成する。教育臨床の現場においてどのように問題を解明・理解し、問題解決にむけて仮説をたて、支援につなげいかに実践するかを学ぶ。	01ED527と同一。

専門基礎科目(次世代学校教育創成サブプログラム・学校教育領域・SL分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATABO1	学校教育論	1	2.0	1・2	秋AB	火5,6	8B210	藤井 穂高	本授業のテーマは「学校教育の制度論」である。到達目標は、学校教育制度に関する今日的な基本課題について学術的な根拠をもとに説明できること、及びその課題について受講生が自分なりの考えを深めることができることである。学校教育に対しては様々なアプローチが可能であるが、本授業は、学校教育を「枠づけているもの」(すなわち制度)という観点から、学校教育の基本課題を取り上げ、検討する。なお、本授業は2コマ続きであり、1コマ目は受講生による報告・協議を含む「協調学習」の方法をとる。	協調学習の授業形態をとっているため、受講の選択の際には参加型の授業であることに注意すること 対面
OATABO2	学校心理学	1	2.0	1・2	春AB	水1,2	8B210	飯田 順子	授業の目標は、次の4つである。 1学校心理学の基礎概念について理解する。 2学校心理学が扱う領域に含まれる様々なトピックについて理解を深める(不登校、発達障害など)。 3学校心理学のなかで行われている最新の研究について学ぶ。 4心理教育的援助サービスの技法(アセスメント、カウンセリング、コンサルテーション)を学ぶ。 子どもが出会う問題状況の解決や成長の促進を目指す援助サービスの理論と実践を支える学問体系である学校心理学について、その理論や心理教育的援助サービスの実践について講義で学ぶと同時に、学校心理学の中心概念である「援助サービス」についてロールプレー等を交えて実践力を高める。	OATB132と同一。 オンライン(同時双方向型)
OATABO3	スクールリーダーシップ論	1	2.0	1・2	春AB	月1,2	8B210	濱田 博文	小・中・高等学校・特別支援学校等を組織として捉えることの意味を理解し、学校組織の特徴を踏まえた有効なリーダーシップのあり方について理論的・実践的な知見を獲得することを目指す。具体的には、現代の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等における学校経営の課題を学ぶとともに、最近の研究成果に基づいて、学校組織の特性を踏まえたリーダーシップのあり方について考察する。学校を「組織」として捉える意義と、組織としての学校の特性・独自性を確かめ、実践事例を検討することを通じて、学校経営の改善を推進するために有効なリーダーシップの条件について考えたい。	対面
OATABO4	青年の発達	1	2.0	1・2	秋AB	火1,2	8B204	佐藤 有耕	授業の目標は、次の3つと発展的な目標になる。 1青年、青年期、青年心理学についての理解を深めること 2青年心理学の研究パラダイムについて理解すること 3青年の発達を理解するための多様な観点を身につけること 発展的には、青年の発達に関する学習を通して、青年に対する理解と支援の水準を上昇させること。 このために、青年心理学に関する重要な文献を教材として、青年の発達に関する知見を深める。少人数で実施し、発表や討論などを活用に行う学生参加型の授業とする。	小学校専修免許対応はR2年度以降の入学のみ。 対面

OATABO 5	国際・多文化教育論	1	2.0	1・2	秋AB	木1.2	8B210	タスタンベコワ クアニシ	学校で多文化状況(外国人、「障がい」を持った子どもなど)が進む中で、形式的平等・実質的平等/平等(equality)と「公正さ」(equity)をテーマにして、望ましい資源配分や対応の在り方を考えることができる資質・能力を身につけることを目標とする。 国際・多文化教育は公正のための教育(Equity pedagogy)である。多様な文化的背景(障がいの有無、性別、民族、言語、宗教など)をもつ子どもが学校において直面する問題を事例として取り上げ、形式的平等・実質的平等/平等(equality)・「公正さ」(equity)、「合理的配慮」の観点から検討を加え、具体的な対応を考える。事例ごとに受講生をグループ分けし、順次発表及び討論をしていく形態をとる。	対面
OATABO 6	生涯学習論	1	2.0	1・2	春AB	金3.4		上田 孝典	社会教育・生涯学習に関する最新動向について学ぶことで、学齢期だけでなく人生を通じた教育や学習の意義と役割について理解を深める。具体的には、社会教育法の改正、地方自治体における社会教育・生涯学習行政の改編、学校と家庭・地域の連携をめぐる政策動向、ボランティアや市民活動などの市民セクターによる住民自治や地域づくり実践、社会教育施設や職員の現状などについて理解を深める。また、UNESCOをはじめとする諸外国の生涯学習や途上国におけるノンフォーマル教育の実践的展開を踏まえながら、SDGsをめぐる将来展望についても考察する。	1-5限。オンライン。 対面
OATABO 7	道徳と人権	1	2.0	1・2	通年	応談		田中 マリア	道徳教育と人権教育に関する基本的な知識理解を深めながら、国際社会における日本の価値教育の在り方について、新しい地帯を拓いていこうとする態度と技能を獲得することを目標とする。具体的には、道徳教育の現代的諸課題について、とりわけ人権教育と関係するテーマに関して、講義、討議、アクティビティ、グループワークなど多様なアプローチ方法を使って学習しながら、今日、国際社会のなかで求められる日本の価値教育のあるべき姿について考える。	小学校専修免許対応 はR2年度以降の入学 生のみ。 対面
OATABO 8	心理教育的アセスメント	3	2.0	1・2	夏季休業 中	集中		宮崎 圭子	心理教育的援助におけるアセスメントでは、「理解する、対策を立てる、対処する」というプロセスをくりかえしながら、よりよい援助の方向性をたえず模索していく過程が重要な位置を占める。この授業では、面接、主だった心理テスト等を通して、対象者自身および対象者と面接者の関係、さらには対象者の関わる環境を視野に入れたアセスメントの方法について検討する。 前半では、心理教育的アセスメントとは何かの概要を述べる。その後、主だった心理テスト(知能テスト、性格テストを中心に)を通してのアセスメントの方法、及び報告書作成とその際の注意事項を議論し学習する。その後、面接を通してのアセスメントの方法を学ぶ。実際に視聴覚教材を用いて、あるカウンセリング面接のクライアントを変化をアセスメントする。	小学校専修免許対応 はR2年度以降の入学 生のみ。 8/30-31, 9/5-6
OATAB1 1	学校の社会学	1	2.0	1・2	春AB	木3.4	8B204	徳永 智子	社会的カテゴリーの視点(階層、エスニシティ、ジェンダーなど)から国内外の教育政策・実践の可能性と課題について考察し、公正でインクルーブな学校教育のあり方について議論を深めることを目的とする。具体的には、社会的包摂・排除、マジョリティ・マイノリティ、インターセクショナルリティ、差別と共生、統合と包摂、居場所、特権、当事者主権、多文化教育などのキーワードを掘り下げながら、マイノリティの視点から学校教育を問い直す。毎回、学生が文献に基づく報告をし、全員で討論する。	対面

OATAB1 2	学校安全と危機管理	2	2.0	1・2	夏季休業 中	集中	8B210	堀井 啓幸	学校における安全・危機管理の基本的事項や原理・原則を理解するとともに、子どもを取り巻く今日的な状況を踏まえた学校安全と危機管理の実践の在り方について考察することができることを目標とする。具体的には、今日、学校や教師が多様に求められている学校安全と危機管理について、その背景やリスク・マネジメント、クライシス・マネジメントの基本的事項を理解する。その上で、事例検討を通して学校安全と危機管理の在り方を受講生とともに考察したい。	小学校専修免許対応 はR2年度以降の入学 生のみ。2-6限に実 施。 対面
OATAB1 3	学校経営事例研究	1	2.0	1・2	春AB	火3.4	8B204	佐藤 博志	この授業では、学校経営の事例を行う。具体的には、学校経営の事例、課題、展望について考えることができること、学校経営に関して、国際的視野を持って考察できること、教職の意義、役割、職務、進路選択と教育に関する知識を持つことを目指す。このために、日本と外国における教育の理論、教職の意義と教員の役割・職務内容、学校経営の理論と技法、学校経営の実践事例を検討し、学校改革の在り方を考察する。学校経営を中心としながら、教育政策、教育経営、授業実践、教師研究、国際比較研究も視野に入れて、現代の学校と教育をめぐる諸課題にアプローチする。事例研究の方法と国際比較研究の方法についても検討する。	小学校専修免許対応 はR2年度以降の入学 生のみ。 対面
OATAB1 4	学習指導と授業	1	2.0	1・2	春A 春B	金5 金6 金5.6	8B204	樋口 直宏	授業中の教師や児童・生徒の行動や思考を観察、分析することによって、すぐれた授業および指導方法の特徴について考察することを目的とする。これらを通して、授業を科学的に把握するための基礎的能力を育成したい。 本科目では、授業を構成する諸要素について、先行研究を参考にしながらその概念を検討する。また、授業分析の歴史をはじめ、今日における授業分析法、刺激回想法、参与観察法等の諸方法を習得する。必要に応じて、小・中・高等学校等に赴いて観察や記録を行う機会を設けるとともに、これまでのVTRや授業記録も活用する。	小学校専修免許対応 はR2年度以降の入学 生のみ。 対面
OATAB1 5	学習と学級の心理	1	2.0	1・2	秋AB	集中	8B210	佐藤 有耕, 茂呂 雄二	学習のプロセスを最新の学習科学に基づいて理解し、自らの授業実践にいかすことができるようにすることを目標とする。そのために、最新の学習科学の成果である状況的認知論から教室での学習について考える。単なる座学ではなく、様々な事例や課題を少人数で議論しながら、状況的認知の理解を進めて行く。	小学校専修免許対応 はR2年度以降の入学 生のみ。いずれも時 間は2限から6限ま で。 対面
OATAB1 6	学校臨床心理	1	2.0	1・2	秋AB	火3.4	8B210	沢宮 容子	主に児童期後半から青年期にかけて好発する心理・社会的不適応の諸問題に関し、学校という場における臨床心理学的な対応の仕方を、内外の文献の精読を通じて、学習する。具体的には、不登校、いじめ、非行、学校ストレス、抑うつ、不安障害などの不適応と、それらに対する心理教育プログラム等について学ぶ。	小学校専修免許対応 はR2年度以降の入学 生のみ。 オンライン(同時双方 向型)

専門基礎科目(学校教育領域・英語教育分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATAHO 1	英語教育研究方法論	1	2.0	1・2	秋AB	金3,4		名畑目 真吾	英語教育研究におけるデータの収集や解析などの方法論について理解を深めることを目的とし、統計の基礎知識から様々な量的分析の方法を学び、統計ソフトによって実践できることを目指す。具体的には、記述統計及び推測統計の基礎知識や、相関分析、t検定、分散分析、因子分析といった外国語教育研究で広く用いられている統計手法について学ぶ。さらに、統計フリーソフトRについても扱い、基礎的な統計手法や応用的な使用方法までをRで行うことができるようにする。	コンピューターを使った統計分析を実践することから、Teamsを使ってオンライン(同時双方向型)で実施する。資料等の配布もTeamsで一括して行う。履修者が限られることから、授業の出席は授業中の受講者の発表等を通じて行う。成績評価は討議への参加や毎回の課題を総合して行う。 西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型) 統計分析やデータ解析に関心があれば、他分野の学生の受講も受け入れる。
OATAHO 2	英語教育学習論	1	2.0	1・2	春AB	火5,6		名畑目 真吾	第二言語の習得や処理に関する書籍や文献を講読し、第二言語習得の特徴やその指導法について理解・議論する。具体的には、構文学習や用法基盤モデルといった近年着目されている言語習得理論を中心に様々な研究成果を概観し、指導への示唆を理解する。また、そのような先行研究によって得られた知見をもとに国内の小学校、中学校、高等学校における英語教育の実践について理論的・批判的に捉え、英語教育の理論と実践について自身の考えを深めることを目指す。	西暦偶数年度開講。 対面
OATAHO 3	英語教育内容論	1	2.0	1・2	春AB	火4,5		名畑目 真吾	第二言語理解や処理における特定の技能や要因に関する書籍・文献を講読し、第二言語理解や処理、その指導法について理解・議論する。具体的には、リーディングであればその認知処理や動機づけ、指導とカリキュラム、評価方法などについて扱う。また、そのような先行研究によって得られた知見をもとに国内の小学校、中学校、高等学校における英語教育の実践について理論的・批判的に捉え、英語教育における特定の技能や要因に関する自身の考えを深めることを目指す。	西暦奇数年度開講。
OATAHO 4	英語教育実践論	1	2.0	1・2	秋AB	金3,4		名畑目 真吾	英語教育の実践的な知識を学び、多様な指導環境や児童・生徒の学びの特徴について理解する。具体的には、国内の小学校、中学校、高等学校における英語教育の目標や教材について理解するとともに、各校種の授業見学あるいは映像視聴を行い、より良い英語授業の実践について理論的・批判的に自身の考えを深める。そして、模擬授業の設計、実施、振り返りを通して、各校種の英語の授業づくりと実践に必要な知識と技術を身に付けることを目指す。なお、学校現場への授業見学を行う場合は開講曜時限によらないので留意すること。	西暦奇数年度開講。

専門基礎科目(学校教育領域・芸術科教育分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATAJO 1	芸術科教育特講a	1	1.0	1・2	春AB	水3	芸術 B234	石崎 和宏	芸術教育に関する基本文献を講読して今日的な課題を概観し、その解決のためのさまざまなアプローチを理解することができること、特に、芸術教育に関する学会誌に掲載された論文をレビューし、その方法論の特徴、成果と課題を明確化できることを目標とする。そのために、『美術教育学』等の学会誌論文の中から、芸術教育におけるディプリンや今日的課題、〈新しい能力〉概念と芸術教育、芸術教育における能力観、芸術教育におけるイメージリテラシー、学習科学と芸術教育等に関わるテーマを選び、その目的、方法、結果を要約し、そこから発展する問いを提案し議論する。また、各自がレビューした論文や授業で取り扱った論文を総括して考察する。	対面、状況によりオンライン(同時双方向型)に変更の可能性あり。 西暦偶数年度開講。
OATAJO 2	芸術科教育特講b	1	1.0	1・2	秋AB	水3		石崎 和宏	芸術教育に関する基本文献を講読して今日的な課題を概観し、その解決のためのさまざまなアプローチを理解することができること、特に、芸術教育に関する学会誌に掲載された論文をレビューし、その方法論の特徴、成果と課題を明確化できることを目標とする。そのために、『美術教育学』等の学会誌論文の中から、描画表現における発達、表現・鑑賞学習への動機づけ、芸術学習における転移、芸術学習におけるメタ認知、鑑賞スキルとその発達等に関わるテーマを選び、その目的、方法、結果を要約し、そこから発展する問いを提案し議論する。また、各自がレビューした論文や授業で取り扱った論文を総括して考察する。	対面、状況によりオンライン(同時双方向型)に変更の可能性あり。 西暦偶数年度開講。
OATAJO 3	芸術科教育実践論演習 a	2	1.0	1・2					近年の教育実践研究における質的研究の方法に注目し、その基本的概念と手順について理解を深め、芸術科教育での課題に対する各自の問題意識と対応させた方法を習得することを目標とする。そのために、芸術科教育実践における今日的な課題を解決するための質的アプローチの基本的概念について、仮説と理論の関係、リサーチクエスションの設定、分析ワークシートの作成、理論生成のプロセス等の視点から理解し、実践におけるさまざまな問題の背景要因の分析と問題解決のための理論モデル生成の手法について演習する。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAJO 4	芸術科教育実践論演習 b	2	1.0	1・2					近年の教育実践研究における質的研究の方法に注目し、その基本的概念と手順について理解を深め、芸術科教育での課題に対する各自の問題意識と対応させた方法を習得することを目標とする。そのために、芸術科教育実践における今日的な課題を解決するための質的アプローチの基本的概念について、協調学習における理解深化プロセス、パフォーマンス評価による学びの可視化、対話型鑑賞における鑑賞者同士の学習支援等の視点から理解し、実践におけるさまざまな問題の背景要因の分析と問題解決のための理論モデル生成の手法について演習する。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。

OATAJO 5	芸術鑑賞論a-1	1	1.0	1・2	春AB	火3	芸術 B234	石崎 和宏	芸術鑑賞の教育研究に関わる先行文献をレビューし、それらで検討された具体的な研究方法と得られた知見について考察し、鑑賞教育研究の多面的な方法を理解することを目標とする。そのために、芸術鑑賞に関わる各自のリサーチクエッションに基づいた独自の調査方法をパイロットスタディとして開発し、その分析結果と考察を発表し、レポート(論文形式)でまとめる。	対面、状況によりオンライン(同時双方向型)に変更の可能性あり。 西暦偶数年度開講。
OATAJO 6	芸術鑑賞論a-2	1	1.0	1・2	秋AB	火3	芸術 B234	石崎 和宏	人々は芸術作品をどのように理解するのかという問いにかかわる先行研究の検討や事例分析を通して、芸術鑑賞に関する方略的な知見を習得し、それらの知見を活用した芸術教育での学習方略を開発できることを目標とする。そのために、芸術作品の鑑賞プロセスでの思考や概念の変化を事例ごとにマッピングし、パーソンズ(Parsons, M.)の発達理論と対比しつつ、芸術鑑賞におけるスキルやメタ認知のとらえ方について、鑑賞文からのスキル分析や鑑賞における思考の構造化の視点から検討し、芸術教育における実践への具体化を考察する。	対面、状況によりオンライン(同時双方向型)に変更の可能性あり。 西暦偶数年度開講。
OATAJO 7	芸術鑑賞論b-1	1	1.0	1・2					人々は芸術品からの個人的な意味づくりをどのようにできるのか。この問いにかかわる鑑賞の機能や課題について考察する。対話型鑑賞の手法を通して、具体的な事例の分析を試みる。芸術鑑賞における「視覚」と「言葉」がどのように作用するのかという問いに関わる事例演習を通して、鑑賞の個人的な意味づくりについての議論を深めていく。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAJO 8	芸術鑑賞論b-2	1	1.0	1・2					人々は芸術をどのように理解するのか。その問いにかかわる研究成果を検討しつつ、美術教育における鑑賞教育の方法論を考察する。特に解釈や判断等の思考過程に注目し、その過程で葛藤やジレンマ、意味の生成、論争などを促す方法について検討する。さらに美術的思考の深化を促すプランを立案・実践し、議論する。	教室：芸術B234。対面、ただし状況によりオンライン(同時双方向型)に変更の可能性あり。 西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。

専門基礎科目(学校教育領域・保健体育教育分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATAKO 1	保健体育教育内容論	1	3.0	1・2	春AB秋 AB 春C秋C	金2 集中		宮崎 明世	保健体育科の教材について、教材開発と学習指導の実践及び研究に関する基礎知識を身につける。各種運動領域の教材、学習及び学習指導に関する開発・実践及び研究に関する知識を踏まえて、教材及び単元計画の開発、学習過程及び指導方法の開発、開発した教材、単元計画、指導方法を検証するための研究を計画できるようになることを目標とする。具体的には、保健体育科の教材について基本的理論を学ぶ。各種運動・スポーツ種目のトレーニングと指導法に関する知識を踏まえて、教材を開発する。	
OATAKO 2	保健体育教育実践論演習I	2	1.0	1	春季休業 中	集中		宮崎 明世、関野 智史	教育実習において実習生が直面する問題を理解し、問題解決の助力と指導計画の指導を通じて自らの授業計画、運営能力を身につけることを目標とする。具体的には、筑波大学附属小学校・中学校・高校と連携し、保健体育科の教育実習生の事前指導を観察、補助することを通じて、保健体育科の授業作り、教材作り、学習指導、評価に関する知識を学校現場でどのように活用し実践するのか、保健体育科の教育実習生が直面する課題とその解決方法を理解し、学習指導並びに授業改善に必要な知識と実践力を身につける。	3/22(火)9:00-(対面) 体育研究棟B407セミ ナ一室 3/22 対面

OATAKO 3	保健体育教育実践論演 習II	2	1.0	2	春AB	集中	宮崎 明世	教育実習の準備段階で実習生が直面する問題点を理解し、指導案作成の指導を通じて自らの授業計画、運営能力を身につけることを目標とする。具体的には、筑波大学附属小学校・中学校・高校と連携し、保健体育科の教育実習生が教育実習前に行う観察実習および指導案作成を観察、補助することを通じて、保健体育科の授業作り、教材作り、学習指導、評価に関する知識を学校現場でどのように活用し実践するのか、保健体育科の教育実習生が直面する課題とその解決方法を理解し、学習指導並びに授業改善に必要な知識と実践力を身につける。	授業はいずれも11:25 -15:00 4/15, 22, 5/6, 13, 14 対面
OATAKO 4	保健体育教育実践論演 習III	2	1.0	2	春AB	随時	宮崎 明世	教育の現場で実習生が直面する問題点を理解し、指導案作成の指導を通じて自らの授業計画、運営能力を身につける。実習校の指導教員の実習生への指導を、自らの授業力の向上に役立てることを目標とする。具体的には、筑波大学附属小学校・中学校・高校と連携し、保健体育科の教育実習生の指導を観察、補助することを通じて、保健体育科の授業作り、教材作り、学習指導、評価に関する知識を学校現場でどのように活用し実践するのか、保健体育科の教育実習生が直面する課題とその解決方法を理解し、学習指導並びに授業改善に必要な知識と実践力を身につける。	
OATAKO 5	保健体育カリキュラム 論	1	1.0	1・2	春AB	木2	宮崎 明世	現在の学校に対する社会的な要請や、児童生徒のニーズを理解する。その上で課題やニーズに対応した、小・中・高校段階のカリキュラムを設定できる力を身につける。また、体育の目標と内容について学び、カリキュラムモデルを理解することを目標とする。具体的には、教科としての体育の意義と学習すべき内容を理解し、発達段階に応じたカリキュラムを考える。学校段階に応じたカリキュラムの考え方を学び、さまざまなカリキュラムモデルを理解し活用できるようになる。	
OATAKO 6	保健体育授業づくり論	1	1.0	1・2	秋AB	木4	宮崎 明世	より良い体育授業を行うための、授業計画、教材を活かす学習過程の設計、授業中の肯定的雰囲気と運動学習の勢いをつくり出すマネジメントと教授行動などについて考えることができること、実現可能な指導計画、教材の考え方を身につけ、良い保健体育授業が行えるようになることを目標とする。具体的には、保健体育の授業づくりの基礎をふりかえり、さらに実践的な考えの下に年間計画、単元計画、指導計画づくりを検討する。今、この時代に求められる保健体育授業、学校のあり方について考える。より良い体育授業を行うための、授業計画、教材を活かす学習過程の設計、授業中の肯定的雰囲気と運動学習の勢いをつくり出すマネジメントと教授行動について検討する。	

専門基礎科目(国語教育領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OATADO1	国語科教育学a	1	1.0	1・2	春AB	木5	8B406	勝田 光	国語科の目標、内容、方法に関する研究水準に基づいて、今日的な課題について討議を行い、解決策を検討する。具体的には、国語学習指導の意義、国語科の目標と内容、学習者の把握と指導計画作成の観点、話すこと・聞くことに関する授業づくりの方法、書くことに関する授業づくりの方法、読むことに関する授業づくりの方法、伝統的な言語文化と国語に関する事項の内容、国語科における評価の方法、国語科をとりまく課題について討議する。	西暦偶数年度開講。 対面
OATADO2	国語科教育学b	1	1.0	1・2	秋AB	木5	8B406	勝田 光	PISA、全国学力・学習状況調査などの評価方法、また、アクティブ・ラーニングなど、現在の国語教育を取り巻く問題を取り上げて関連資料に基づき討議を行い、対応策を検討する。具体的には、PISA2000のもたらした課題、全国学力・学習状況調査、高等学校・大学の入試問題、読解力向上プログラムの背景、「新しい学力観」の帰趨、学校教育における言語活動の位置づけをめぐる議論、アクティブ・ラーニングの諸問題、FD活動の課題などについて討議する。	西暦偶数年度開講。 対面
OATADO3	国語科教育史研究a	1	1.0	1・2	春AB	火6	8B406	長田 友紀, 甲斐雄一郎	筑波大学附属中央図書館所蔵の学制期以降の教科書を用いつつ、国語科の成立過程における教材選択および構成の推移を初等教育と中等教育、国語関連教科と他教科、国語科成立前と後などの観点によって検討する。具体的には、国語科の教科内容を決定する要素と検討資料、学制期の教科書、教育令期の教科書における初等教育と中等教育の関連、第一次学校令時の教科書制度と初等教育と中等教育の関連、初等教育における国語科の成立と第二次学校令期との間の連続性の有無、第三次学校令期における初等教育と中等教育の関連、古典教育・文学教育の起源について、作文教育における課題の変化とその要因、教科書にみる国語科と他教科との関連について討議する。	対面
OATADO4	国語科教育史研究b	1	1.0	1・2	秋AB	火6	8B406	長田 友紀, 甲斐雄一郎	国語教育の実践理論史上には時を隔てた類同性を見出すことができる。それらに関して問題の構造を解明し、解決のための方途を討議する。具体的には、国語科の教育史における時を隔てた類同性に着目することの意味、他教科と国語科の異同を議論する観点、国語科成立時における「話し方」教授の位置づけからみる話すこと・聞くことの問題、明治末期における発表教授不振の要因と随意選題論の成立、学習法の提唱とアクティブ・ラーニング、調べる綴り方と教育課程の問題、調べる綴り方と国語単元学習、第一次・第二次学習指導要領と国語単元学習、第三次・第四次学習指導要領と第七次・第八次学習指導要領、第五次・第六次学習指導要領と第九次学習指導要領などについて討議する。	対面

OATADO 5	国語科教育実践論研究 a	2	2.0	1・2					国語科教育の代表的実践理論を概観した上で、それぞれの領域の授業分析事例について討議し、分析対象とする授業計画や調査計画を立案する。具体的には、国語科授業分析の概説、国語科教育実践理論の代表的研究(読むこと、教育、書くこと、話すこと・聞くこと、教育、言語事項の教育、伝統的な言語文化の教育)を概観した上で、国語科授業分析研究の代表的研究 演習発表(読むこと、書くこと、教育、話すこと・聞くこと、教育、言語事項の教育、伝統的な言語文化の教育)を行う。その上で国語科授業分析の目標および指導内容に関する考察をする。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。 対面
OATADO 6	国語科教育実践論研究 b	2	1.0	1・2					研究授業を院生が自ら企画立案したものを実際の教室で実施する。実施後は、授業中の学習者のデータを記録・分析したものを報告書にまとめる。具体的には、国語科授業分析の調査方法の考察、国語科授業分析における評価方法の考察をし、独自の授業案の作成や模擬授業の実施および分析をする。授業分析についての復習、ワークシートの作成、ワークシートの検討、アンケート用紙の作成、アンケート用紙の検討をしたうえで、研究授業の実施、研究授業の振り返り、調査データの分析と考察、授業研究調査報告書の作成をする。	実地指導を含む。 西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。 対面
OATADO 7	表現教育論a	1	1.0	1・2	春AB 春C秋 ABC	集中	8B406	長田 友紀	国語教科書における表現領域の教材を確認したうえで、表現トレーニングを受講することで各自の表現のスキルや能力を向上させる。具体的には、言語表現論の概説、国語教育における言語表現、教科書に見る言語表現(話すこと・聞くこと)、教科書に見る言語表現(書くこと)、言語表現トレーニング(話すこと、言語表現トレーニング(話すこと、言語表現トレーニング(書くこと、言語表現トレーニング(書くこと、言語表現の振り返りの方法などについて討議する。	実地指導を含む。 西暦偶数年度開講。 詳細後日周知。 西暦偶数年度開講。 対面
OATADO 8	表現教育論b	1	1.0	1・2	春ABC 秋AB 秋C	集中	8B406	長田 友紀	日本における表現教育の主要な事例を歴史的に振り返った上で、特に大村はま実践における事例を討議する。具体的には、言語表現に関する実践事例(戦前)、言語表現に関する実践事例(昭和)、言語表現に関する実践事例(平成)、大村はまにみる表現教育の方法(スピーチ)、大村はまにみる表現教育の方法(インタビュー)、大村はまにみる表現教育の方法(話し合い)、大村はまにみる表現教育の方法(説明的文章)、大村はまにみる表現教育の方法(文学的文章)、大村はまにみる表現教育の方法(総合的な単元)について討議する。	西暦偶数年度開講。 詳細後日周知。 西暦偶数年度開講。 対面
OATADO 9	文学教育論a	1	1.0	1・2	通年	応談		石塚 修	国語科教育、とくに中等教育における文学に関する教育についての基礎的な知見を身につけ、中等教育の教員として求められる資質を高める。具体的には、文学とはなにか(総論)、文学とはなにか(問題点)、文学を教育することの意義(総論)、文学を教育することの意義(問題点)、中学校における文学教育(総論)、中学校における文学教育(問題展)、高等学校における文学教育(総論)、高等学校における文学教育(問題展)などについて討議する。	対面
OATAD1 0	文学教育論b	1	1.0	1・2	通年	応談		石塚 修	国語科教育、とくに中等教育における文学に関する教育についての応用的な知見を身につけ、中等教育の教員として求められる資質を高める。具体的には、文学とはなにか(総論)、文学とはなにか(問題点)、文学を教育することの意義(総論)、文学を教育することの意義(問題点)、中学校における文学教育(総論)、中学校における文学教育(問題展)、高等学校における文学教育(総論)、高等学校における文学教育(問題展)などについて応用的な視点から討議する。	対面

OATAD1 1	古典教育論a	1	1.0	1・2	春AB	月3		石塚 修	国語科教育、とくに中等教育における古典に関する教育についての基礎的な知見を身につけ、中等教育の教員として求められる資質を高める。具体的には古典とはなにか(概説)、古典とはなにか(問題点)、古典を教育することの意義(古文)、古典を教育することの意義(漢文)、中学校における古典教育(古文)、中学校における古典教育(漢文)、高等学校における古典教育(古文)、高等学校における古典教育(漢文)などについて討議する。	実地指導を含む。 対面
OATAD1 2	古典教育論b	1	1.0	1・2	秋AB	月3		石塚 修	国語教育における古典分野について教員としてふさわしい指導方法・指導内容を身につける。具体的には、古典とはなにか(概説)、古典とはなにか(問題点)、古典を教育することの意義(古文)、古典を教育することの意義(漢文)、中学校における古典教育(古文)、中学校における古典教育(漢文)、高等学校における古典教育(古文)、高等学校における古典教育(漢文)について応用的な視点から討議する。それらをもとに古典分野についてふさわしい教員像について考察する。	実地指導を含む。 対面
OATAD1 3	国語科リテラシー教育論a	1	1.0	1・2	春AB	火2	8B406	島田 康行	国語教科書の教材を対象として、リテラシー教育の考え方について実践的に学ぶ。具体的には国語教育におけるリテラシーの考え方、学習指導要領にみるリテラシー教育の思想、国語教科書にみるリテラシー教育の可能性、「話すこと・聞くこと」の教材研究(1)中学校教科書から、「話すこと・聞くこと」の教材研究(2)高校教科書から、「書くこと」の教材研究(1)中学校教科書から、「書くこと」の教材研究(2)高校教科書から、「読むこと」の教材研究(1)中学校教科書から、「読むこと」の教材研究(2)高校教科書から、リテラシー教育の考え方に立つ国語教育の在り方などについて概観する。	オンライン(同時双方向型)
OATAD1 4	国語科リテラシー教育論b	1	1.0	1・2	秋AB	火2	8B406	島田 康行	教材開発の視点と方法を学び、国語科各領域のリテラシー教材開発を実践的に学ぶ。具体的には、リテラシー教育における教材の機能と役割、教材開発の視点と方法、「話すこと・聞くこと」の教材開発(1)プレゼンテーション、「話すこと・聞くこと」の教材開発(2)メディアの活用、「書くこと」の教材開発(1)説明と描写における修辞、「書くこと」の教材開発(2)論じるといふこと、「読むこと」の教材開発(1)近現代の文学的文章、「読むこと」の教材開発(2)古文・漢文、「読むこと」の教材開発(3)「実用的な文章」、総括「リテラシー教育の考え方に立つ教材開発のこれからについて討議する。	オンライン(同時双方向型)
OATAD1 5	国語教育特講	1	1.0	1・2	秋C	集中		長田 友紀	各国の教育課程、PISAの結果、教科書の分析に基づき、他国・地域と日本の母語教育における共通点と相違点について討議する。具体的には、研究方法としての他国・地域との比較についての概説、PISAの学習環境に関する結果について、PISAの読解リテラシーに関する結果について、各国・地域における母語教育の位置づけ、中国における語文の教育内容、台湾における国語の教育内容、韓国における国語の教育内容、東アジアにおける共通教材としての漢文、他言語文化圏における古典学習の意義について討議する。	詳細後日周知。 対面

OATAD16	国語科研究法	1	3.0	1・2	春AB秋AB	応談	勝田 光, 石塚 修	国語科の各領域に関する実践研究を収集し、今日的な課題を把握すると同時に、現時点での達成水準を理解する。また筑波大学所蔵の現職派遣生の実践レポートを分析対象として、討議をとおしてそれらを分析し評価するとともに自ら提案するための方法を獲得する。その上で実際に実践レポートを作成する。具体的には、国語科の実践研究の水準を把握する意義とその方法、実践研究のレビューの収集、レビュー記述の観点、話すこと・聞くことの実践に関するレビューの分析、などについて討議する。	全てオンライン 14条対応
OATAD17	国語科研究法演習	2	3.0	1・2	春AB秋AB	応談	稀代 麻也子, 長田 友紀	国語科における各領域(読むこと、書くこと、話すこと・聞くこと、日本語の特質、伝統的な言語文化(古文、漢文)でなされてきた代表的な研究を概観した上で、各自でそれぞれの領域の研究を調査し、討論する。また国語科教育における代表的研究方法を理解した上で、各自でそれぞれの手法から一つを選び調査し演習発表を行う。その際、研究方法だけでなく、各領域の指導内容にも十分に注意を払い検討を進める。これらをとおして国語科教育の研究法を向上させる。	全てオンライン 14条対応
OATAD18	社会日本語論Ia	1	1.0	1・2	春AB	応談	矢澤 真人, 今田 水穂	今後の日本社会における母語教育の必要性と、学習者が身につけるべき言語能力、およびその指導法について、主として日本語研究との関わりの中から考察し、学習者を指導するための基本的な知識や応用能力を習得する	多言語多文化社会、情報化社会に対応した言語能力や情報処理能力を身につけるために母語教育で習得すべき事項について検討する。 オンライン(オンデマンド型)、対面
OATAD19	社会日本語論Ib	1	1.0	1・2	春AB	木3	橋本 修	日本語を主な材料として、社会言語学の主要概念について論じる。一部受講者による議論を含む。具体的には、「母語」教育と「国語」教育について、言語事項から見た国語科と英語科の連携について、言語事項から見た国語教育と日本語教育の連携について、多言語多文化社会における言語情報の提供サービスについて、中学校レベルで求められる言語情報と現在の中学生向け国語辞典(分担報告を含む)、高等学校レベルで求められる言語情報と現在の国語辞典(分担報告を含む)、国語教育で求められる言語情報と日本語教育で求められる言語情報について討議する。	オンライン(同時双方向型)
OATAD20	社会日本語論IIa	1	1.0	1・2	通年	応談	矢澤 真人	日本語研究と国語教育との目的や方法論の違いを理解した上で、論理展開力の育成やアイデンティティ・共感力の育成のための母語教育のあり方と、それを支援する日本語研究のあり方について、具体的な事例をもとに検討していく。今年度は主として、国語辞典と国語教育との関わりについて考えて行く。	人文社会科学学位P言語学SP「国語教育学A」と共通 オンライン(オンデマンド型)、対面
OATAD21	社会日本語論IIb	1	1.0	1・2	通年	応談	矢澤 真人	日本語研究と国語教育との目的や方法論の違いを理解した上で、論理展開力の育成やアイデンティティ・共感力の育成のための母語教育のあり方と、それを支援する日本語研究のあり方について、具体的な事例をもとに検討していく。今年度は主として、多言語使用を前提とした基盤的文法教育について検討する。	人文社会科学学位P言語学SP「国語教育学B」と共通 オンライン(オンデマンド型)、対面
OATAD22	古典日本語論Ia	1	1.0	1・2	春AB	火4	大倉 浩	高校で学んだ古典文法を、実例を確認し再検討することで、暗記ではない過去の日本語の実態に迫る。	場所は人社A207 対面
OATAD23	古典日本語論Ib	1	1.0	1・2	秋AB	火4	大倉 浩	原本コピーを講読しながら、文献資料の扱い方、語学的な問題のとらえ方、狂言という芸能に関する知識など、日本語史研究の基本的な事項にふれてゆく。	場所は人社A207 対面
OATAD24	古典日本語論IIa	1	1.0	1・2	春AB	応談	大倉 浩	狂言諸台本の日本語史料としての位置づけを本質的に考える。その手がかりとして江戸期の版本狂言記を他台本と比較して読む。	対面

OATAD2 5	古典日本語論IIb	2	1.0	1・2	秋AB	木3	橋本 修	文法に重点をおいた、日本語史の基本的概念、基本的知識の習得、定着を行ったのち、応用的な議論を行う。具体的には、国語教育と情報教育(ガイダンス)、規範的な日本語と実際の日本語、コーパスと日本語の分析、各種日本語コーパスとその利用法について、国語教科書に記載された文法事項の記述の検証(分担報告を含む)、国語教科書に記載された表記事項の記述の検証(分担報告を含む)、教科書の使用語彙に関する分析(分担報告を含む)、日本語教科書の記述の検証(分担報告を含む)、国語辞書の記述内容の検証(分担報告を含む)について討議する。	オンライン(同時双方向型)
OATAD2 6	現代日本語論Ia	1	1.0	1・2	春AB	火5	田川 拓海	日本語研究における活用および関連諸現象の位置付け・分析方法について、これまでの研究における取り扱いを整理することによって主要な論点と立場を洗い出す。また、自ら形態現象を分析する際のデータの収集・分析方法についても、実際の作業を通して検討する。具体的には、形態論と文法・音韻論、日本語の活用研究史、活用(1): 活用と述部複合体、活用(2): 語の範囲と形態論的カテゴリー、活用(3): 付加と対立、活用(4): 連用形の分布、活用(5): 未然形の位置づけ、同形性と補充、日本語の諸方言の活用などについて討議する。	オンライン(オンデマンド型)
OATAD2 7	現代日本語論IIb	1	1.0	1・2	秋AB	火5	那須 昭夫	現代日本語の音声・音韻のしくみについて、自立拍の特性ならびに各行の音声・音韻の特徴を中心に学ぶ。音韻史に関する知識についても扱う。具体的には、現代日本語の拍体系、カ行・ガ行の音声・音韻、サ行・ザ行の音声・音韻、タ行・ダ行の音声・音韻、ハ行・バ行・パ行の音声・音韻、マ行・ナ行の音声・音韻、ヤ行・ワ行の音声・音韻、ラ行の音声・音韻、ア行(母音)の音声・音韻、などについて討議する。	オンライン(同時双方向型)
OATAD2 8	現代日本語論IIa	1	1.0	1・2	通年	応談	田川 拓海	日本語研究における語構成の位置付け・分析方法について、これまでの研究における取り扱いを整理する。また、自ら形態現象・語彙を分析する際のデータの収集・分析方法についても、コーパス等を用いた実際の作業を通して学ぶ。具体的には、形態論と文法・音韻論、日本語に特徴的な語構成、語構成(1): 複合動詞、語構成(2): 動詞由来複合語、語構成(3): 複合形容詞、語構成(4): 接辞と品詞、語構成(5): 語種と外来語研究、語構成(6): 外来語動名詞の分布と分類、コーパスを用いた形態論・語彙研究、などについて討議する。	オンライン(オンデマンド型)
OATAD2 9	現代日本語論IIb	1	1.0	1・2	秋AB	応談	那須 昭夫	現代日本語の韻律のしくみや特徴について理解を深め、音韻ならびに表記にかかわる国語教育上の諸課題について考察する力をつける。また国語教育の問題についても応用的に考える。具体的には、日本語の拍と音節、撥音の音声と音韻、促音の音声と音韻、長音の音声と音韻、特殊拍と表記、共通語アクセント、名詞アクセントの特徴、活用語アクセントの特徴、複合語アクセントの特徴、付属語アクセントの特徴、清濁の対立と音韻現象などについて討議する。	オンライン(同時双方向型)
OATAD3 0	日本文学研究Ia	1	1.0	1・2	春AB	木4	吉森 佳奈子	『源氏物語』注釈史が、諸本の問題に不可分にかかわることを具体的に見、異文発生がケアレスにではなく、必然として生じた問題についてあきらかにすることをこころみる。異文が思想的な問題を考察する糸口にもなり得ることについて解説する。具体的には『源氏物語』注釈史概説(古注)、『河海抄』、『源氏物語』注釈史概説(旧注)、『花鳥余情』、『源氏物語』注釈史概説(旧注)、連歌師、中世における『源氏物語』享受、能、『源氏物語』の諸本などについて討議する。	場所は中央図書館古 典籍室 対面

OATAD3 1	日本文学研究Ib	2	1.0	1・2	秋AB	木4		吉森 佳奈子	『源氏物語』注釈史のなかでも、近代以降、その意味、『源氏物語』理解のための必要性、が見えにくくなっている注釈書を中心にとりあげて、それらがどのような時空のなかで生きていたのか考え、わたしたしがうしなってしまったものの所在をあきらかにすることをこころみる。具体的には中世の『源氏物語』注釈、『河海抄』、中世の『源氏物語』注釈、『仙源抄』、『源氏物語』注釈史と字書、『節用集』、近世の『源氏物語』、契沖、賀茂真淵、注釈書の諸本についてなどについて討議する。	場所は中央図書館古 典籍室 対面
OATAD3 2	日本文学研究IIa	1	1.0	1・2	春AB	応談		吉森 佳奈子	虚構の物語作品である『源氏物語』が、注釈史のある時期に歴史記述によって注されてきた状況を具体的にみる。あわせて、『源氏物語』注釈書にのみ伝承される歴史記述のゆくえを見、官撰国史断絶後、歴史はどのように記されたかという問題についても考える。具体的には年代記類概説、官撰国史、類書と歴史記述、『二中歴』、『源氏物語』注釈書所引の歴史記述、『帝王編年記』、『源氏物語』注釈書所引の歴史記述、『神皇正統記』、などについて討議する。	対面
OATAD3 3	日本文学研究IIb	2	1.0	1・2	秋AB	応談		吉森 佳奈子	主として近代以降の『源氏物語』研究において、ジャンルが異なることから殆ど注目されることのなかった『三教指帰』注釈書類が『源氏物語』注釈史の伝承と深くかかわることについて具体的に考察する。『源氏物語』が歴史記述によって注された問題を解きあかすことをこころみる。具体的には『源氏物語』注釈史概説、古注、旧注、『源氏物語』注釈と私撰国史、『一代要記』、『源氏物語』注釈と私撰国史、『一代要記』と『大日本史』、『源氏物語』注釈と『帝王編年記』、などについて討議する。	対面
OATAD3 4	日本文学演習Ia	2	1.0	1・2	春AB	火3	8B406	馬場 美佳	日本近代文学のうち主に明治期の文学について学ぶ。対象とする作品について、担当者が語釈・注釈・先行研究の調査を行い、それに基づいて当該作品の文学的価値や諸問題について、全体で討論を行う。具体的には明治初期の文学について詳説、明治10年代の文学について一語釈・注釈、明治10年代の文学について一、明治20年代の文学について一語釈・注釈、明治20年代の文学について、明治30年代の文学について一語釈・注釈、明治30年代の文学について、明治40年代の文学について一語釈・注釈、明治40年代の文学についてなどについて討議する。	
OATAD3 5	日本文学演習Ib	2	1.0	1・2	秋AB	火3	8B406	馬場 美佳	日本近代文学のうち主に大正期の文学について学ぶ。対象とする作品について、担当者が語釈・注釈・先行研究の調査を行い、それに基づいて当該作品の文学的価値や諸問題について、全体で討論を行う。具体的には大正前期の文学について一語釈・注釈、大正前期の文学について一討論、大正中期の文学について一語釈・注釈、大正中期の文学について一討論、大正後期の文学について一語釈・注釈、大正後期の文学について一討論、大正期の韻文について一語釈・注釈、大正期の韻文についてなどについて討議する。	対面

OATAD3 6	日本文学演習IIa	2	1.0	1・2	春AB	応談	8B406	馬場 美佳	日本現代文学のうち主に昭和期の文学について学ぶ。対象とする作品について、担当者が語釈・注釈・先行研究の調査を行い、それに基づいて当該作品の文学的価値や諸問題について、全体で討論を行う。具体的には日本近現代文学概説—昭和編、昭和文学詳説、昭和戦前期の文学について—語釈・注釈、昭和戦前期の文学について—討論、昭和戦中期の文学について—語釈・注釈、昭和戦中期の文学について—討論、昭和戦後前期の文学について—語釈・注釈、昭和戦後前期の文学について—討論、昭和戦後後期の文学について—語釈・注釈などについて討議する。	オンライン(同時双方 向型)
OATAD3 7	日本文学演習IIb	2	1.0	1・2	秋AB	応談	8B406	馬場 美佳	日本現代文学のうち主に平成期の文学について学ぶ。対象とする作品について、担当者が語釈・注釈・先行研究の調査を行い、それに基づいて当該作品の文学的価値や諸問題について、全体で討論を行う。具体的には日本現代文学概説—平成編、平成文学詳説、平成前期の文学について—語釈・注釈、平成前期の文学について—討論、平成中期の文学について—語釈・注釈、平成中期の文学について—討論、平成後期の文学について—語釈・注釈、平成後期の文学について—討論などについて討議する。	オンライン(同時双方 向型)
OATAD3 8	日本文学表現論a	1	1.0	1・2	春AB	月6	8B406	谷口 孝介	日本文学の表現が中国文学との交渉を経て形成される過程について考える。具体的には日本文学の特性、『風土記』地名起原説明、『古事記』の表記と表現、『万葉集』の表記、『万葉集』の漢文表現、『万葉集』伝承歌の表現、嵯峨朝文学の表現空間、漢詩と和歌との交渉、「古今集」表現の形成などについて討議する。これらを通して文学表現の独自性と中国文学との接触による形成過程を理解し、日本文学の表現が中国文学との交渉を経て形成される過程について考える。	オンライン(同時双方 向型)
OATAD3 9	日本文学表現論b	2	1.0	1・2	秋AB	月6	8B406	谷口 孝介	日本文学の表現規範を形成した平安時代の文学表現について考える。具体的には菅原道真の漢詩における比喩表現、『古今集』における漢と和、『伊勢物語』におけるかな文形成、『竹取物語』の試行錯誤、『土左日記』の冒険、『和漢朗詠集』の季節感、王朝漢詩の成熟と日本化、『源氏物語』と漢文表現、『源氏物語』の文脈などについて討議する。これらの古典的表現の形成過程を観察することで、文学表現の本質について理解し、日本文学の表現規範を形成した平安時代の文学表現について考える。	オンライン(同時双方 向型)
OATAD4 0	中国文学研究a	2	1.0	1・2	春AB	火5		稀代 麻也子	『芸文類聚』所収の詩文を読む。	オンライン(同時双方 向型)
OATAD4 1	中国文学研究b	2	1.0	1・2	秋AB	火5		稀代 麻也子	『芸文類聚』所収の南北朝の作品を読む。	オンライン(同時双方 向型)
OATAD4 2	中国文学演習a	2	1.0	1・2	通年	応談		稀代 麻也子	『芸文類聚』所収の作品を読む。	オンライン(同時双方 向型)
OATAD4 3	中国文学演習b	2	1.0	1・2	通年	応談		稀代 麻也子	『芸文類聚』所収の詩を読む。	オンライン(同時双方 向型)

専門基礎科目(学校教育領域・社会科教育分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OATAEO1	社会科教育学特講	4	2.0	1・2	春AB秋AB	火5		井田 仁康, 金 玟辰	社会科の基本的な概念を学ぶとともに、社会科のあるべき姿を理論的に、また各地の教育現場の実地調査を踏まえて探究する。春学期は、社会科の概念を、学校と地域とのかかわりから、地域に関わる論文を通して探究していく。これにより、文献を通じて、社会科の視点より地域を考察する研究方法を習得する。秋学期は、春学期で得た知見を活かし、調査地域を選定して地域調査を行う。地域とかがわって社会科の学習がいかに行われているかを調査し、その調査結果を報告書もしくは論文としてまとめるまでを授業として行う。	
OATAEO2	社会科教育学内容論(地理歴史)	1	3.0	1・2	春AB	金1,2		井田 仁康, 唐木清志, 國分 麻里, 金 玟辰	中学校社会科及び高等学校公民科の理論と方法について、特に、授業づくりと授業評価に必要な資質・能力を身に付けることができる。授業づくりにあたっては、現代の諸課題の教材化と、社会的な見方・考え方の育成に焦点を絞って、授業づくりを実施する。さらに、授業評価では、授業を通して身に付けられる履修者を2~4人から成る4つのグループに分け、各グループで教材研究と単元開発を行う。その上で、全員の前で、模擬授業を行い、授業評価を行う。	
OATAEO3	社会科教育学内容論(公民)	1	3.0	1・2	春AB	金1,2		井田 仁康, 唐木清志, 國分 麻里	中学校社会科及び高等学校公民科の理論と方法について、特に、授業づくりと授業評価に必要な資質・能力を身に付けることができる。授業づくりでは、現代の諸課題の教材化、社会的な見方・考え方の育成に焦点を当てる。また、授業評価では、ルーブリック評価やパフォーマンス評価といった近年注目される評価論を念頭に置く。履修者を2~4人から成る4つのグループに分け、各グループで教材研究と単元開発を行う。その上で、全員の前で、模擬授業を行い、授業評価を行う。	
OATAEO4	社会科教育学実践論(地理歴史)	2	3.0	1・2	秋AB	金1,2		井田 仁康, 唐木清志, 國分 麻里, 金 玟辰	中学校社会科及び高等学校地理歴史科の授業づくりについて、高度な教育実践力を身に付けることができる。地理では、特に地域調査に重点をおき、地域でのフィールドワークを通じた授業づくりを心掛ける。歴史では、史料批判に重点をおき、多面的・多角的に考えられる資料を考察し、解釈学習を行うことができるような授業づくりを行う。履修者を2~4人から成る4つのグループに分け、各グループで教材研究と単元開発を行う。その上で、実際に学校現場において実験授業を実施して、その結果を分析する。	
OATAEO5	社会科教育学実践論(公民)	2	3.0	1・2	秋AB	金1,2		井田 仁康, 唐木清志, 國分 麻里	中学校社会科及び高等学校公民科の授業づくりについて、高度な教育実践力を身に付けることができる。「社会科教育学内容論(公民)」で習得した授業づくりに関する理論を基に、作成された学習指導案を活用して実際に授業を実施することになる。なお、単に授業を実施するだけでなく、授業後の評価活動にも積極的に関与して、総合的に授業力を高めることに留意する。履修者を2~4人から成る4つのグループに分け、各グループで教材研究と単元開発を行う。その上で、実際に学校現場において実験授業を実施して、その結果を分析する。	

OATAE06	地理教育特講I	1	1.0	1・2	春AB	応談	井田 仁康, 金 球 辰	中等学校での地理教育についての講義や討論を通して地理教育の本質にせまり、それを理解したうえで地理授業の構想をたて、実践する。Iでは特に地理教育の本質を理解することに重点をおく。具体的には、地理教育課題を文献などから見だし、その課題についての理論的背景を考察していく。そのために、地理教育の論文および著書を検討し、批判することはむろんのこと、関連する教育学分野は専門分野の論文や著書についても必要に応じて検討を加える。	西暦偶数年度開講。
OATAE07	地理教育特講II	1	1.0	1・2	秋AB	応談	井田 仁康, 金 球 辰	中等学校での地理教育についての講義や討論を通して地理教育の本質にせまり、それを理解したうえで地理授業の構想をたて、実践する。IIではIでの成果を踏まえて、教育実践論文や実践を検討することにより、理論がどのように実践化されるのか、あるいはできるのかを考察する。これにより、地理教育の本質が、授業でどのように実証化できるのかを検証することができ、目標論と内容論、方法論それぞれの理論を統合した授業の構築が可能となる。	西暦偶数年度開講。
OATAE08	地理教育特講III	1	1.0	1・2	春AB秋 AB	応談	井田 仁康	これまで教育現場で地理として実践してきたことを学問的に位置付け、論文とすることを学ぶ。自分の実践と関連する地理教育の論文を分析することを通して、社会科教育学ないしは地理教育における、自分の実践を位置付けていく。それにより、自分が今までやっていた実践が、社会科教育学および地理教育の中でどのような意味をもつのかを客観的に評価することができる。こうしたことを通して、地理教育論文の意味や地理教育論文の意義を考え、実践研究の必要性についての自覚を促していく。	14条対応
OATAE09	地理教育演習I	2	1.0	1・2				中等学校での地理教育についての講義や討論を通して地理授業の構想をたて、実践する。Iでは特に地理授業の構想を立てることに重点をおく。具体的には、地理授業の本質、先行研究から見る地理授業の特性、地理授業の基になる理論の概要、地理授業の理論の構築、地理授業の構成といった、地理授業を構想する際に必要となる基礎的・基本的な内容及び方法論について演習を実施する。本講義で習得した内容及び方法論に基づき、地理教育演習IIでは、より具体的に授業実施を目標に置く。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。 対面
OATAE10	地理教育演習II	2	1.0	1・2				中等学校での地理教育についての講義や討論を通して地理授業の構想をたて、実践する。IIでは特に地理授業を実践することに重点をおく。講義ではまず、中学校地理的分野の授業づくり班と、高等学校地理歴史科地理の授業づくり班の二つにグループ分けする。その上で、それぞれのグループで教材研究を行い、学習指導案を作成する。さらに、それに基づいて模擬授業を実施して、学習指導案の再検討を行う。最終的に、学校教育現場で実験授業を行う。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。 対面
OATAE11	地理教育演習III	2	1.0	1・2	春AB秋 AB	応談	井田 仁康	地理教育実践に関する単元構想を行い、実際に模擬授業或いは実験授業を実施して、授業を振り返って、授業評価を行う。本講義で大切にしたいことは、授業評価である。学習成果をより厳密に評価していくことが、実践報告と実践研究との分かれ目だと考えているため、「地理教育演習II」と比して、本講義では授業評価に重点を置く。実践終了後に、履修者は授業の様子を録音したテープから、発話を文字起こしして、授業中に提出された振り返りシート等とともに、評価の材料とする。パフォーマンス評価やルーブリック評価といった最新の評価技術もここで学ぶことになる。	14条対応

OATAE1 2	歴史教育特講I	1	1.0	1・2	春AB	木5	國分 麻里	中等学校での歴史教育に関する基礎を学ぶ。歴史的には、明治時代から現在までの歴史教育史について学ぶ。その上で、1947年からの社会科歴史教育や歴史教育論についての考察を加えていく。具体的には、日本や世界の歴史教育に関する目標や内容、方法について、理論的および実践的に講義や演習などを通じて学んでいく。加えて、歴史を学ぶ意味やその必要性についても、世界の歴史学者や歴史教育者の考えを知りながら、自分なりの考えが持てるようにする。	西暦偶数年度開講。
OATAE1 3	歴史教育特講II	1	1.0	1・2	秋AB	木5	國分 麻里	歴史教育について、多方面より発展的に一層学んでいくものである。具体的には、日本や世界の歴史教育に関する資料や論文を比較しながら読み、それに関する資料も含めて、総合的に考察していく。学生による報告と討論を通じて、歴史教育に関するより深い内容や方法を学ぶものである。授業の目標は次の2点である。(1)日本や世界の歴史教育に関する比較の視点で読むことができる。(2)多面的・多角的に文献を考察しながら報告し討論を通じて、自分の意見を相対化しながら、歴史教育についての理解を深めるのである。	西暦偶数年度開講。
OATAE1 4	歴史教育特講III	1	1.0	1・2	春AB秋 AB	応談	國分 麻里	日本と世界の歴史教育実践の動向を探り、いくつかの授業実践記録を丁寧に読んでいく。具体的には、日本の1945年以後の「初期社会科」と言われる時代の実践と、アメリカやイギリス、ドイツの歴史授業実践を検討していく。そうした実践に、今まで自分自身が実践してきた授業を重ね合わせていく。こうした作業をすることで、これまでの自分の歴史授業実践の位置づけを知ることができるとともに、新しい考え方や内容、方法を吸収することができる。こうした作業を繰り返し行ない、歴史教育実践の今後について深く探究する。	14条対応
OATAE1 5	歴史教育演習I	2	1.0	1・2				歴史教育演習Iでは、比較研究を行う国や地域の歴史、教育に関する論文を分析・検討する。具体的には、比較研究を行う国や地域として、アメリカやイギリス、ドイツを想定している。こうした国々の歴史や教育に関する論文を扱うことで、日本の歴史教育との比較研究をより深く行うことができる。これらの国や地域の論文を読み、分析・検討という作業を繰り返すことで、国家や地域単位の歴史や歴史教育を比較し、大局から検討する視点を育てる。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAE1 6	歴史教育演習II	2	1.0	1・2				歴史教育演習IIでは、教員と受講者全員を対象地域および国を実際に訪問し、歴史教育に関する調査を行う。日本の歴史学や歴史教育の現代的課題を明らかにし、今後の展望を考える。訪問する時期や対象地域、国をどこにするかは受講生と相談しながら決定するが、歴史教育演習Iでの論文分析・検討を踏まえる。その際、特に対象国の歴史学と歴史教育の事前調査を綿密に行ない、日本の歴史教育との比較・分析を通じて、歴史教育の今後の展望を考えていく。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAE1 7	歴史教育演習III	2	1.0	1・2	春AB秋 AB	応談	國分 麻里	日本史や世界史、歴史総合に関する歴史教育実践の単元構想を行い、検討を行なう。その上で、実際に模擬授業あるいは実験授業を実施して、その授業の目標や内容、方法の妥当性を検討する。その上で、授業者は授業を振り返り、自分や受講者による授業評価を行う。このような過程を経ることで、これからの歴史教育実践の在り方を検討することができる。また、授業づくりに必要とされる資質・能力を高めることができる。特に新設された歴史総合は近現代の日本史と世界史を扱うものであるから、重点的に取り上げる。	14条対応

OATAE18	歴史教育学特講	3	2.0	1・2	通年	集中	國分 麻里	韓国を中心とした東アジアの歴史教育と歴史学について講義および演習を通じて総合的に考察する。日本と朝鮮半島は隣国であるがゆえに、先史以来、様々なレベルで交流が行われてきた。近代や現代を経て、隣国理解、国際理解教育を推進するために、韓国巡検を実施し、東アジアの歴史に関する現状および教育を理解する。具体的には、韓国を中心とした東アジアの歴史教育と歴史学について、研究動向・教科書問題・歴史認識などの視点から考察する。	
OATAE19	公民教育特講I	1	1.0	1・2	春AB	火3	唐木 清志	公民教育に関する論文を収集して、1時間に一つの論文を読み進める。履修者は事前に論文を読んでくることを前提とし、授業では総合的なディスカッションを行い、公民教育研究(特に中学校社会科公民的分野)に関する知見を深めてもらうことにする。論文の選定にあたっては特に、中学校社会科公民的分野で焦点となっている、平和学習、人権学習、主権者教育、グローバル経済学習、開発教育といった内容について中心的に取り扱う。	西暦偶数年度開講。
OATAE20	公民教育特講II	1	1.0	1・2	秋AB	火3	唐木 清志	公民教育に関する論文を収集して、1時間に一つの論文を読み進める。履修者は事前に論文を読んでくることを前提とし、授業では総合的なディスカッションを行い、公民教育研究(特に高等学校公民科)に関する知見を深めてもらうことにする。論文の選定にあたっては、高等学校公民科で焦点となっている、新科目「公共」、生命倫理教育、キャリア教育、アントレプレナーシップ教育といった内容について中心的に取り扱うことにする。	西暦偶数年度開講。
OATAE21	公民教育特講III	1	1.0	1・2	春AB秋AB	応談	唐木 清志	公民教育実践の動向を探り、いくつかの授業実践記録を読みながら、そこに自身がこれまでに実践してきた授業を重ね合わせて、公民教育実践の今後について深く探究する。授業実践記録として考えられるのは、初期社会科(昭和20年代の社会科)における実践記録、政治的中立性と関連した授業実践、高等学校社会科「現代社会」と関連した授業実践、そして、近年の社会的な見方・考え方と関連した授業実践など、社会科教育史における特徴的な授業記録を取り上げ、今日の公民教育授業を相対化する目を育てる。	14条対応
OATAE22	公民教育演習I	2	1.0	1・2				公民教育実践に関する先行実践を分析しながら、1時間に一つの教材を開発する。履修者はグループで一つのテーマを与えられ、関連する単元開発(特に中学校社会科公民的分野)を行なってもらうことになる。単元開発にあたっては、現代の諸課題、社会的な見方・考え方、授業評価の3つを柱とする。特に、現代の諸課題を教材化するにあたっては、グループで入念に題材を選び、それについて深く追究する。その際、課題の根底には価値の葛藤があることを念頭に置き、そこから社会的な見方・考え方が導き出されるように工夫をする。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAE23	公民教育演習II	2	1.0	1・2				公民教育実践に関する先行実践を分析しながら、1時間に一つの教材を開発する。履修者はグループで一つのテーマを与えられ、関連する単元開発(特に高等学校公民科)を行なってもらうことになる。単元開発にあたっては、現代の諸課題、社会的な見方・考え方、授業評価の3つを柱とする。特に、現代の諸課題を教材化するにあたっては、グループで入念に題材を選び、それについて深く追究する。その際、課題の根底には価値の葛藤があることを念頭に置き、そこから社会的な見方・考え方が導き出されるように工夫をする。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。

OATAE2 4	公民教育演習III	2	1.0	1・2	春AB秋 AB	応談		唐木 清志	公民教育実践に関する単元構想を行い、実際に模擬授業或いは実験授業を実施して、授業を振り返って、授業評価を行う。単元開発にあたっては、現代の諸課題、社会的な見方・考え方、授業評価の3つを柱とする。特に、現代の諸課題を教材化するにあたっては、グループで入念に題材を選び、それについて深く追究する。その際、課題の根底には価値の葛藤があることを念頭に置き、そこから社会的な見方・考え方が導き出されるように工夫をする。履修者はそのほとんどが現職教員であるため、自身の授業を振り返りながら単元開発を行う。	14条対応
OATAE2 5	人文地理学特講I	1	1.0	1・2	春AB	火1		森本 健弘	農業地理学についての研究成果を講義するとともに、農業地理の研究の動向や課題について講義する。さらに、農業地理だけでなく、他の地理学でも援用されるGISについて講義するとともに、地理学における方法論としてGISについて考察を加える。こうして、GISを援用した農業地理学の最新の研究動向を概観する。農業地理は地理学の中でも伝統のある研究分野であることから、これにより地理学のももとの研究意義を考えることができる。	
OATAE2 6	人文地理学特講II	1	1.0	1・2	春AB	火2	8B306	井田 仁康	交通地理学および教育地理学について講義する。交通地理学は、大きくは経済地理に含まれるが、研究内容によっては文化地理に含まれることもあり、極めて多様性のある研究分野である。交通地理学の研究系譜をおうことで地理学全体の研究動向もみえてくる。教育地理学については、教育現象を地理学的に見ることで、教育活動を通して地理学は何を追究する学問かが見えてくる。地理学と教育との関連性を追究し、地理が実用性のある学問であることを認識することができる。	対面
OATAE2 7	人文地理学演習I	2	1.0	1・2	秋AB	火1		森本 健弘	農業・食料の地理学を中心とする講義と討論を行う。具体的には、農業・食料を、自然条件としての気候、土壌及び地形の観点、経済条件としての需要と消費の観点、社会・政治としての農業の近代化と国家、市場と交通、人口・労働力・土地所有の観点からそれぞれ探究する。その上で、農業・食料における革新、農業・食料の文化的枠組み、農業・食料と環境について、深く協議することを主たる内容とする。このような追究を通して、現代の日本及び世界情勢の理解における地理学の方法の重要性について理解を深めることになる。	
OATAE2 8	人文地理学演習II	2	1.0	1・2	秋AB 春季休業 中	金3 集中	8B407	井田 仁康、金 玟 辰	交通地理学や教育学地理学の論文を読み、研究の仕方について学ぶ。また、自分で論文発表をし、理論的な論文に基づき、自ら教材を構築する力を養わせる。また、具体的な対象地域を選び、地域性を背景とした交通や教育についての考察を行う。これにより、地理学の研究が地域性を背景として考察していることを見だし、地理学研究の意義や必要性について議論し、人文地理学についての洞察を深めさせるようにする。それとともに地誌学の重要性も認識することができる。	3/5(土)、3/6 (日) いずれも2時間 5時間(対面) 8 B204 で実施
OATAE2 9	自然地理学特講I	1	1.0	1・2	春AB	月2	8B407	山中 勤	地名の謎解きを行う際に自然地理的な知識が役に立つことを示したうえで、気候・地形・水文・土壌・植生の地理学的な見方を教授する。しかるのち、多角的な視点で自然地理学的素材に関する課題追究を行う。最後に、新たな謎解きを模索することで自然地理学的なパースペクティブを総括する。本授業では、自然地理学を構成する諸分野の基礎をテーマとし、自然環境のしくみに関する正しい理解を培うことを到達目標としているが、本授業のように例えば地名に注目することは、地理教育の教材研究としても役立つ視点であると考えている。	西暦偶数年度開講。

OATAE30	自然地理学特講II	1	1.0	1・2	秋AB	火2	山中 勤	自然地理学の意義を問うたうえで、社会的問題として重要性の高い5つのトピックスについて概説する。さらに、3つのテーマに沿って課題追究を行い、思考を深める。総括として、環境との共生に向けた議論を通じて理解の統合化を図る。本授業では、自然地理学に関連する話題性の高いトピックスをテーマとし、机上の知識を今日的な課題に応用する力を養うとともに、分野横断的な理解を通じて人間社会の望ましい在り方を考察できるようになることを到達目標としているが、先の5つのトピックスや3つのテーマは、地理教育の教材研究としても役立つ視点であると考えている。	西暦偶数年度開講。
OATAE31	自然地理学演習I	2	1.0	1・2				自然景観を読み取る能力について問題提起したうえで、つくば市を対象とした基礎的な読図・図上作業について演習を行う。また、一般的な調査手順や報告書の作成に関して概説し、実際に身近な地域の野外調査を体験する。野外調査にあたっては、等高線抜描図・水系網、土地利用図・新旧地形図比、地形発達史・ハザードマップ、風景画シミュレーションの観点を大切にして準備を進め、実際の調査では、簡易測量、景観観察、水質調査を中心に進める。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAE32	自然地理学演習II	2	1.0	1・2				授業におけるフィールドワークの重要性と課題について問題提起したうえで、養老山地を対象とした基礎的な読図・図上作業について演習を行う。また、ダイナミックな地理的事象が見られる典型的な地域において、野外調査を体験する。野外調査にあたっては、地形区分、地形断面図・立体図、水系網・接峰面図、風景画シミュレーションを大切にして準備を進め、実際の調査では、火山地域の景観観察、湿原の観察、湿原の観察、湖水の化学的調査、湖底湧水調を中心に進める。	OATAE31履修者に限る 西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAE33	地理学野外実験	3	3.0	1・2	秋BC	集中	井田 仁康, 森本 健弘, 山中 勤, 金 玟辰	調査対象地域を選定して、自然地理および人文地理の野外調査を実施する。これにより対象地域の理解を深めるとともに地域の課題を見だし、改善策を考察できるようにする。さらに、地域調査の方法を学ぶ。具体的な調査は、グループごとに調査計画を立案する。次に各グループのテーマに沿って予備調査・本調査・補足調査等を行い、調査結果についてグループ内外でディスカッションを行う。得られた成果は、最終的に冊子体の報告書として刊行する。	OATAE 31履修者に限る
OATAE34	日本史特講I	1	1.0	1・2	春AB	金4	伊藤 純郎	東郷和彦・波多野澄雄編『歴史問題ハンドブック』（岩波書店、2015年）をテキストに、現在も続く様々の「歴史問題」について、フィールドワークもと取り入れながら講じる。具体的には、東京裁判、植民地支配、靖国神社公式参拝、歴史教科書問題、領土問題、戦争賠償、原爆投下問題について取り上げる。その上で、茨城県内の戦争遺跡、東京大空襲・戦災資料センターを調査する。これらの授業を通して、最終的には、歴史教育教材を開発する能力を高めることを目的とする。	西暦偶数年度開講。
OATAE35	日本史特講II	1	1.0	1・2	秋AB	金4	伊藤 純郎	東郷和彦・波多野澄雄編『歴史問題ハンドブック』（岩波書店、2015年）をテキストに、現在も続く様々の「歴史問題」について、フィールドワークもと取り入れながら講じる。具体的には、日米終戦、昭和天皇戦争責任、強制連行・強制労働、BC級戦犯裁判、シベリア抑留問題、日朝歴史問題、復員・引き揚げ、戦没者追悼・慰霊について取り上げる。その上で、国立歴史民俗博物館を調査する。これらの授業を通して、最終的には、歴史教育教材を開発する能力を高めることを目的とする。	西暦偶数年度開講。

OATAE3 6	日本史演習I	2	1.0	1・2				東郷和彦・波多野澄雄編『歴史問題ハンドブック』（岩波書店、2015年）をテキストに、現在も続く様々の「歴史問題」について、各自の問題意識にもとづき報告する。具体的には、東京裁判、植民地支配、靖国神社公式参拝、歴史教科書問題、領土問題、戦争賠償、原爆投下問題、「大東亜戦争」史観について取り上げる。その上で、最終的には、歴史問題の解決に向けての協議を行い、いまだに解決しない様々の「歴史問題」について、戦争責任と戦後責任の視点から問い直す作業を通じて、解決への道筋を考察する。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAE3 7	日本史演習II	2	1.0	1・2				東郷和彦・波多野澄雄編『歴史問題ハンドブック』（岩波書店、2015年）をテキストに、現在も続く様々の「歴史問題」について、各自の問題意識にもとづき報告する。具体的には、日米終戦、昭和天皇の戦争責任、強制連行・強制労働、BC級戦犯裁判、シベリア抑留問題、日朝歴史問題、復員・引き揚げ、戦没者追悼・慰霊について取り上げる。その上で、最終的には、アジアの歴史和解に関する協議を行い、いまだに解決しない様々の「歴史問題」について、戦争責任と戦後責任の視点から問い直す作業を通じて、解決への道筋を考察する。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAE3 8	民俗学実習	3	3.0	1・2	秋AB	集中	伊藤 純郎	インタビュー調査並びに実地調査を通して、歴史教育における教材研究の在り方を検討するとともに、歴史教育についての理解を深める。具体的には、日本社会の民俗を改めて捉えなおすことを目的とし、長野県の集落を巡り、インタビュー調査並びに実地調査を行い、歴史教育に関する知識と技能を身に付けることができるように授業を計画する。実習の事前学習として、訪問予定の遺跡、博物館、考古学的な成果についてそれぞれまとめて発表してから現地の巡検の基礎とする。また、実際の巡検では、グループ毎に調査するとともに、グループディスカッションを通して、各グループの調査内容を共有する。	
OATAE3 9	考古学特講I	1	1.0	1・2	春AB	木4	谷口 陽子	「ヒト・モノ」を視点として歴史教育の在り方を探る。それぞれのナショナルアイデンティティを形成する歴史教育はどのようなものであったのか、主に先史から古代までを人類学的な視点から扱い、現代までつながる人類の歴史や多様性について考察する。また、モノ教育の視点から、物質文化・非物質文化の保存活用と歴史教育の役割について事例をもとに議論を深める。具体的には、中学・高校歴史教科書に見られる先史時代・古代の扱い、考古学の歴史教育における役割、人類学視点からみる先史時代からの東アジア、北東アジアにおける交易システムと中世に触れる。	西暦偶数年度開講。
OATAE4 0	考古学特講II	1	1.0	1・2	秋AB	木4	谷口 陽子	「ヒト・モノ」を視点として歴史教育の在り方を探る。それぞれのナショナルアイデンティティを形成する歴史教育はどのようなものであったのか、主に先史から古代までを人類学的な視点から扱い、現代までつながる人類の歴史や多様性について考察する。また、モノ教育の視点から、物質文化・非物質文化の保存活用と歴史教育の役割について事例をもとに議論を深める。具体的には、人類学・考古学的な成果による日本人、日本列島における政治中心と縁辺部の歴史観、民族誌にみる北方文化と日本、物質文化と歴史教育、時代のイメージと理解に触れる。	西暦偶数年度開講。

OATAE4 1	考古学演習I	2	1.0	1・2				モノ資料に着目し、先史時代の日本列島および周辺地域を俯瞰的に概観し、歴史教育の中で人類学的視点がどのように利用可能かを考える。具体的には、モノ教育の視点から、物質文化・非物質文化の保存活用と歴史教育の役割について事例をもとに議論を深めることになる。歴史を教える立場として、まず、自分がどこから来たのか、何者であるのかを、歴史教育の視点から位置づけることを目標とする。それは、人類の系譜、先史時代の物質文化、気候変動と新石器化など俯瞰的な視点から、先史～古代に関する出来事を理解することにつながる。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAE4 2	考古学演習II	2	1.0	1・2				人類が発祥してから、拡散、分化や接触、そしてグローバルな統合へと向かうプロセスを俯瞰する視点から書かれた参考図書を利用し、人類学的な視点から、われわれはどこから来てどこに向かっているのかを考察する。具体的には、モノ教育の視点から、物質文化・非物質文化の保存活用と歴史教育の役割について事例をもとに議論を深めることになる。歴史を教える立場として、まず、自分がどこから来たのか、何者であるのかを、歴史教育の視点から位置づけることを目標とする。それは、人類の系譜、先史時代の物質文化、気候変動と新石器化など俯瞰的な視点から、先史～古代に関する出来事を理解することにつながる。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAE4 3	考古学実習	3	3.0	1・2	夏季休業 中	集中	谷口 陽子	考古遺跡や博物館を利用して物質資料を用いた歴史教育について理解を深める。本授業では、北東アジア、東アジアの古代史観を改めて捉えなおすことを目的とし、東北(青森、岩手周辺)あるいは中部高地(山梨、長野)の縄文時代を中心とする遺跡を巡り、遺跡の景観、立地、周辺環境を体感するとともに、遠隔地との交流を示す出土資料を見学する。モノ資料による歴史教育の体感と、歴史教科書に載せられていないような、広域の文化交流や物質移動の側面についても理解を深める。	9月末に青森県での実習を予定している(ただし状況によっては、変更の可能性はある)
OATAE4 4	社会学特講I	1	1.0	1・2	春AB	集中	森 直人	社会学理論と実証的研究の検討をつうじて、社会学の主たる理論・概念および視角・方法を習得し、現代社会の諸問題について理解する。具体的には、以下のテーマを取り扱う。つまり、社会学の誕生・発展・転回、リスク社会、情報・メディア社会、個人化と心理化、グローバル化、再帰的近代化、ポストモダニズム、親密圏と公共圏である。導入教材として、日本社会学会理論応用事典刊行委員会『社会学理論応用事典』(丸善出版、2017年)と日本社会学会社会学事典刊行委員会『社会学事典』(丸善出版、2010年)を活用するが、授業ではそれぞれ関連する基本文献を提示する。	西暦偶数年度開講。
OATAE4 5	社会学特講II	1	1.0	1・2	秋AB	集中	森 直人	社会学理論と実証的研究の検討をつうじて、社会学の主たる理論・概念および視角・方法を習得し、現代社会の諸問題について理解する。具体的には、以下のテーマを取り扱う。つまり、社会学の見方、福祉レジーム、社会的包摂と社会的排除、持続可能社会、社会関係資本、監視社会と生権力、サイバーカルチャーである。導入教材として、日本社会学会理論応用事典刊行委員会『社会学理論応用事典』(丸善出版、2017年)と日本社会学会社会学事典刊行委員会『社会学事典』(丸善出版、2010年)を活用するが、授業ではそれぞれ関連する基本文献を提示する。	西暦偶数年度開講。

OATAE4 6	社会学演習I	2	1.0	1・2				社会学のすぐれた実証研究の文献会読をつうじて、社会学の視角と主たる概念を用いて、種々の社会現象を読み解けるようになる。取り上げる社会現象は、行為・相互行為・意味・自己・主体・アイデンティティ、他者・関係・コミュニケーション、生命・身体、ジェンダー・セクシュアリティ、家族・ライフコース・教育、差別・逸脱・犯罪、知・言語、歴史・記憶、社会運動・社会構想である。授業では、社会学の議論が中心となるが、いずれの視点も公民教育の教材化にとって重要な視点であるので、本授業において履修者は授業づくりの能力を高めることができる。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAE4 7	社会学演習II	2	1.0	1・2				社会学のすぐれた実証研究の文献会読をつうじて、社会学の視角と主たる概念を用いて、種々の社会現象を読み解けるようになる。取り上げる社会現象は、近代・社会変動・社会システム、宗教・権力・支配、法・政治、集団・組織、労働・産業・市場、階級・階層、表象・文化・消費、医療・福祉、科学・技術・環境、災害である。授業では、社会学の議論が中心となるが、いずれの視点も公民教育の教材化にとって重要な視点であるので、本授業において履修者は授業づくりの能力を高めることができる。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAE4 8	政治学特講I	1	1.0	1・2				2・3名の班ごとにテーマを設定し、主として高等学校政治・経済での選挙に関する授業を開発することを念頭に、政治学の学術書・学術論文を含む文献・資料等にあたり、教材研究を行う。なお、本授業では、選挙に関して高等学校政治・経済で取り上げるべきテーマを設定し、政治学における議論をフォローしながら探求するとともに、選挙に関わる諸現象を政治学的な視点を用いて理解することができるようになることを目的としている。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAE4 9	政治学特講II	1	1.0	1・2				政治学特講Iで行った教材研究をもとに、主として高等学校政治・経済での選挙に関する授業を開発し、模擬授業を行う。なお、本授業では、政治学の学術的成果を踏まえて、選挙に関する授業を開発することができるように、開発した授業を実践し、その意義と限界、発展可能性について考察することができるようになることを目的としている。そのため、模擬授業に際しては、有権者の政治意識、選挙制度、選挙運動、投票行動が主たる教育内容として取り上げる。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAE5 0	政治学演習I	2	1.0	1・2	春AB	金6	鈴木 創	2・3名の班ごとにテーマを設定し、主として高等学校政治・経済での政策決定の制度や過程に関する授業を開発することを念頭に、政治学の学術書・学術論文を含む文献・資料等にあたり、教材研究を行う。なお、本授業では、政策決定の制度や過程に関して高等学校政治・経済で取り上げるべきテーマを設定し、政治学における議論をフォローしながら探求することができるように、策決定に関わる諸現象を政治学的な視点を用いて理解することができるようになることを目的としている。	西暦偶数年度開講。
OATAE5 1	政治学演習II	2	1.0	1・2	秋AB	金6	鈴木 創	2・3名の班ごとにテーマを設定し、主として高等学校政治・経済での政策決定の制度や過程に関する授業を開発することを念頭に、政治学の学術書・学術論文を含む文献・資料等にあたり、教材研究を行う。なお、本授業では、政治学の学術的成果を踏まえて、政策決定の制度や過程に関する授業を開発することができるように、開発した授業を実践し、その意義と限界、発展可能性について考察することができるようになることを目的としている。	西暦偶数年度開講。

OATAE5 2	経済学特講I	1	1.0	1・2	春AB	木3	篠塚 友一	ミクロ経済学の基礎を講義する。また、随時演習問題を出題する。本授業で取り上げる内容は、具体的には、ミクロ経済学の目的と概要、消費者理論の枠組み、需要関数の性質、消費者理論の応用、消費者余剰、需要の弾力性、企業理論の枠組み、生産者余剰、市場均衡、厚生経済学の基本定理といった事柄である。このうち特に前半の5つの項目(ミクロ経済学かの目的と概要～消費者余剰)については丁寧に取り上げ、ミクロ経済学の基礎について学んでもらう。入谷純・篠塚友一(2012)『ミクロ経済学講義』日本経済新聞社と、ポール・クルーグマン、ロビン・ウェルス(2017)『ミクロ経済学』東洋経済新報をテキストとして採用する。	西暦偶数年度開講。
OATAE5 3	経済学特講II	1	1.0	1・2	秋AB	木3	篠塚 友一	ミクロ経済学の応用とマクロ経済学の基礎を講義する。また、随時演習問題を出題する。本授業で取り上げる内容は、具体的には、ミクロ経済学の労働市場への応用、労働供給の理論の福祉政策への応用、政府の政策と労働市場の均衡、人的資本、マクロ経済学(概観)、国内総生産(GDP)、経済成長に関する事実、経済成長理論、金融システム、財政赤字と経済成長といった事柄である。大森義明『労働経済学』日本評論社、ポール・クルーグマン、ロビン・ウェルス(2017)『ミクロ経済学』東洋経済新報社、ポール・クルーグマン、ロビン・ウェルス(2009)『マクロ経済学』東洋経済新報社をテキストとして採用する。	西暦偶数年度開講。
OATAE5 4	経済学演習I	2	1.0	1・2				ミクロ経済学の基礎を講義する。また、随時演習問題を出題する。本授業で取り上げる内容は、具体的には、ミクロ経済学の目的と概要、消費者理論の枠組み、需要関数の性質、消費者理論の応用、消費者余剰、需要の弾力性、企業理論の枠組み、生産者余剰、市場均衡、厚生経済学の基本定理といった事柄である。このうち特に後半の5つの項目(需要の弾力性～厚生経済学の基本原理)については丁寧に取り上げ、ミクロ経済学の基礎について学んでもらう。入谷純・篠塚友一(2012)『ミクロ経済学講義』日本経済新聞社と、ポール・クルーグマン、ロビン・ウェルス(2017)『ミクロ経済学』東洋経済新報をテキストとして採用する。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAE5 5	経済学演習II	2	1.0	1・2				ミクロ経済学の応用とマクロ経済学の基礎を講義する。また、随時演習問題を出題する。本授業で取り上げる内容は、具体的には、ミクロ経済学の労働市場への応用、労働供給の理論の福祉政策への応用、政府の政策と労働市場の均衡、人的資本、マクロ経済学(概観)、国内総生産(GDP)、経済成長に関する事実、経済成長理論、金融システム、財政赤字と経済成長といった事柄である。大森義明『労働経済学』日本評論社、ポール・クルーグマン、ロビン・ウェルス(2017)『ミクロ経済学』東洋経済新報社、ポール・クルーグマン、ロビン・ウェルス(2009)『マクロ経済学』東洋経済新報社グレゴリー・マンキュー(2014)『マンキュー経済学II マクロ編』東洋経済新報社をテキストとして取り上げる。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAE5 6	法律学特講I	1	1.0	1・2	春AB	水3	星野 豊	毎回1つないし2つの事例を取り上げ、かかる事例に対する教育対処と法的対処との可能性及び限界について検討する。なお、具体的な事例の選択については、受講者の希望を容れて行うため、下記に掲げた具体的な事例は、ある年度における受講者との協議の結果を参考とした標準的なものである。事例として考えているのは、スポーツ事故、授業の進行方法と教員の適格性、学習障害・能力格差、有権者教育、法教育・道徳教育、児童生徒のSNS利用、売春及び薬物、児童生徒及び保護者の信仰である。	西暦偶数年度開講。

OATAE57	法律学特講II	1	1.0	1・2	秋AB	水3	星野 豊	毎回1つないし2つの事例を取り上げ、かかる事例に対する教育対処と法的対処との可能性及び限界について検討する。なお、具体的な事例の選択については、受講者の希望を容れて行うため、下記に掲げた具体的な事例は、ある年度における受講者との協議の結果を参考とした標準的なものである。事例として考えているのは、外国人生徒の扱い、性教育、カンニング、いじめとけんか、学校の地域貢献、保護者からのクレーム、PTAの任意加入、学校の個人情報管理である。	西暦偶数年度開講。
OATAE58	法律学演習I	2	1.0	1・2				2回の授業ごとに1つの事例を取り上げ、初回の授業でかかる事例における問題点の所在を洗い出し、次回の授業の中で、かかるトラブルに対する教育対処と法的対処との関係及び両対応の転換点について検討する。なお、具体的な事例の選択については、受講者の希望を容れて行うため、下記に掲げる具体的な事例は、ある年度における受講者との協議の結果を参考とした標準的なものである。つまり、授業の進行と教員の適格性、政治思想教育の在り方、いじめ問題、カンニングである。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAE59	法律学演習II	2	1.0	1・2				2回の授業ごとに1つの事例を取り上げ、初回の授業でかかる事例における問題点の所在を洗い出し、次回の授業の中で、かかるトラブルに対する教育対処と法的対処との関係及び両対応の転換点について検討する。なお、具体的な事例の選択については、受講者の希望を容れて行うため、下記に掲げる具体的な事例は、ある年度における受講者との協議の結果を参考とした標準的なものである。つまり、学校改革と教員の役割、保護者からのクレーム、学校選択制と学校の統廃合、放射能汚染と風評被害である。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAE60	哲学特講I	1	1.0	1・2				現代哲学の問題について主要なテキストを読み、それが教育にいかに関与するかディスカッションする。具体的には、言語論的転回に関するディスカッションを深めた上で、言語論的転回が「教室」をいかに変容させるかについてさらにディスカッションを行う。近年の公民教育では、哲学対話が注目されている。旧来の一方的な教え込みの公民教育ではなく、生徒の自律性を保障した上での、対話的で協働的な学びを教室にどのように成立させるのか、この点について、履修者には教師として授業に臨む姿勢を身につけさせたい。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAE61	哲学特講II	1	1.0	1・2				現代哲学の問題について主要なテキストを読み、それが教育にいかに関与するかディスカッションする。具体的には、現代思想における自由に関するディスカッションを深めた上で、哲学が「教室」をいかに変容させるかについてさらにディスカッションを行う。近年の公民教育では、哲学対話が注目されている。旧来の一方的な教え込みの公民教育ではなく、生徒の自律性を保障した上での、対話的で協働的な学びを教室にどのように成立させるのか、この点について、履修者には教師として授業に臨む姿勢を身につけさせたい。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAE62	哲学演習I	2	1.0	1・2	春AB	火4	五十嵐 沙千子	対話についての主要なテキストを読み、ディスカッションする。具体的には、現代思想における対話に関するディスカッションを深めた上で、対話が「教室」をいかに変容させるかについてさらにディスカッションを行う。近年の公民教育では、哲学対話が注目されている。旧来の一方的な教え込みの公民教育ではなく、生徒の自律性を保障した上での、対話的で協働的な学びを教室にどのように成立させるのか、この点について、履修者には教師として授業に臨む姿勢を身につけさせたい。	西暦偶数年度開講。

OATAE6 3	哲学演習II	2	1.0	1・2	秋AB	火4	五十嵐 沙千子	現代思想の主要なテキストを読み、ディスカッションする。具体的には、現代思想においてなぜ言語が問題になるのかについて、ウィトゲンシュタイン、カルナップ、ベンヤミンを取り上げながらディスカッションを深める。次に、社会構成主義とは何かについて、ガーデン、デリダを取り上げてディスカッションをさらに深める。その上で、最終的には、「教室」を脱構築することの意義、「授業」を脱構築することの意義について、総合的なディスカッションを行う。	西暦偶数年度開講。
OATAE6 4	倫理学特講I	1	1.0	1・2				倫理学の基本概念について検討する。なお、授業は受講者が作成したレジュメの発表を基にして行う。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAE6 5	倫理学特講II	1	1.0	1・2				倫理学の基本問題について検討する。なお、授業は受講者が作成したレジュメを基にして行う。	西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
OATAE6 6	倫理学演習I	2	1.0	1・2	春AB	金4	千葉 建	倫理学の根本問題を扱った西洋近現代の著作を精読し、テキストを読解する能力と倫理的に思考する能力を習得する。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
OATAE6 7	倫理学演習II	2	1.0	1・2	秋AB	金4	千葉 建	倫理学の根本問題を扱った西洋近現代の著作を精読し、テキストを読解する能力と倫理的に思考する能力を発展させる。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型)

専門基礎科目(数学教育領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OATAFO1	基礎数理学A	1	1.0	1・2	春A	水5, 6		増岡 彰, 塩谷 真弘, 田崎 博之, 木下 保, 照井 章	学部で学んだ数学をより高い視点から振り返ることでより深い理解を得ることを目標として、微分積分学および線形代数学の理論を現代数学の立場から捉えなおす。基礎数理学Aでは数の体系・関数の連続性・微分可能性・ユークリッド空間の線形写像・初等超越関数について検討する。	
OATAFO2	基礎数理学B	1	1.0	1・2	春B	水5, 6		増岡 彰, 塩谷 真弘, 田崎 博之, 木下 保, 照井 章	基礎数理学Aの内容を前提として、引き続き微分積分学および線形代数学の理論を現代数学の視点から捉えなおす。基礎数理学Bでは関数の線形近似としての微分法・多項式近似としてのテイラーの定理・線形空間と線形写像・行列式とヤコビアン・固有値についての再検討する。	
OATAFO3	基礎数理学C	1	1.0	1・2	春C	水5, 6		増岡 彰, 塩谷 真弘, 田崎 博之, 木下 保, 照井 章	基礎数理学A・Bの内容を前提として、引き続き微分積分学および線形代数学の理論を現代数学の視点から捉えなおす。基礎数理学Cでは行列の固有値と標準形及び非特異値分解、積分法、広義積分と無限級数、微分形式とその積分について検討する。	
OATAFO4	総合数理学A	2	1.0	1・2	秋A	月・金5		田崎 博之, 木下 保, 照井 章, 塩谷 真弘, 増岡 彰	数学のより深い理解を目指していくつかのテーマについて専門的に講究し、併せて数学的内容の説明の仕方について学ぶため、学生の発表および発表後のレポートをもとにして数学のいくつかのテーマを取り扱う。総合数理学Aでは集合に関する基礎概念及び選択公理、計算機数学についての基礎概念、特に代表的アルゴリズムと計算量について取り扱う。	対面
OATAFO5	総合数理学B	2	1.0	1・2	秋B	水・金4		田崎 博之, 木下 保, 照井 章, 塩谷 真弘, 増岡 彰	総合数理学Aの内容を前提として、数学のより深い理解を目指していくつかのテーマについて専門的に講究し、併せて数学的内容の説明の仕方について学ぶため、学生の発表および発表後のレポートをもとにして数学のいくつかのテーマを取り扱う。総合数理学Bにおいては数理論理の基礎概念(命題論理及び述語論理)および2回の偏微分方程式の代表例(双曲型・楕円型・放物型方程式)について取り扱う。	
OATAFO6	総合数理学C	2	1.0	1・2	秋C	火4, 金5		田崎 博之, 木下 保, 照井 章, 塩谷 真弘, 増岡 彰	総合数理学A・Bの内容を前提として、数学のより深い理解を目指す。いくつかのテーマについて専門的に講究し、併せて数学的内容の説明の仕方について学ぶため、学生の発表および発表後のレポートをもとにして数学のいくつかのテーマを取り扱う。総合数理学Cにおいては代数学の基礎概念、特に環論および加群のホモロジー代数的理論および外積代数、及びベクトル解析の基礎理論について取り扱う。	
OATAFO7	現代数学基礎A	1	1.0	1・2	秋A	月3, 4		川村 一宏, 木村 健一郎, 竹山 美宏	現代数学の諸分野を概観し、バランスの取れた数学観を身につけることを目標とする。現代数学基礎Aにおいては微分方程式の基礎理論(解の存在・一意性定理、解の定性的理論、級数解と特殊関数論)について概観し、また確率論に関する基礎概念(確率モデル、条件付確率と事象の独立性、確率分布、大数の法則と中心極限定理)について取り扱う。	
OATAFO8	現代数学基礎B	1	1.0	1・2	秋B	月3, 4		川村 一宏, 木村 健一郎, 竹山 美宏	現代数学基礎Aの内容を踏まえて、引き続き現代数学の諸分野を概観し、バランスの取れた数学観を身につけることを目指す。現代数学基礎Bでは主に代数学の基本概念、特に群論と対称性、多項式と代数方程式、可換環論・可換体論、代数方程式のガロア理論について取り上げる。	

OATAF09	現代数学基礎C	1	1.0	1・2	秋C	月3.4	川村 一宏, 木村 健一郎, 竹山 美宏	現代数学基礎A・Bの内容を踏まえて、現代数学の諸分野を概観しバランスのとれた数学観を身につける。現代数学基礎Cでは幾何学、特に曲面の曲率と測地線、ガウス・ボンネの定理、及び複素解析学の基本的な事柄、特に有理型関数と解析接続・留数計算・リーマン面、について取り上げる。	
OATAF10	現代数学特別研究A	2	1.0	1・2	春A	金4.5	木村 健一郎, 竹山 美宏, 川村 一宏	数学のより幅広い理解を目指していくつかの主題について専門的に講究し、併せて数学的内容の説明の仕方について学ぶため、学生の発表および発表後のレポートをもとにして数学のいくつかのテーマを取り扱う。統計学における基本概念、幾何学における結び目理論の基礎などのような、わかりやすい題材を取り上げる。	
OATAF11	現代数学特別研究B	2	1.0	1・2	春B	金4.5	木村 健一郎, 竹山 美宏, 川村 一宏	現代数学特別研究Aを前提として、数学のより幅広い理解を目指す。いくつかの主題について専門的に講究し、併せて数学的内容の説明の仕方について学ぶため、学生の発表および発表後のレポートをもとにして数学のいくつかのテーマを取り扱う。整数論および複素解析学などのなかから、やや進んだ題材を取り上げる。	
OATAF12	現代数学特別研究C	2	1.0	1・2	春C	金4.5	木村 健一郎, 竹山 美宏, 川村 一宏	現代数学特別研究A・Bの内容を前提として、数学のより幅広い理解を目指す。いくつかの主題について専門的に講究し、併せて数学的内容の説明の仕方について学ぶため、学生の発表および発表後のレポートをもとにして数学のいくつかのテーマを取り扱う。フーリエ級数・フーリエ変換と調和解析、曲面および3次元多様体の幾何学の基本概念など、発展的な題材を取り上げる。	
OATAF13	現代数学特別研究D	2	1.0	1・2	通年	応談	木村 健一郎, 竹山 美宏, 川村 一宏	現代数学特別研究A・B・Cの内容を前提として、数学の幅広く深い理解を目指す。いくつかの主題について専門的に講究し、併せて数学的内容の説明の仕方について学ぶため、学生の発表および発表後のレポートをもとにして数学のいくつかのテーマを取り扱う。数理統計学(推定論・検定論)および幾何学(結び目理論)などのなかから、より進んだ話題について取り上げる。	
OATAF14	現代数学特別研究E	2	1.0	1・2	通年	応談	木村 健一郎, 竹山 美宏, 川村 一宏	現代数学特別研究A・B・C・Dを前提として、数学のより幅広い理解を目指す。いくつかの主題について専門的に講究し、併せて数学的内容の説明の仕方について学ぶため、学生の発表および発表後のレポートをもとにして数学のいくつかのテーマを取り扱う。整数論と複素解析学の関りのような、数学的にやや高度な話題について取り上げる。	
OATAF15	現代数学特別研究F	2	1.0	1・2	春C	集中	木村 健一郎, 竹山 美宏, 川村 一宏	現代数学特別研究A・B・C・D・Eの内容を前提として、数学のより幅広い理解を目指す。いくつかの主題について専門的に講究し、併せて数学的内容の説明の仕方について学ぶため、学生の発表および発表後のレポートをもとにして数学のいくつかのテーマを取り扱う。フーリエ変換と位相群上の調和解析、曲面および3次元多様体の幾何学など、現代数学における発展的な話題を取り上げる。	
OATAF16	数学教育研究方法論	1	2.0	1・2	春AB	木1.2	8B408 清水 美憲	数学教育における教授・学習に関する研究方法の理論的前提や認識論的立場について、研究事例の批評を通して検討する。授業の前半では、質的データの採取及び分析における前提、手法の意義と限界について学ぶとともに、最近のいくつかの研究事例について批判的に検討する。授業の後半では、数学科授業の分析に焦点化し、国際比較研究「学習者の観点からの授業研究(LPS)」による授業・インタビューデータの分析を実例として、数学科の授業の実証的研究における質的研究方法の意義と限界を探る。	対面 ただし状況によってはオンライン(同時双方向型)に変更する。 対面

OATAF17	数学教育学習論	1	2.0	1・2	秋AB	木3.4	8B408	清水 美恵, 磯田 正美	1970年代から今日までにいたる数学の学習に関する実証的研究の動向についてのその概略を講義するとともに、各時代の研究論文を読んで、その研究方法および知見を知る。特に、数学学習における内的理解と外的理解の問題、手続き的知識と概念的知識の関係及びその乖離の問題、数学の問題解決過程と数学学習の問題、数学の信念システムやメタ認知の問題、数学の信念システムやメタ認知の問題、そして教室における学習と社会的・数学的規範の役割、学習における文化的要因の影響を中心に研究事例を検討する。	オンライン(同時双方向型)、対面
OATAF18	数学教育カリキュラム論	1	2.0	1・2	秋AB 秋B	火3.4 集中	人間 A425	蒔苗 直道, 小松 孝太郎, 磯田 正美	数学教育におけるカリキュラム開発について、文献講読を通して考察する。この過程で、数学教育研究における基礎的用語や基本概念を理解するとともに、数学の指導内容やその取扱いについて学習する。また、数学のカリキュラムの構成原理や数学教育思想など幅広い視点からの考察を行い、日本の学習指導要領の変遷や海外のスタンダード、ナショナルカリキュラムなど実際の数学のカリキュラムを対象に、その学術的な分析や考察ができるように、数学教育研究の基礎としてカリキュラム開発の理解を深める。	
OATAF19	数学教育内容論	1	2.0	1・2	秋AB 秋B	集中 木2	8B408	磯田 正美, 宮川 健, 川崎 宣昭	数学者、数学史、数学教育の三領域において突出した業績をあげたH. Freudenthalの数学的活動論を前提に、数学化を解説し、再組織化による指導系統こそが、教育課程の系統をなすことを確認する。そこでは内容上の矛盾が現れ、生徒のつまずき、それを解消する弁証法的対話も起こり得る。本講義では、内容にかかる研究成果と教科書分析を通して、小学校から高等学校までの算数・数学教材を深める。	対面
OATAF20	数学教育実践論演習 (代数・幾何)	2	2.0	1・2	春AB	火3.4	人間 A425	蒔苗 直道	数学教育における代数・幾何領域に関する実践的演習を、文献講読に基づいて行う。数学教育上の実践的な課題に対する調査やデータ分析や解釈を含むような数学教育研究を取り上げる。高等学校の代数・幾何領域やこれらに関連する中学校の領域を視野に入れ、これらの実践的な課題に対する基礎的な研究方法を学習する。学習した内容を基に、学生の自身による課題設定や問題解決を行い、その発表と検討を通して、成果をまとめる演習を行う。	
OATAF21	数学教育実践論演習 (解析・確率統計・ICT 利用)	2	2.0	1・2	春AB	木3.4 集中	8B408	磯田 正美	数学教育における解析・確率統計領域及びICTに関する実践的演習を、文献講読に基づいて行う。解析領域では、関数、解析幾何、極限、微分積分学の基本定理などについての教材研究に、確率統計領域では統計的推測、ばらつき・変動性の扱い、データサイエンスなどの統計的方法を確認したうえでビッグデータ等の扱いにかかる批判的思考に焦点を当てる。これら領域および代数・幾何領域におけるICTを活用した数学探究を実践する。	

専門基礎科目(理科教育領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OATAGO1	理科教育基礎論	1	2.0	1	春AB	水1.2		遠藤 優介	現代理科教育学研究の動向とその成果を理解し、修士課程で理科教育学研究に取り組み、また修了後、理科教育研究力を有する理科教員となるための基礎を形成することを目標とする。授業全体を通して、歴史的社会的現象である理科教育を対象化し解明するための基本的な枠組みと、その研究成果・動向について講義する。具体的には、理科教育学研究の射程に鑑み、理科教育目的論、理科教育内容論、理科教授・学習論、理科教育評価論及び現代理科教育論の基礎にある科学論等について論ずる。	教室は人間系学系棟B523・524 01B7001と同一。
OATAGO2	理科教育学演習	2	2.0	1	秋AB 通年	水1.2 集中	8B210	山本 容子	理科教育学研究を始めるための基礎的演習である。理科教育学研究力とプレゼンテーション力の向上を図ることをねらいとする。理科教育学関連の英語論文を読み、理科教育学研究の実際・困難点・動向を把握する。前半は、理科教育の代表的な国際誌に掲載された最新の英語論文を各自で1本読み、その論文の内容を和訳してまとめ、発表し、相互に批判・検討を行う。後半は、理科教育における科学的な探究もしくは理科学習論に関する英語論文1本を全員で読み、和訳し、内容を検討する。	01B7011と同一。
OATAGO3	理科教育学習論	1	1.0	1・2	春AB	火1		山本 容子	D.ホドソン著「新しい理科教授学習論」を使用し、理科学習研究を進める上での教師の実践的力形成をねらいとする。どのような教授学習方法を用いれば子供一人一人が持っている個性的な世界理解を尊重しながら新たな世界理解を構築できるのかに関して吟味していく。「科学の学習」を「科学を学ぶ」「科学について学ぶ」「科学を実践する」という三つに区分し、具体的な学習法を考究する。それぞれのテーマに関連した参考図書はその都度紹介し、必要に応じて講義の中で取り上げる。	対面授業
OATAGO4	理科教育研究方法論	1	1.0	1	春C	集中	8B204	遠藤 優介	現代理科教育学研究において用いられる基礎的な研究方法(アプローチ)について、その背後にある理論的前提を確認するとともに、具体的な研究事例を取り上げながら活用の実践を学ぶ。質的・量的な研究それぞれの特徴とその射程、調査計画の立て方やデータの集め方、分析方法などを中心に、解説と受講者による活動を交えながら実践的に検討する。	いずれも1時限から5時限まで実施 01B7041と同一。
OATAGO5	理科教育実践演習	2	1.0	1・2	秋AB	木5.6	8B210	山本 容子	まず、実際の理科授業の動画を見て、理科授業を規定する要因と授業の多様性について考え、議論する。次に、アクティブラーニングの理論・実践に関する書籍を読み、内容をまとめ、発表・議論する。その際、新学習指導要領理科における、理科の資質・能力を育成するための主体的・対話的で深い学びのあり方についても検討する。以上を踏まえて、学校現場で実践することを想定し、個人もしくはグループで、中学理科の授業を構想・実践し、相互評価を行う。	01B7051と同一。

OATAGO 6	基礎物理学1	1	1.0	1・2	春AB	月3	8B204	森下 将史	教育現場における生徒の物理学への苦手意識払拭の一助として、理科教員を目指す学生に物理学の面白さを伝えることを目的とした講義を行う。物質の成り立ち、光の性質、力学、熱力学、電磁気学、原子物理学、天文学、素粒子物理学、物性物理学などのテーマについて、まず、物理学における基本概念と基本法則の誕生と変遷に注目して講義を行う。また、この中で、中等教育では触れられない、高度ではあるが興味深い現象や概念についても講義を行う。	01B7301と同一。 対面とオンライン (オンデマンド)とのハイブリッド授業 1回目は8B204号室にて対面での授業。 2回目以降についてはmanabaにて連絡します。
OATAGO 7	基礎化学1	1	1.0	1・2	春AB	火2	8B204	一戸 雅聡, 佐藤 智生, 長友 重紀, 藤田 健志, 千葉 湧介	高校化学を教えるために必要な化学の基礎的な知識を修得できるように、周期表、原子と分子の構造、化学結合、物質質量、気体の状態方程式、エンタルピー、物質の三態、溶液と固体の性質など化学の基礎となる項目を講義する。	基礎化学2も受講することが望ましい。 01B7311と同一。
OATAGO 8	基礎生物学1	1	1.0	1・2	春AB	火4	8B409	橋本 哲男, 中山 剛, 出川 洋介	分子生物学、形態、生殖、進化、分類、生態などの基礎生物学の内容を、中高生に分かりやすく説明できるようになる。また、基礎生物学分野の研究がもたらす社会的側面についても理解し、討論できるようになる。	01B7321と同一。
OATAGO 9	基礎地学1	1	1.0	1・2	春AB	火5	8B409	角替 敏昭, 上松 佐知子	理科の教員として必要な地学の基礎的な知識の習得のため、地球史、生命史、大陸形成史の基礎的な内容について講義する。授業の前半は、生命の誕生以降の地球の歴史と生物の進化およびそれらの相互作用によって作られてきた地球表層史を俯瞰する。また基本的な化石標本の調査と処理および同定記載、ならびに生層序対比、古生物地理、機能形態解析、系統樹作成を含めた進理論、化石成因論、古生態復元、古環境復元、化学化石分析などの具体的な研究例に基づき、実際の研究を行う上で必要な概念と手法を理解する。後半は、地球を構成する岩石のうち、特に火成岩と変成岩について、基礎的な分類から、その生成過程、起源、テクトニクス等に焦点を当てて講義する。本授業により、知識と理解力および問題解決能力を向上させる。	01B7331と同一。
OATAGO 10	基礎物理学2	1	1.0	1・2	秋AB	月3	8B306	森下 将史, 矢花 一浩, 森 正夫	中等教育における物理学の教員が背景知識として習得していることが望ましい、高度ではあるが興味深い現象や概念について講義する。題材として、結晶構造、相対性理論、フーリエ変換、数の概念、準周期系、カオス、エントロピー、トポロジー、フラクタル、などを扱う。ここでは特に、物理学と密接な関わりをもつ数学との関係に注目し、数学者が作り上げた抽象的な概念を物理学者が如何に現実の現象に応用してきたかを講義し、高度な現象や概念の理解を目指す。	01B7341と同一。
OATAGO 11	基礎化学2	1	1.0	1・2	秋AB	火2	8B409	佐藤 智生, 一戸 雅聡, 長友 重紀, 藤田 健志, 千葉 湧介	高校化学を教えるために不可欠な化学の基礎的な知識を修得できるように、基礎化学1に引き続き、化学平衡、酸と塩基、緩衝作用、酸化と還元、電池、化学熱力学、エントロピー、反応速度、活性化エネルギー、核化学、原子核、同位体、有機化学、立体化学、化学分析、クロマトグラフィーなど化学の基礎となる項目を講義する。	基礎化学1を受講していることが望ましい。 01B7351と同一。
OATAGO 12	基礎生物学2	1	1.0	1・2	秋AB	月5	8B409	澤村 京一, 八畑 謙介, 横井 智之	理科の教員として必要な生物学の基礎的な知識を習得するため、動物生態学、保全生態学、遺伝学、進化学、動物系統分類学、動物形態学の基礎的な内容について講義する。	01B7361と同一。

OATAG1 3	基礎地学2	1	1.0	1・2	春C	月3.4	8B409	興野 純, 藤野 滋 弘	理科の教員として必要な地学の基礎的な知識の習得のため、地層学・層序学・鉱物学の基礎的な内容について講義する。授業の前半は堆積岩・堆積物の分類や生成過程、それらに記録された情報を読み取る手法を講義する。また、様々な種類の層序学的手法を用いて地層を対比し年代の新旧を知る方法についても解説する。授業の後半では、石英・長石・かんらん石・輝石などの主要な造岩鉱物の性質や、炭酸塩岩や土壌を構成する各種鉱物の性質について講義する。本授業により、知識と理解力および問題解決能力を向上させる。	01B7371と同一。
OATAG1 4	理科教育実験1	3	1.0	1・2	春AB	金3.4	8B101	森下 将史, 八畑 謙介, 長友 重紀, 藤野 滋弘	物理、化学、生物、地学の各分野について、基礎的な実験・実習技術を習得し、科学全般の理解を深める。本実験により、知識と理解力、企画力、問題解決能力、表現力、創造力を向上させる。	教室は8B101他 基本的に対面での実習。 1回目は 8B101号室にて物理の実験を行います。 その後の日程についてはmanaba等で連絡します。
OATAG1 5	理科教育実験2	3	1.0	1・2	秋AB	金3.4	8B101	森下 将史, 角替 敏昭, 八畑 謙介, 藤田 健志, 千葉 湧介	物理、化学、生物、地学の各分野について、基礎的な実験・実習技術を習得し、科学全般の理解を深める。本実験により、知識と理解力、企画力、問題解決能力、表現力、創造力を向上させる。	教室は8B101他
OATAG1 6	物理学教育実験	3	1.0	1・2	秋B	水3-6	8B101	森下 将史, 坂本 瑞樹, 野村 晋太郎	身近な物理現象の理解と、教育現場における実習実験に創意工夫を行える技能の習得を目指して、実験実習を行う。テーマは大きく2つ行う。1つは、空気抵抗を受けながら落下する物体や自らが興味を抱く運動する物体について、デジタルカメラで撮影した動画から画像解析の技術を用い、物体の運動の解析を行う。もう1つは、エレキギターのピックアップ部に着目し、実際にピックアップ部を自作して電磁誘導により弦の振動を電気的に検出し、さらにオシロスコープでの観測を行う。	01B7392と同一。
OATAG1 7	化学教育実験	3	1.0	1・2	秋A	水3-6	8B102	長友 重紀, 藤田 健志, 千葉 湧介	化学実験を行うことを通じて、化学的現象のモデル実験、観察、データ処理、教材制作の方法を研修し、化学教育における実験のあり方を考究する。本実験では各実験テーマについて「指導側と被指導側に分かれて行う」ことにより、化学教育の指導法についての理解力を向上させ、実践に必要な力を身につけることを目的とする。	01B7402と同一。 対面実験を行う
OATAG1 8	生物学教育実験	3	1.0	1・2	春B	水3-6	8B104	橋本 哲男, 野村 港二, 澤村 京一, 八畑 謙介, 中山 剛, 横井 智之	中学生を対象とした生物観察・実験の指導ができるようになるため、生物学の様々な分野の実験を行う。	01B7412と同一。
OATAG1 9	地学教育実験	3	1.0	1・2	春A	水3-6	8B106	興野 純, 上松 佐知子	地学教育に欠かせない代表的な実験(例えば化石、地層、岩石、鉱物などの観察および鑑定)の手法を修得する。また野外における調査方法や危機管理方法を学習し、安全教育を実践する手法を修得する。	
OATAG2 0	地学教育野外実験1	3	1.0	1・2	夏季休業 中	集中		上松 佐知子, 藤野 滋弘	埼玉県皆野町周辺をフィールドとして、野外巡検の基礎を学ぶ。特に、不整合、高圧低温型変成岩などの観察や、ルートマップ作成方法、クリノメーターでの走向・傾斜の測定方法、露頭の観察方法、ルーペを用いた微細構造の観察、岩石試料の採集方法などを野外で学習する。本野外実験では事前学習を含む巡検の企画と運営、および事後のレポート作成を必須とする。この野外実験を履修することにより、知識と理解力、企画力、問題解決能力、表現力、創造力を向上させる。	地学教育野外実験1または2のいずれか1つを受講できる。 01B7451と同一。

OATAG2 1	地学教育野外実験2	3	1.0	1・2	春季休業 中	集中		藤野 滋弘, 上松 佐知子	埼玉県小鹿野町周辺をフィールドとして、野外 巡検の基礎を学ぶ。特に、地質構造、堆積構 造、岩石中の微細構造などの観察や、ルート マップ作成方法、クリノメーターでの走向・傾 斜の測定方法、露頭の観察方法、岩石試料の採 集方法などを野外で学習する。本野外実験では 事前学習を含む巡検の企画と運営、および事後 のレポート作成を必須とする。この野外実験を 履修することにより、知識と理解力、企画力、 問題解決能力、表現力、創造力を向上させる。	01B7452と同一。
OATAG2 2	理科野外実習インター ンシップ	3	2.0	1・2	春C	集中		角替 敏昭, 藤野 滋弘	附属坂戸高校の野外実習に参加し、野外実習に おける指導法や安全教育などの実践方法を担当 教員および附属高校の教員から学ぶ。本イン ターンシップでは、事前学習を含む野外実習の 企画と運営、および事後のレポート作成を必須 とする。事前学習では、附属高校において指導 法や安全教育などの指導方法を学習する。生徒 向け野外活動のしおりなどを作成し、野外活動 の全体を把握する。野外実習では事前学習で指 導を受けた内容を実践する。特に野外での生徒 指導方法や、安全対策、危機管理方法について 学習する。また生徒の野外での研究活動や成果 発表会の指導補助なども行う。事後学習とし て、附属高校において野外実習の総括を行う。 最後にインターンシップのレポートを作成し、 担当教員および附属高校教員からの指導を受け る。	
OATAG2 3	物理学特講	1	1.0	1・2	春AB	月4	8B409	森下 将史, 石塚 成人, 野村 晋太 郎	物理学における基本概念の理解習得と、教育現 場における懐深い授業のための話題提供とし て、物理学における傑出した研究者たちの人物 像を中心にセミナー形式の授業を行う。ピタゴ ラス、アルキメデス、アリストテレス、コペル ニクス、ガリレオ、マックスウェル、アイン シュタインなどの人物を題材とし、教員が題材 とする研究者について概要を説明した後、さま ざまな文献で受講生が調査してきた内容を発表 し合い、理解を深めるとともに人物像をより具 体化することを目指す。	オンライン授業（リ アルタイム） MS-Teamsを用いてリ アルタイムで授業を 行う。Manabaの掲示 を参照のこと。
OATAG2 4	化学特講	1	1.0	1・2	春AB	金1	8B409	佐藤 智生, 一戸 雅聡, 長友 重紀, 藤田 健志, 千葉 湧介	理科教育を志す受講生が現代化学の広がりと深 みを理解できるように、現代化学のトピックス をその基礎になる考え方とともに講義する。	その他の実施形態 （主としてオンライ ン（同時双方向 型））
OATAG2 5	生物学特講	1	1.0	1・2	夏季休業 中	集中		出川 洋介, 横井 智之	自然界における生物の相互関係の理解を深める ため、特に植物・昆虫・菌類の関係を中心に講 義と観察・実習を行う。観察・実習では、自然 観察に必要な目と技術を養うことを目標とす る。具体的には、野外での昆虫採集方法、標本 の作り方に関する手法を理解させ、野外での昆 虫採集の手法を習得し、標本の作り方、目の同 定を実践する。講義では、昆虫を中心に動物の 分類や生態を紹介し、自然の仕組みとそれを研 究するための基礎的な事項について学習させ る。最後に、菅平における代表的な自然植生と 人為植生との違いを説明し、理解させる。この 授業を通して、知識と理解力、企画力、問題解 決能力、表現力、創造力を向上させる。	菅平高原実験所にて 実施
OATAG2 6	地学特講	1	1.0	1・2	秋C	応談		角替 敏昭, 藤野 滋弘	理科教育を志す受講生が地学分野の広範囲の 内容を理解するため、地球科学に関する最新の 研究成果について講義する。本授業により、地学 に関する応用知識と理解力および問題解決能力 を向上させる。	

OATAG2 7	理科教育学特講	1	1.0	1・2	秋C	集中	8B210	山本 容子, 遠藤 優介, 大高 泉	現在展開されている理科教育学研究の最新の知見を把握し、それらについての理解を深めることを目標とする。具体的には、主に科学的知識・概念の獲得という部分に焦点を当て、そこに関係する諸側面として特に科学哲学、認識論、認知心理学研究を取り上げながら、各々について講義し、議論する。また、それらを踏まえた上で、現代理科教育論の基本的立場を再確認するとともに、今後の理科教育学研究における課題について総合的に検討する。	2/5(土)、2/6(日) いずれも1時限 4時限(対面) 8 8B210 で実施
-------------	---------	---	-----	-----	----	----	-------	-----------------------	---	---

専門基礎科目(国際教育サブプログラム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OATALO 1	Education and an Interconnected World	1	2.0	1・2	春AB	金3.4	8B209	菊地 かおり	国際教育に関する諸問題について、相互依存を深める世界との関連を視野に入れながら考察する。授業では、国際バカロレア (IB) を含む国際教育の定義を検討し、また、日本における国際化・グローバル化対応の教育政策の動向を概説することで、国際教育をめぐる国内外の取り組みについて検討する。まず、ユネスコやIBの文書、関連論文を手掛かりとして国際教育の定義を検討する。次に、IBのミッション・ステートメント、学習者像、国際的視野の位置づけを確認する。後半は、日本における動向に焦点を当て、戦後の国際理解教育の受容や近年のグローバル人材育成をめぐる議論について検討する。	This is a required course and is aligned with the learning outcomes associated with the IB educator certificate. Students from outside the subprogram in IE should contact the instructor before registering. 英語で授業。
OATALO 2	Research Methodology	1	1.0	1・2	春AB	火2	8B209	菊地 かおり	修士論文の作成に必要な研究方法の基礎理論について検討する。まず、これまでの各自の研究経験を振り返り、修士論文の作成に向けて必要となるステップを確認する。次に、研究の方法論を検討するために、実証主義、構築主義、批判理論といった研究上のスタンスの相違を比較検討し、研究上の問いや研究の意義を吟味する。また、これらのスタンスの相違が研究方法の選択にどのように関わってくるのかを理解する。最後に、量的研究と質的研究における代表的なデータ収集の方法として質問紙調査とインタビュー調査を取り上げ、可能となる分析や留意点について概説する。	This is a required course and is aligned with the learning outcomes associated with the IB educator certificate. Students from outside the subprogram in IE should contact the instructor before registering. 英語で授業。
OATALO 3	Research Design and Methods	1	2.0	1・2	春C	集中		川口 純	修士論文の執筆に必要な理論と実践を修得する。前半部分では、研究計画の立案方法、具体的な「問い」の立て方、先行研究の分析、様々な研究手法について理論を中心に学習を進める。後半部分では、前半に学習した理論を基に実践力を高める授業を実施する。具体的には、修士論文作成のためのインタビュー調査、質問紙調査などを作成し、グループ学習、学校訪問、被験者の招聘などを通じて実際に調査を試み、研究スキルを向上させる。	This is a required course and is aligned with the learning outcomes associated with the IB educator certificate. Students from outside the subprogram in IE should contact the instructor before registering. 英語で授業。
OATALO 4	Pedagogy for a Changing World I	1	2.0	1・2	春AB	水3.4		川口 純, 菊地 かおり, Carol Inugai-Dixon	国際バカロレア (IB) 等の国際教育の教育者として、教授上のアイデンティティを理解できるようになることを目標とする。振り返りによる批判的洞察を伴う経験学習及びその理論の検討を通して、21世紀の教育者としての行為主体性を理解する。授業では、国際バカロレアのビジョン、協働的探究、批判的思考、学習理論、社会的・情緒的・倫理的 (SEE) 学習、ホリスティック (包括的) 教育、多言語主義、認知的学習の言語運用能力 (CALP) 等をトピックとして扱い、国際教育における教授・学習理論について検討する。	This course is aligned with the learning outcomes associated with the IB educator certificate. Students from outside the subprogram in IE should contact the instructor before registering. 英語で授業。オンライン (同時双方向型)

OATALO 5	Pedagogy for a Changing World II	1	2.0	1・2	秋AB	水3,4		川口 純, 菊地 か おり, Carol Inugai-Dixon	本授業における学習を通して、国際的な教育者としての教授上のアイデンティティと行為主体性の育成を図る。授業では、国際バカロレア (IB)等にもみられる探究に基づく学習の教授実践の中心的原則である「知の理論(Theory of Knowledge: TOK)」について検討する。授業では、TOKの枠組みである「知るための方法 (WOKs)」と「知識の領域(AOKs)」を手がかりとして、感覚、芸術、言語、物語、感情、記憶などに着目し、批判的思考の育成方法及び変容を促す教育について理解する。	This course is aligned with the learning outcomes associated with the IB educator certificate. Students from outside the subprogram in IE should contact the instructor before registering. Students enrolling in this course must have successfully completed OATAL04. 英語で授業。オンライン(同時双方向型)
OATALO 6	Assessment for Learning I	1	2.0	1・2	春AB	金1,2	8B209	川口 純, 梅津 静 子	国際バカロレア (IB) を中心とする国際教育における様々な評価法を理解しながら、学習内容の評価だけでなく、学びのための評価やフィードバックについて考察と実践を深める。ICT活用やポートフォリオといった取り組みについても学ぶ。経験学習を通して、協働活動も行う。授業の前半は、評価に関する理論とIBの各プログラムにおける評価の特徴を理解するとともに、形成的評価・総括的評価、セルフアセスメント、ピアアセスメント等の多様な評価方法を整理する。後半は、評価課題やルーブリックを作成し、発表を行う。	This course is aligned with the learning outcomes associated with the IB educator certificate. Students from outside the subprogram in IE should contact the instructor before registering. 英語で授業。
OATALO 7	Assessment for Learning II	1	2.0	1・2	秋AB	金1,2	8B209	川口 純, 梅津 静 子	国際バカロレア (IB) を中心とする国際教育における様々な評価法についての理解を深化させる。学習内容の評価だけでなく、学びのための評価やフィードバックについて実践的に取り組む。経験学習を通して、協働活動も行い、実際の評価法についてプランナーを作成しながら検討する。授業の前半では、発達段階や学習活動に応じた評価方法について理解を深める。後半では、それらの理解をもとに各プログラムや発達段階に対応した評価課題及びルーブリックを作成し、発表を行う。	This course is aligned with the learning outcomes associated with the IB educator certificate. Students from outside the subprogram in IE should contact the instructor before registering. Students enrolling in this course must have successfully completed OATAL06. 英語で授業。
OATALO 8	Curriculum as Process I	1	2.0	1・2	春AB	木3,4	8B209	菊地 かおり, 梅 津 静子	国際バカロレア (IB) を中心とする国際教育の理論、カリキュラム概要やフレームワークを理解する。発達段階やそれぞれの国の文脈に対応したカリキュラムについても考察する。経験学習を通して、協働活動や発表も行う。授業では、まず、カリキュラム論における議論を参照し、イデオロギーの相違を整理した上で、IBの各プログラムのカリキュラムフレームを理解する。次に、各国における公的カリキュラムの検討を行い、その特徴を比較する。最後に、カリキュラムのデザインとそのプロセスについて検討し、発表を行う。	This course is aligned with the learning outcomes associated with the IB educator certificate. Students from outside the subprogram in IE should contact the instructor before registering. 英語で授業。

OATAL09	Curriculum as Process II	1	2.0	1・2	秋AB	木3.4	8B209	菊地 かおり, 梅津 静子	国際バカロレア (IB) を中心とする国際教育の理論、カリキュラム概要やフレームワークを深く理解する。IBのカリキュラムフレームワークを通して、具体的なカリキュラム・プランニングやデザインを実践する。討論や協働活動、課題発表も行い、探究を深める。授業の前半では、探究学習、概念学習、学際的・教科横断的学習、経験学習など学習形態に応じたカリキュラム・プランニングについて検討する。後半では、カリキュラム・マッピングを行い、ユニットプランナー (単元指導案) を作成し、発表を行う。	This course is aligned with the learning outcomes associated with the IB educator certificate. Students from outside the subprogram in IE should contact the instructor before registering. Students enrolling in this course must have successfully completed OATAL08. 英語で授業。
OATAL10	The IB Primary Years Programme	1	2.0	1・2	秋AB	水5.6	8B209	菊地 かおり, Carol Inugai-Dixon, 梅津 静子	国際バカロレア (IB) 全体、そして、IBの初等教育プログラム (Primary Years Programme: PYP) の教育理論、カリキュラムフレームワークや教授法を理解する。様々な状況や文脈での国際バカロレア教育の導入や実践についても考察する。IBの教育を模範にしながら、経験学習を通して、協働活動や発表も行う。授業では、PYPに着目して、学習と指導の方法、カリキュラム開発、探究学習、評価について理解を深める。後半では、PYPの最終の評価課題であるエキジビションに取り組み、その成果を発表する。	This course is aligned with the learning outcomes associated with the IB educator certificate. Students from outside the subprogram in IE should contact the instructor before registering. Prerequisites: OATAL04, OATAL06 & OATAL08. 英語で授業。
OATAL11	The IB Middle Years Programme	1	2.0	1・2	秋AB	水5.6	8B209	菊地 かおり, Carol Inugai-Dixon, 梅津 静子	国際バカロレア (IB) 全体、そして、IBの中等教育プログラム (Middle Years Programme: MYP) の教育理論、カリキュラムフレームワークや教授法を理解する。様々な状況や文脈での国際バカロレア教育の導入や実践についても考察する。IBの教育を模範にしながら、経験学習を通して、協働活動や発表も行う。授業では、MYPに着目して、学習と指導の方法、カリキュラム開発、探究学習、評価について理解を深める。後半では、MYPの最終の評価課題であるパーソナルプロジェクトに取り組み、その成果を発表する。	This course is aligned with the learning outcomes associated with the IB educator certificate. Students from outside the subprogram in IE should contact the instructor before registering. Prerequisites: OATAL04, OATAL06 & OATAL08. 英語で授業。
OATAL12	The IB Diploma Programme	1	2.0	1・2	秋AB	水5.6	8B209	川口 純, Carol Inugai-Dixon, 梅津 静子	国際バカロレア (IB) 全体、そして、IBのディプロマプログラム (Diploma Programme: DP) の教育理論、カリキュラムフレームワークや教授法を理解する。様々な状況や文脈での国際バカロレア教育の導入や実践についても考察する。IBの教育を模範にしながら、経験学習を通して、協働活動や発表も行う。授業では、DPに着目して、学習と指導の方法、カリキュラム開発、探究学習、評価について理解を深める。後半では、DPの最終の評価課題である課題論文に取り組み、その成果を発表する。	This course is aligned with the learning outcomes associated with the IB educator certificate. Students from outside the subprogram in IE should contact the instructor before registering. Prerequisites: OATAL04, OATAL06 & OATAL08. 英語で授業。

OATAL1 3	Professional Learning and Reflective Practice	1	1.0	1・2	春AB	月3	8B209	川口 純, Carol Inugai-Dixon, 梅津 静子	国際バカロレア(IB)における振り返りと専門職能開発を中心として、その役割と意義について検討する。授業の前半では、IBのカリキュラムの改訂サイクル、教師に期待されるセルフスタディ及び生涯学習のあり方について検討する。また、IBによる定期評価及び専門研修の仕組みについて理解する。授業の後半では、振り返りの方法としてのアクションリサーチ、専門職能開発としてのポートフォリオに着目し、その意義と実践方法について理解を深める。	This course is aligned with the learning outcomes associated with the IB educator certificate. Students from outside the subprogram in IE should contact the instructor before registering. 英語で授業。オンライン(同時双方向型)
OATAL1 4	Field Research	2	1.0	1・2	春C	集中		菊地 かおり, 川口 純, 梅津 静子	国際バカロレア(IB)認定校においてグローバルな文脈を取り入れた探究学習の授業実践を行う。まず、事前に学校訪問及び授業参観を行い、学校の特徴や児童生徒の実態を把握しつつ、IBの各プログラムの授業について理解を深める。その後、IB校の教員の助言を受けながら探究学習のユニットプランナー(単元指導案)を作成し、実践する。毎回の授業後に振り返りを行い、授業実践スキルの向上を目指す。指導後には全体での振り返りを行い、各自の授業実践の振り返りを共有し、改善策を検討する。	英語で授業。
OATAL1 5	国際理解教育論	1	2.0	1・2	通年	応談		菊地 かおり	日本における国際理解教育について検討する。在日コリアンの教育、帰国児童生徒教育、外国籍児童生徒教育等を事例としながら現代的な教育課題について考察する。授業では、まず、日本における国際理解教育の展開について整理し、その課題の変遷を把握する。次に、個別の教育課題として、在日コリアンの教育、帰国児童生徒教育、外国籍児童生徒教育等を事例として、その課題の背景にある社会変化及び関連施策について理解を深める。授業の後半では、これらの事例に共通する課題として、教育の機会均等、学校適応、母語保持などを取り上げ、子どもたちの文化的・言語的多様性に対応した学校教育のあり方を検討する。	要望があれば英語で授業
OATAL1 6	グローバル化と教育	1	2.0	1・2	秋AB	金3,4	8B209	菊地 かおり	グローバル時代の教育に影響を与える社会・政治理論について検討する。ナショナリズム、多文化主義、新自由主義、シティズンシップ等を鍵概念としながら、現代の教育改革との関わりにおいてその理論的潮流を把握する。授業の前半では、新自由主義と教育改革に関する文献を講読する。新自由主義に基づく考え方が、どのように教育改革や学校経営、授業実践に影響を及ぼしているのか、また世界各国でその潮流にどのような相違がみられるのかを検討する。授業の後半では、多文化主義・間文化主義などの多様性と統合に関する文献を講読する。多様な社会統合モデルを比較検討しつつ、人びとの多様性を包摂するような社会及び教育のあり方について検討する。	要望があれば英語で授業

OATAL1 7	国際教育開発論	1	2.0	1・2	通年	応談		川口 純	主に途上国の教育に焦点化し、各国の教育制度・事情を比較、検討しながら授業を進める。特に、サブサハラアフリカと東南アジアを事例として取り上げ、域内の教育制度や最新の教育改革の動向を検討していく。多くの途上国においては、1990年に開催された「万人のための教育 (Education For All: EFA) 世界会議」以降、初等教育の普遍化が国際的目標となり、2015年をEFA達成の目標年と位置づけ、無償化政策などを通して教育機会の拡大に尽力してきた。結果的に、これまで教育の量的拡大には一定程度、成功してきた。その一方で、教育の質(特に内部効率性とアウトプット)が低下し、格差の拡大、教員離職率の上昇など、急激な量的拡大に伴う様々な課題も引き起こしている。このような状況下において、如何に途上諸国が、教育の質や公平性を改善しようとしているのか、最新の教育改革動向を比較、検討していく。基本的な授業の進め方としては、担当教員の講義形式で実施するが、受講者には受け身の姿勢ではなく、積極的に議論に参加することを期待する。	
OATAL1 8	国際教育協力論	1	2.0	1・2	春AB秋 AB	水2	8B209	川口 純	国際教育協力について「理論」と「実践」の両面から学習を深めていきたい。まず、国際教育協力に係る仕組みと理論を整理し、概念整理を実施していく。次に、世界的な国際教育協力の歴史の変遷を概観しながら、「垂直的な援助」から「水平的な協力」へと変化してきた実態を確認する。その後、日本の教育協力について、ODA(政府開発援助)大綱の改定も踏まえながら、全体的な仕組みやJICA(国際協力機構)の役割や機能を確認していく。実際に日本の国際教育協力事例を取り上げ、映像や資料を参照しながら具体的な教育課題について議論を深めていく。当該議論においては途上国の中でも、特に東南部アフリカの事例と東南アジアの事例を詳細に取り上げて議論を進めていく計画である。基本的な授業の進め方としては、担当教員の講義形式で実施するが、受講者には受け身の姿勢ではなく、積極的に議論に参加することを期待する。	
OATAL1 9	教員養成の国際比較	1	2.0	1・2	通年	応談		川口 純	世界の教員養成改革について今日的な視点も交えて、より広い立場から考察したい。現在、世界中でグローバルに進展する教育改革動向に関連付けながら、教員を各国、地域が如何に養成しようとしているのか、最新の教員養成改革の動向について検証していく。 また、後半部分では諸外国の教員養成改革を日本の教員養成改革と相対的に比較、検証する視点を持ち、現在、日本で進展している教員養成改革についても見識を深め、理解を促す。授業は担当教員の講義形式で実施するが、受講者には積極的に議論に参加することを期待する。	
OATAL2 0	Education in Japan: Principles Policies and Practice I	1	1.0	1・2	春AB	月4	8B204	川口 純、菊地 かり、古田 雄一	現代日本の教育をめぐる論点を政策、制度、実践といった多角的な視点から理解し、またその課題について十分な知識をもとに論じることができるようになることを目標とする。授業では、日本の教育をめぐるさまざまなテーマを取り上げ、その原理、政策、実践を概説する。具体的には、教育制度、学校経営、数学教育、理科教育、社会科教育、言語教育政策、道徳教育、特別支援教育、高等教育をテーマとし、近年の改革動向とその課題を提示する。授業の内容をもとに討論を行い、論点についての理解を深める。なお、主として英語で授業を行う。	英語で授業。

OATAL2 1	Education in Japan: Principles Policies and Practice II	1	2.0	1・2	春C	集中	8B209	藤田 晃之、佐藤 博志、川口 純	現代日本の教育政策、制度、実践を支える諸理論について理解を深めるとともに、諸外国との比較を行うことで、日本の教育の特徴を検討する。Education in Japan Iで履修した内容をより深化させ、日本の教育に対する理解を促す。具体的に扱う領域は、キャリア教育、学校経営論、特別支援教育の3点とし、近年の改革動向とその課題を提示する。授業の内容をもとに討論を行い、論点についての理解を深める。なお、主として英語で授業を行う。	春Cは集中授業として実施する。 英語で授業。
-------------	--	---	-----	-----	----	----	-------	---------------------	---	---------------------------

専門基礎科目(初等教育関係)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OATAMO 1	初等国語特講a	1	1.0	1・2	春C	応談		矢澤 真人, 稀代 麻也子, 今田 水穂	小学校国語科での授業に必要な国語に関する基礎的な事項を確認したうえで、応用的な知見や技能を身につけることを目標とする。具体的には、小学校での国語科の授業に必要な国語に関する知識・技能の向上をねらう。特に伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項について、漢文学や国語学を中心に扱う。	01B2350と同一。
OATAMO 2	初等国語特講b	1	1.0	1・2	秋C	集中	8B406	長田 友紀, 勝田 光, 吉森 佳奈子	小学校国語科での授業に必要な国語に関する基礎的な事項を確認したうえで、応用的な知見や技能を身につけることを目標とする。具体的には、小学校での国語科の授業に必要な国語に関する知識・技能の向上をねらう。特に伝統的な言語文化について国文学を中心に扱う。また、話すこと・聞くこと・読むこと・書くことなどの国語に関する技能についてもトレーニングしていく。なお、いずれの時間も小学校での実践的な指導や教材化に関する討議を含む。	詳細後日周知。 西暦偶数年度開講。 01B2351と同一。 オンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)
OATAMO 3	初等社会特講	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中	8B204	國分 麻里, 井田 仁康, 唐木 清志, 金 玗辰	初等社会科教育課程の内容構成を前提として、教科「社会」を担当する教員に必要な教科の専門的知識及び技能を習得してもらうことを目標とする。本授業では、初等社会科教育課程を構成する「地域学習」(3・4年)「産業学習」(5年)「国土学習」(5年)「歴史学習」(6年)「政治学習」(6年)「国際学習」(6年)について、地理学・歴史学・社会諸科学(公民)の各学問領域の立場から、社会科の教材開発に必要な専門的知識及び技能を身に付けてもらう。	詳細は後日通知予定。 対面
OATAMO 4	初等数学特講	1	1.0	1・2	春季休業中	集中		時苗 直道	算数の背景にある数学の基礎的概念や、学問としての数学の知識や技能、数学的な論理の展開の方法を基に、算数についての理解を深めることを目標とする。	3/11(金)1限~3限、3/12(土)1限~3限、3/13(日)3限~6限 オンラインで実施 01B2353と同一。 3/11, 3/12, 3/13 オンライン(同時双方向型)
OATAMO 5	初等理科特講	1	1.0	1・2	通年	応談		森下 将史, 山本 容子	本授業では、1小学校理科の内容のうち、物理・化学・生物・地学分野に関係する基礎的・基本的知識を身につける、2小学校理科の実験のうち、物理・化学・生物・地学分野に関する基礎的・基本的技能を身につける、の2つを目標とする。具体的には、小学校理科(物理・化学・生物・地学)に関する基礎的・基本的な内容(実験を含む)について解説・検討するとともに、それらの内容から中学校理科の内容への接続という観点に基づいた議論を行う。	
OATAMO 6	初等英語特講	1	1.0	1・2	秋AB	木4		名畑目 真吾	年少者が外国語として英語を習得・学習する際のメカニズムを文献講読によって理解し、国内の小学校英語教育について理論的・批判的に考えを深めることができることを目標とする。具体的に、外国語としての英語の習得における年齢要因について、各技能や動機づけ、方略使用の観点から検討する。また、小学校学習指導要領の目標と内容、ならびに学習理論についても扱い、英語学や応用言語学などの知見にも触れながら、子どもの発達をふまえた複眼的な検討を行う。	小学校専修免許対応はR2年度以降の入学のみ。 対面

OATAMO 7	初等図画工作特講	1	1.0	1・2	春C	火3.4		石崎 和宏	小学校学習指導要領の「図画工作」における目標と内容の理論的背景を検討しつつ、指導実践に向けた学習理論について理解することを目標とする。そのために、本授業では、小学校学習指導要領の目標と内容、ならびに学習理論について、表現領域と鑑賞領域ごとに子どもの発達をふまえて複眼的に検討を行う。具体的には、描画表現と鑑賞活動における子どもの発達理論、造形表現と鑑賞を支援する学習方略、造形表現と鑑賞を支援するツールの開発、表現と鑑賞をつなぐ図画工作の授業構想について議論する。	01B2360と同一。
OATAMO 8	初等体育特講	1	1.0	1・2	秋AB	火2	8B209	宮崎 明世	小学校期の身体的・精神的・社会的発達の特徴を学習し、初等教育における「体育」の重要性を理解する。それらに対応した、動きづくり、運動の理解、態度形成と言語活動について専門的な知識を身に付ける。さらに、学習指導要領の学習内容に対応した具体的な運動プログラムを考えられるようになることを目標とする。具体的には、小学校段階の身体的な発育の特徴と身体活動の重要性を、講義を通して理解し、基礎的・発展的な「動きづくり」について検討する。また、認知的・精神的な発達の特徴を理解し、小学校体育で求められる運動に関する理解について検討する。社会的な発達と特徴について理解し、体育における仲間作りと態度形成、言語活動とコミュニケーションについて検討する。専門的な知識とともに、具体的な学習内容や指導方法について考える力を身に付ける。	小学校1種免許を取得している初等専修免許取得希望者に限る。

専門科目(教育基礎科学サブプログラム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATANO 1	教育学研究I	2	3.0	1	通年	応談		平井 悠介, 徳永 智子, 京免 徹雄, 庄司 一子, 濱田 博文, 藤田 晃之, 樋口 直宏, 平田 諭治, 佐藤 博志, 上田 孝典, 田中 マリア, 藤井 穂高, タスタンベコワ クアニシ, 田中 正弘	教育学をテーマとして研究するにあたり、学術論文を執筆するための基礎的な理論と方法を学ぶ。	
OATANO 2	教育学研究II	2	3.0	2	通年	応談		平井 悠介, 徳永 智子, 京免 徹雄, 庄司 一子, 濱田 博文, 藤田 晃之, 樋口 直宏, 平田 諭治, 佐藤 博志, 上田 孝典, 田中 マリア, 藤井 穂高, タスタンベコワ クアニシ, 田中 正弘	教育学の基盤を形成する各学問領域に関する最新の研究論文をそれぞれ2本ずつ選択し、その検討を通して研究論文の執筆に関わる専門的な知識と汎用的なスキルを身につける。また後半では受講者が研究テーマと論文構想を発表し、全員で討議を行う。	
OATANO 3	教育学研究III	2	3.0	2	通年	応談		平井 悠介, 徳永 智子, 京免 徹雄, 庄司 一子, 濱田 博文, 藤田 晃之, 樋口 直宏, 平田 諭治, 佐藤 博志, 上田 孝典, 田中 マリア, 藤井 穂高, タスタンベコワ クアニシ, 田中 正弘	各自の研究テーマに即した担当指導教員のもとで、個別に指導を受けながら修士論文の執筆を進め、中間と期末に全員参加による発表と質疑応答を行う全体検討会を実施する。	

専門科目(次世代学校教育創成サブプログラム・学校教育領域・SL分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATAPO 1	次世代教育研究I	2	3.0	1	通年	応談		上田 孝典, タスタンベコワ クアニシ, 徳永 智子, 濱田 博文, 佐藤 有耕, 樋口 直宏, 平田 諭治, 佐藤 博志, 藤井 穂高, 沢宮 容子, 古田 雄一	次世代学校教育創成に関心をもつ受講者を対象に、教育学研究の領域別の特色、成果、課題、今後の経営戦略とスクールリーダーの役割等について、研究を展開する上での理論と方法を検討する。	
OATAPO 2	次世代教育研究II	2	3.0	2	通年	応談		上田 孝典, タスタンベコワ クアニシ, 徳永 智子, 濱田 博文, 佐藤 有耕, 樋口 直宏, 平田 諭治, 佐藤 博志, 藤井 穂高, 沢宮 容子, 古田 雄一, 朝倉 雅史	次世代学校教育創成に関心をもつ受講者を対象に、スクールリーダーおよび高度専門職業人の基礎的資質と能力形成に向けて、教育学研究の領域別の実践を分析・考察する。	14案対応

OATAPO3	次世代教育研究III	2	3.0	2	通年	応談		上田 孝典, タスタンベコワ クアニシ, 徳永 智子, 濱田 博文, 佐藤 有耕, 樋口 直宏, 平田 諭治, 佐藤 博志, 藤井 穂高, 沢宮 容子, 古田 雄一, 朝倉 雅史	次世代学校教育創成に関心をもつ受講者を対象に、修士論文・実践研究報告書の作成に向けて各自の専門領域に沿って学習を深め、成果を発表する。	14条対応
---------	------------	---	-----	---	----	----	--	---	---	-------

専門科目(学校教育領域・英語教育分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATAUO1	英語教育学研究I	2	3.0	1	通年	応談		名畑目 真吾	英語教育学研究の基本的な進め方に関して、文献講読を通して理解を深める。具体的には、まず英語教育研究とは何かを学び、研究の目的や研究の種類、研究のプロセスについて知る。そして、研究テーマの決め方や先行研究とのつながりについて理解し、データ収集方法や量的・質的なデータ分析アプローチについても学ぶ。さらに、研究成果を公表する方法や論文の構成、及び引用文献の書き方などの基礎的な知識を得ることで、英語教育研究を行う素養を身に付ける。	
OATAUO2	英語教育学研究II	2	3.0	2	通年	応談		名畑目 真吾	英語教育学研究の在り方や様々なトピックについて、文献講読によって理解を深める。具体的には英語教育研究の学際性について理解し、第二言語習得論や認知科学、心理言語学といった関わりの強い分野とのつながりについて学ぶ。さらに、教育学や自然言語処理、脳科学といった分野との関わりについても知る。そして、実際の英語教育研究のトピックとして、4技能や文法習得、教員養成、異文化理解など幅広い研究の在り方について学ぶことで、自身が行う研究を深めることを目指す。	14条対応
OATAUO3	英語教育学研究III	2	3.0	2	通年	応談		名畑目 真吾	英語教育学研究の立案から実施までを行い、その成果を発表する。授業前半では、研究テーマ、研究方法について検討を重ねて決定することを目標とする。授業後半では実際のデータ収集及びデータ解析を行い、分析結果の考察、先行研究との比較などを通して、研究の教育的・学術的な示唆を導くようにする。最後に、研究成果発表に向けての準備を行い、最終的に研究成果をプレゼンテーションにより発表することを目指し、自身の研究成果の公表へとつなげる。	14条対応

専門科目(学校教育領域・芸術科教育分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATAVO1	芸術科教育学研究I	2	3.0	1	通年	応談		石崎 和宏	芸術科教育におけるさまざまな実践課題の研究手法についての理解を深め、特定実践課題で立案した計画を遂行し、その成果と課題について考察することを目的とする。そのため、個別の教育実践研究テーマから策定した研究の目的と方法に基づいてリサーチを実施し、その成果と課題を考察する。具体的には、リサーチプランにおけるテーマと方法の発表、データ収集の実施、データの量的・質的分析の検討、先行研究との比較分析を通して、リサーチに基づく今後の芸術教育の課題を検討する。	

OATAVO 2	芸術科教育学研究II	2	3.0	2	通年	応談	石崎 和宏	芸術科教育におけるさまざまな実践課題の研究 方法についての理解を深め、特定実践課題で立 案した計画を遂行し、その成果と課題について 考察することを目的とする。そのため、個別の教 育実践研究テーマから策定した研究の目的と方 法に基づいてリサーチを実施し、その成果と課 題を考察する。具体的には、芸術科教育におけ るエッセンシャル・クエッション、ピラミッ ド・ストラクチャーによる研究構想の具体化、 芸術科教育におけるリサーチメソッドの検討、 各自の特定課題リサーチデータの分析を通し て、リサーチに基づく今後の芸術教育の課題を 検討する。	14条対応
OATAVO 3	芸術科教育学研究III	2	3.0	2	通年	応談	石崎 和宏	芸術科教育における課題解決に向けた研究方法 について理解を深め、受講者の設定した特定課 題についてリサーチを計画し、その遂行と結果 について複眼的に考察することを目的とする。 さらに、修士論文にかかわる個別の研究テーマ に基づいて研究の目的と方法を具体化し、ア ートベース・リサーチ(Arts-Based Research)の方 法論についての理解を深めつつ、それを活用し た具体的リサーチを実施し、その成果と課題を 考察する。具体的には、各特定課題に対する アートベース・リサーチのメリットや限界をふ まえ、アートベース・リサーチの視点からの データ分析と解釈を行い、各特定課題に対する 結論を検討する。	14条対応

専門科目 (学校教育領域・保健体育教育分野)

科目番号	科目名	授業 方法	単位 数	標準 履修 年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATAWO 1	保健体育教育学研究I	2	3.0	1	通年	応談		宮崎 明世	保健体育教育学研究Iでは、体育のカリキュラム 論、学習指導論、指導方略・指導技術などの観 点から体育科教育学の基礎を学び、理解する。 また、体育科教育学の今日的課題を取り上げて 議論することで、各自の問題意識を明確にす る。さらに各自の問題意識に基づいた課題を設 定し、課題に応じた基礎となる領域の文献を講 読するとともに先行研究を探し手学習し、自身 の研究についての枠組みをつくる。	
OATAWO 2	保健体育教育学研究II	2	3.0	2	通年	応談		宮崎 明世	保健体育教育学研究Iで身に付けた基礎をもと に、各自の問題意識に基づいた課題解決の方法 を検討する。体育科教育学研究の進め方につい て先行研究をもとにさまざまな角度から学ぶこ とによって、自らの課題解決に適した研究計画 を立案する。課題解決のためのプロセスを手順 に則って進め、予備的な実践を行ってその成果 と課題を明らかにし、現実的な研究の方法を追 求する。	14条対応
OATAWO 3	保健体育教育学研究 III	2	3.0	2	通年	応談		宮崎 明世	保健体育教育学IおよびIIにおける学習をもと に、自ら立案した研究計画に則って研究を進め る。また、海外を含めた体育科教育学研究の動 向や研究の基礎、進め方についても並行して学 習を進め、自らの研究に役立つ理論や先行研究 の知見を活用できるようにする。授業の中で研 究発表を行って情報を共有するとともに、研究 についての議論を行う。	14条対応

専門科目(国語教育領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATAQO1	国語教育学研究I	2	3.0	1	通年	応談		馬場 美佳, 矢澤 真人, 大倉 浩, 谷口 孝介, 石塚 修, 島田 康行, 橋本 修, 吉森 佳奈子, 稀代 麻也子, 長田 友紀, 那須 昭夫, 田川 拓海, 勝田 光	国語科の各領域に関する研究を収集し、今日的な課題を把握すると同時に、現時点での達成水準を理解する。そのうえで、各自の研究テーマについてのレポートを作成し、討議をとおしてそれらを分析し評価するとともに自ら新たな視点を提案するための提案するための知見や方法を獲得する。	対面
OATAQO2	国語教育学研究II	2	3.0	2	通年	応談		馬場 美佳, 矢澤 真人, 大倉 浩, 谷口 孝介, 石塚 修, 島田 康行, 橋本 修, 吉森 佳奈子, 稀代 麻也子, 長田 友紀, 那須 昭夫, 田川 拓海, 勝田 光	国語科の各領域に関する研究について、各自の問題意識に基づき研究目的を明確に設定する。そのうえで適切な研究方法を選択し、調査を行う。各自の調査の途中経過について報告会を開き討議する。	対面
OATAQO3	国語教育学研究III	2	3.0	2	通年	応談		馬場 美佳, 矢澤 真人, 大倉 浩, 谷口 孝介, 石塚 修, 島田 康行, 橋本 修, 吉森 佳奈子, 稀代 麻也子, 長田 友紀, 那須 昭夫, 田川 拓海, 勝田 光	国語科の各領域に関する研究について、各自の研究目的にしたがって、適切な研究方法で調査を行う。そのうえでそれらを総合的に考察し修士論文を執筆する。適切な研究方法を選択し、調査を行う。各自の調査の途中経過について報告会を開き討議する。	対面

専門科目(社会科教育領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATARO1	地理教育学研究I	2	3.0	1	通年	応談		井田 仁康, 森本 健弘, 山中 勤, 金 玟辰	週一回のペースで定期的開催されるゼミにおいて、関心のあるテーマについて、各人が個別に発表する。発表にあたっては、担当教員から事前に個別指導を受け、それに基づいて発表に臨むことにする。なお、ゼミには履修者とともに担当教員が複数名参加して、各人の発表に対して協議を行う。授業では基本的に、1時間に一人のペースで発表を継続させる。授業で受けた助言については、次の発表に生かす形で、地理教育学に関する能力を一步一步上達させることを目的とする。	
OATARO2	地理教育学研究II	2	3.0	2	通年	応談		井田 仁康, 森本 健弘, 山中 勤	週一回のペースで定期的開催されるゼミにおいて、関心のあるテーマについて、各人が個別に発表する。地理教育学研究Iで身に付けた基礎的な知識や技能を活用しながら、履修者は個別の研究テーマをさらに深め、主として修士論文の作成を目指して、研究を展開する。修士論文のテーマとしては、大きく、地理教育学に関するものと地理学に関するものの二つが考えられる。しかし、この二つは互いに往還するものであるため、修士論文には当然これらが統合されることが目指されるはずである。	

OATARO 3	地理教育学研究III	2	3.0	2	通年	応談	井田 仁康, 森本 健弘, 山中 勤	地理教育学研究Iと地理教育学研究IIの授業を踏 まえて、2回実施される修士論文指導会(1年次の 2月と2年次の10月)と1回開催される修士論文発 表会(2年次の1月)において個人発表を行い、大 学院2年間の学習成果として修士論文を完成させ る。また、発表に先立って、指導教員からの個 別指導を受けることを前提とする。修士論文発 表会には、これまで主として地理教育学関連の 教員から受けてきた指導に加え、歴史教育学及 び公民教育学の教員からも指導・助言を受ける ことになる。こうすることで、地理と歴史と公 民を総合させた社会科教育学としてのアイデン ティティが担保された修士論文が完成すること になる。
OATARO 4	歴史教育学研究I	2	3.0	1	通年	応談	伊藤 純郎, 國分 麻里, 谷口 陽子	週一回のペースで定期的で開催されるゼミにお いて、関心のあるテーマについて、各人が個別 に発表する。発表にあたっては、担当教員から 事前に個別指導を受け、それに基づいて発表に 臨むことにする。なお、ゼミには履修者ともに 担当教員が複数名参加して、各人の発表に対 して協議を行う。授業では基本的に、1時間に一 人のペースで発表を継続させる。授業で受けた 助言については、次の発表に生かす形で、歴史 教育学研究に関する能力を一步一步上達させる ことを目的とする。
OATARO 5	歴史教育学研究II	2	3.0	2	通年	応談	伊藤 純郎, 國分 麻里, 谷口 陽子	週一回のペースで定期的で開催されるゼミにお いて、関心のあるテーマについて、各人が個別 に発表する。歴史教育学研究Iで身に付けた基礎 的な知識や技能を活用しながら、履修者は個別 の研究テーマをさらに深め、主として修士論文 の作成を目指して、研究を展開する。修士論文 のテーマとしては、大きく、歴史教育学に関す るものと歴史学に関するものの二つが考えられ る。しかし、この二つは互いに往還するもので あるため、修士論文には当然これらが統合され ることが目指されるはずである。
OATARO 6	歴史教育学研究III	2	3.0	2	通年	応談	伊藤 純郎, 國分 麻里, 谷口 陽子	歴史教育学研究Iと歴史教育学研究IIの授業を踏 まえて、2回実施される修士論文指導会(1年次の 2月と2年次の10月)と1回開催される修士論文発 表会(2年次の1月)において個人発表を行い、大 学院2年間の学習成果として修士論文を完成させ る。また、発表に先立って、指導教員からの個 別指導を受けることを前提とする。修士論文発 表会には、これまで主として地理教育学関連の 教員から受けてきた指導に加え、地理教育学及 び公民教育学の教員からも指導・助言を受ける ことになる。こうすることで、地理と歴史と公 民を総合させた社会科教育学としてのアイデン ティティが担保された修士論文が完成すること になる。
OATARO 7	公民教育学研究I	2	3.0	1	通年	応談	唐木 清志, 五十 嵐 沙千子, 森 直 人, 鈴木 創, 星野 豊	週一回のペースで定期的で開催されるゼミにお いて、関心のあるテーマについて、各人が個別 に発表する。発表にあたっては、担当教員から 事前に個別指導を受け、それに基づいて発表に 臨むことにする。なお、ゼミには履修者ともに 担当教員が複数名参加して、各人の発表に対 して協議を行う。授業では基本的に、1時間に一 人のペースで発表を継続させる。授業で受けた 助言については、次の発表に生かす形で、公民 教育学研究に関する能力を一步一步上達させる ことを目的とする。

OATARO 8	公民教育学研究II	2	3.0	2	通年	応談	唐木 清志, 五十嵐 沙千子, 森 直人, 鈴木 創, 星野 豊	週一回のペースで定期的開催されるゼミにおいて、関心のあるテーマについて、各人が個別に発表する。公民教育学研究Iで身に付けた基礎的な知識や技能を活用しながら、履修者は個別の研究テーマをさらに深め、主として修士論文の作成を目指して、研究を展開する。修士論文のテーマとしては、大きく、公民教育学に関するものと社会諸科学・人文諸科学(社会学、経済学、法学、倫理学、哲学等)に関するものの二つが考えられる。しかし、この二つは互いに往還するものであるため、修士論文には当然これらが統合されることが目指されるはずである。
OATARO 9	公民教育学研究III	2	3.0	2	通年	応談	唐木 清志, 五十嵐 沙千子, 森 直人, 鈴木 創, 星野 豊	公民教育学研究Iと公民教育学研究IIの授業を踏まえて、2回実施される修士論文指導会(1年次の2月と2年次の10月)と1回開催される修士論文発表会(2年次の1月)において個人発表を行い、大学院2年間の学習成果として修士論文を完成させる。また、発表に先立って、指導教員からの個別指導を受けることを前提とする。修士論文発表会には、これまで主として地理教育学関連の教員から受けてきた指導に加え、地理教育学及び歴史教育学の教員からも指導・助言を受けることになる。こうすることで、地理と歴史と公民を総合させた社会科教育学としてのアイデンティティが担保された修士論文が完成することになる。

専門科目(数学教育領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATASO 1	数学教育学研究I	2	3.0	1	通年	応談		磯田 正美, 清水 美憲, 小松 孝太郎, 蒔苗 直道	1年生を対象に、数学教育における目標論、数学教育史、教育課程論、教授学習論、教材開発論等の多面的な研究動向を踏まえながら、数学教育研究の指導を行い、教育学における研究方法論を踏まえ、論文指導を行う。特に、各自の問題意識に基づいて数学教育に関する諸問題についてレポートをまとめ発表する。レポートに基づく討議を通して、研究課題を明確化し、修士論文を作成するための準備を行う。	
OATASO 2	数学教育学研究II	2	3.0	2	通年	応談		磯田 正美, 清水 美憲, 小松 孝太郎, 蒔苗 直道	2年生を対象に、1年次の学修成果に基づいて、数学教育における目標論、数学教育史、教育課程論、教授学習論、教材開発論等の多面的な研究動向を踏まえながら、数学教育研究の指導を行い、教育学における研究方法論を踏まえ、論文指導を行う。特に、各自の問題意識に基づいて数学教育に関する諸問題についてレポートをまとめ発表する。レポートに基づく討議を通して、修士論文の論構成を行い、内容を整理する。	14条対応
OATASO 3	数学教育学研究III	2	3.0	2	通年	応談		磯田 正美, 川村 一宏, 清水 美憲, 竹山 美宏, 増岡 彰, 木下 保, 小松 孝太郎, 塩谷 真弘, 田崎 博之, 照井 章, 蒔苗 直道, 木村 健一郎	数学教育における目標論、数学教育史、教育課程論、教授学習論、教材開発論等の多面的な研究動向を踏まえながら、数学教育研究の指導を行い、教育学における研究方法論を踏まえ、論文指導を行う。特に、各自の問題意識に基づいて数学教育に関する諸問題についてレポートをまとめ発表する。レポートに基づく実証的な討議を通して、修士論文を執筆する。	14条対応

専門科目(理科教育領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATATO 1	理科教育学研究I	3	3.0	1	通年	応談		山本 容子, 遠藤 優介, 坂本 瑞樹, 矢花 一浩, 石塚 成人, 野村 晋太郎, 森 正夫, 森下 将史, 佐藤 智生, 長友 重紀, 藤田 健志, 橋本 哲男, 野村 港二, 中山 剛, 澤村 京一, 出川 洋介, 八畑 謙介, 横井 智之, 角 替 敏昭, 上松 佐知子, 藤野 滋弘, 興野 純	理科教育の各専門領域ならびに複合領域に関する研究方法・教育方法を習得させると共に、理科教育の観点から修士論文研究着手の指導を行う。具体的な授業内容は、修士論文完成までのプロセスの概要説明、研究倫理と情報倫理、中学校理科における教育方法、高等学校理科における教育方法、教育方法の観点から見た中学校理科と高等学校理科の接続・一貫性、理科教育学研究における研究方法、理科教育学研究における機器の取り扱い、先行研究の検索方法、外国語文献・資料の検索方法、研究テーマの構想と先行研究の収集、先行研究の分析などである。この授業により、知識と理解力、企画力、問題解決能力、表現力、創造力の向上を図る。	
OATATO 2	理科教育学研究II	3	3.0	2	通年	応談		山本 容子, 遠藤 優介, 坂本 瑞樹, 矢花 一浩, 石塚 成人, 野村 晋太郎, 森 正夫, 森下 将史, 佐藤 智生, 長友 重紀, 藤田 健志, 橋本 哲男, 野村 港二, 中山 剛, 澤村 京一, 出川 洋介, 八畑 謙介, 横井 智之, 角 替 敏昭, 上松 佐知子, 藤野 滋弘, 興野 純	理科教育の各専門領域に関する研究方法・教育方法を習得させると共に、理科教育の観点からの修士論文作成の指導を行う。具体的な授業内容は、修士論文作成に関するスケジュールの確認、研究倫理と情報倫理、年間研究計画の確認と見直し、修士論文における図・表・引用文献リストの作成方法、章立ての検討、各章(研究背景、研究目的、研究方法、研究結果など)の執筆および推敲である。この授業により、知識と理解力、企画力、問題解決能力、表現力、創造力の向上を図る。	14条対応
OATATO 3	理科教育学研究III	3	3.0	2	通年	応談		山本 容子, 遠藤 優介, 坂本 瑞樹, 矢花 一浩, 石塚 成人, 野村 晋太郎, 森 正夫, 森下 将史, 佐藤 智生, 長友 重紀, 藤田 健志, 橋本 哲男, 野村 港二, 中山 剛, 澤村 京一, 出川 洋介, 八畑 謙介, 横井 智之, 角 替 敏昭, 上松 佐知子, 藤野 滋弘, 興野 純	各自の問題意識に基づく研究課題について調査・分析を行った結果の発表や討論により、研究内容の問題点を先鋭化し、より理解を深めた考察を行い、内容の整理を行うとともに、他者の研究についても議論に参加する	14条対応

専門科目(国際教育サブプログラム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
------	-----	------	-----	--------	------	-----	----	------	------	----

OATAXO 1	国際教育学研究I	2	3.0	1	通年	応談	濱田 博文, 藤田 晃之, 佐藤 博志, 田中 正弘, タス タンベコワ クア ニシ, 川口 純, 菊 地 かおり	国際教育学に関する理論枠組みと研究方法を修得し、研究計画を定めることを目標とする。そのために、国際教育学に関する研究を展開する上での、基礎的な理論と方法を学ぶ。授業では、先行研究の整理及び研究方法について概説するとともに、教育の国際化・グローバル化、国際機関(ユネスコ)やOECD、国際バカロレア教育に関する文献の講読を行い、国際教育学研究における理論枠組みを検討する。これらの知見に基づき、各自の研究計画を発表し、フィードバックを得る。	
OATAXO 2	国際教育学研究II	2	3.0	2	通年	応談	濱田 博文, 藤田 晃之, 佐藤 博志, 田中 正弘, タス タンベコワ クア ニシ, 川口 純, 菊 地 かおり	国際教育学に関する研究の展開を通して、専門的な知識と汎用的なスキルを身につけることを目標とする。国際教育学に関する専門的な知識を修得し、データの収集・分析を進める。授業では、教育の国際比較研究、学校改革と教師の専門性、キャリア教育・シティズンシップ教育、国際教育協力に関する文献の講読を行い、国際教育学研究における分析枠組みを検討する。これらの知見に基づき、各自の研究の進捗状況を発表し、フィードバックを得ることによって研究の質を向上させる。	14条対応
OATAXO 3	国際教育学研究III	2	3.0	2	通年	応談	濱田 博文, 藤田 晃之, 佐藤 博志, 田中 正弘, タス タンベコワ クア ニシ, 川口 純, 菊 地 かおり	国際教育学に関する専門的な知識と汎用的なスキルをもとに、研究成果の発信方法とその応用可能性を検討し、教育政策・実践への提言を行うことを目標とする。国際教育学に関する専門的な知識に基づき、データの分析・解釈を進める。授業では、国際教育に関連する文献を手がかりとして、データの分析及び解釈の妥当性について検討を行う。また、各自の研究成果を発表し、フィードバックを得ることによって研究成果の発信方法とその応用可能性を検討する。	14条対応
OATAXO 4	International Baccalaureate Education Graduate Seminar I	2	3.0	1	通年	応談	濱田 博文, 藤田 晃之, 佐藤 博志, 田中 正弘, タス タンベコワ クア ニシ, 川口 純, 菊 地 かおり	国際バカロレア教育を中心とした教育に関する理論枠組みと研究方法を修得し、研究計画を定めることを目標とする。そのために、国際バカロレア教育を中心とした教育研究を展開する上での、基礎的な理論と方法を学ぶ。授業では、先行研究の整理及び研究方法について概説するとともに、教育の国際化・グローバル化、国際バカロレア教育の教授法・カリキュラム・アセスメントに関する文献の講読を行い、国際バカロレア教育研究における理論枠組みを検討する。これらの知見に基づき、各自の研究計画を発表し、フィードバックを得る。	This is a required course and is aligned with the learning outcomes associated with the IB educator certificate. 英語で授業。
OATAXO 5	International Baccalaureate Education Graduate Seminar II	2	3.0	2	通年	応談	濱田 博文, 藤田 晃之, 佐藤 博志, 田中 正弘, タス タンベコワ クア ニシ, 川口 純, 菊 地 かおり	国際バカロレア教育を中心とした教育研究の展開を通して、専門的な知識と汎用的なスキルを身につけることを目標とする。国際バカロレア教育に関する専門的な知識を修得し、データの収集・分析を進める。授業では、国際バカロレア教育の国際比較研究、ディプロマ・プログラム(DP)、中等教育プログラム(MYP)、初等教育プログラム(PYP)、概念学習、探究学習に関する文献の講読を行い、国際バカロレア教育研究における分析枠組みを検討する。これらの知見に基づき、各自の研究の進捗状況を発表し、フィードバックを得ることによって研究の質を向上させる。	This is a required course and is aligned with the learning outcomes associated with the IB educator certificate. 英語で授業。 14条対応

OATAXO 6	International Baccalaureate Education Graduate Seminar III	2	3.0	2	通年	応談	濱田 博文, 藤田 晃之, 佐藤 博志, 田中 正弘, タス タンベコワ クア ニシ, 川口 純, 菊 地 かおり	国際バカロレア教育に関する専門的な知識と汎 用的なスキルをもとに、研究成果の発信方法と その応用可能性を検討し、教育政策・実践への 提言を行うことを目標とする。国際バカロレア 教育に関する専門的な知識に基づき、データの 分析・解釈を進める。授業では、国際バカロレ ア教育に関連する文献を手がかりとして、デー タの分析及び解釈の妥当性について検討を行 う。また、各自の研究成果を発表し、フィード バックを得ることによって研究成果の発信方法 とその応用可能性を検討する。	This is a required course and is aligned with the learning outcomes associated with the IB educator certificate. 英語で授業。 14条対応
-------------	---	---	-----	---	----	----	--	---	---

外国人教員研修留学生カリキュラム

教員研修留学生プログラムは、海外の初等・中等教育機関の現職教員及び教育関係機関の専門職員等を対象として日本の教員養成系大学で研修を行うものである。教育経営・教育方法及び専門教科等に関する研究を行い、以て本国での教育水準の向上に役立つ人材の育成に寄与することを目的とする。加えて日本の教育現場に触れる機会を研修プログラムに幅広く取り入れ、日本の社会及び教育に対する理解を促進することを旨とする。

研修期間は10月から翌年3月までの1年半である。渡日後、10月から翌年の3月まで本学留学生センターにおいて日本語予備教育を受講し、その後1年間の研究指導を受ける。

教員研修留学生には下記の科目が開設されている。各開設科目を履修し、ファイナルレポートを提出した者に修了証書が交付される。

第1期：10月から翌年3月、第2期：4月から9月、第3期：10月から翌年3月

授 業 科 目	実 施 期 間	曜 時 限 教 室	担 当 教 員	授 業 概 要	備 考
日 本 語 予 備 教 育	1 期		留学生センター 教員	留学生センターでの日本語予備教育	
Education Administration and management in Japan	2 期	金5 A426	上田孝典 (担当教員)	This course will outline education administration and management in Japan.	英語で実施
Schools and educational practices in Japan	"	火3 A426	久保園梓 (担当特任研究員)	This course will outline school and lesson in Japan.	英語で実施
Education in Japan: Principles Policies and Practice I	"	月4 8B204	川口 純 菊地 かおり	This course will outline education policy and practice in Japan.	英語で実施 国際教育SP の授業
Education in Japan: Principles Policies and Practice II	"	集中 8B209	藤田 晃之 佐藤 博志 川口 純	This course will outline education policy and practice in Japan.	英語で実施 国際教育SP の授業
ファイナルレポート演習Ⅰ	"	火4 A426	久保園梓 (担当特任研究員)	研究課題に関わる基礎的な文献購読と中間発表	
ファイナルレポート演習Ⅱ	"		関係指導教員	研究課題に関わる専門的な文献購読と調査指導	
ファイナルレポート演習Ⅲ	3 期		関係指導教員	研究課題に基づくファイナルレポートの作成	
グ ロー バ ル 化 と 教 育	"	金3・4	菊地 かおり	グローバル化の教育に影響を与える社会・政治理 論について検討する。	国際教育SP の授業
特 別 講 演	"	8B304	学 内 外 の 講 師	特別講師による専門領域についての講演	

この他に実地研修として以下のものがある。

- ・学校訪問と国際文化交流（附属学校、近隣の公立学校等）
- ・各種教育関係の施設見学（文部科学省、国立国会図書館等）
- ・日本文化体験（茶道体験、研修旅行等）

履修方法・修了要件

教育学学位プログラム全体

教育基礎科学 SP

次世代 SP

国際教育 SP

達成度評価について

履修方法・修了要件

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 博士前期課程

教育学学位プログラム (M)

科目区分	科目群等	条件又は科目名等	修得単位数
基礎科目	学術院共通専門基盤科目	教育学理論研究 (注1) 次世代教育開発研究 (注1) Theory of International Education	3
専門基礎科目	教育学関連科目	選択必修 (注2)	18
専門科目	教育学関連科目	選択必修 (注2)	9
修了単位数			30

(修了要件)

2年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については1年以上在学すれば足りるものとする。

(注1) 国際教育サブプログラムへの入学者のうち、事前に国際教育サブプログラムの教育会議の承認を得た者については、「教育学理論研究」及び「次世代教育開発研究」の代わりに、下記の科目を履修することができる。

・ Education in Japan: Principles Policies and Practice II (2単位)

(注2) 専門基礎科目及び専門科目については、別紙のとおり、サブプログラム(次世代学校教育創成サブプログラムにおいてはサブプログラム内の領域)ごとに定められた履修方法に基づいて履修すること。

(注3) 社会人特別選抜試験によって入学した者のうち、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の適用を希望する者は、1年次で昼間に開設される科目により24単位以上、2年次で夜間等に開設される科目(14条対応の科目)により6単位以上を修得するものとする。なお、上記特例の適用を受けようとする者は、当該年度当初に、指導教員とプログラムリーダーに履修計画書を提出するものとする。

(注4) 有職者の履修については、特例的扱いによる場合がある。

(注5) 年度により開講しない科目もあるので、注意すること。

(注6) 教育職員免許状を取得しようとする者は、科目選択にあたって免許状取得に必要な単位数を満たすよう考慮すること。

専門基礎科目・専門科目の履修方法

<教育基礎科学サブプログラム>

- (1) 他の学位プログラム等の科目について、サブプログラムの教育会議において教育上有益と認められたものに限り、修得した単位を専門基礎科目として認定することができる。ただし、人間総合科学研究群内の科目は10単位、他の研究群の開設科目、学術院共通専門基盤科目及び大学院共通科目は6単位を上限とする。
- (2) 専門科目については、次のいずれかの科目群を履修すること。
 - ・教育学研究Ⅰ～Ⅲ
 - ・国語教育学研究Ⅰ～Ⅲ
 - ・地理教育学研究Ⅰ～Ⅲ
 - ・歴史教育学研究Ⅰ～Ⅲ
 - ・公民教育学研究Ⅰ～Ⅲ
 - ・数学教育学研究Ⅰ～Ⅲ
 - ・理科教育学研究Ⅰ～Ⅲ
 - ・英語教育学研究Ⅰ～Ⅲ

<次世代学校教育創成サブプログラム・学校教育領域>

- (1) 専門基礎科目については、専門分野に応じて、以下の科目群から12単位以上を履修すること。
 - [スクールリーダーシップ開発分野]
 - 科目番号0ATAB01～0ATAB16
 - [英語教育分野]
 - 科目番号0ATAH01～0ATAH04を必修とし、0ATAB01～0ATAB16から4単位以上履修
 - [芸術科教育分野]
 - 科目番号0ATAJ01～0ATAJ08を必修とし、0ATAB01～0ATAB16から4単位以上履修
 - [保健体育教育分野]
 - 科目番号0ATAK01～0ATAK06を必修とし、0ATAB01～0ATAB16から4単位以上履修
- (2) 他の学位プログラム等の科目について、領域会議において教育上有益と認められたものに関し、修得した単位を専門基礎科目として認定することができる。ただし、人間総合科学研究群内の科目は10単位、他の研究群の開設科目、学術院共通専門基盤科目及び大学院共通科目は6単位を上限とする。
- (3) 専門科目については、受験時に希望した専門分野にもとづいて、次の科目群を履修すること。
 - ・次世代教育研究Ⅰ～Ⅲ
 - ・英語教育学研究Ⅰ～Ⅲ
 - ・芸術科教育学研究Ⅰ～Ⅲ
 - ・保健体育教育学研究Ⅰ～Ⅲ

<次世代学校教育創成サブプログラム・国語教育領域>

- (1) 専門基礎科目については、科目番号0ATAD01～0ATAD08の科目の中から4単位以上を履修すること。
- (2) 他の学位プログラム等の科目について、領域会議において教育上有益と認められたものに関し、修得した単位を専門基礎科目として認定することができる。ただし、人間総合科学研究群内の科目は10単位、他の研究群の開設科目、学術院共通専門基盤科目及び大学院共通科目、学群の授業科目は6単位を上限とする。
- (3) 専門科目については、次の科目群を履修すること。
 - ・国語教育学研究Ⅰ～Ⅲ

<次世代学校教育創成サブプログラム・社会科教育領域>

- (1) 専門基礎科目については、科目番号0ATAE02～0ATAE05の科目を履修すること。
- (2) 他の学位プログラム等の科目について、領域会議において教育上有益と認められたものに関し、修得した単位を専門基礎科目として認定することができる。ただし、人間総合科学研究群内の科目は10単位、他の研究群の開設科目、学術院共通専門基盤科目及び大学院共通科目は6単位を上限とする。
- (3) 専門科目については、次のa)～c)の科目群のいずれかを履修すること。
 - a) 地理教育学研究Ⅰ～Ⅲ
 - b) 歴史教育学研究Ⅰ～Ⅲ
 - c) 公民教育学研究Ⅰ～Ⅲ

<次世代学校教育創成サブプログラム・数学教育領域>

- (1) 専門基礎科目については、科目番号0ATAF01～0ATAF15の科目の中から6単位以上、かつ0ATAF16～0ATAF21の科目の中から6単位以上を履修すること。
- (2) 他の学位プログラム等の科目について、領域会議において教育上有益と認められたものに限り、修得した単位を専門基礎科目として認定することができる。ただし、人間総合科学研究群内の科目は10単位、他の研究群の開設科目、大学院共通専門基盤科目及び大学院共通科目は6単位を上限とする。
- (3) 専門科目については、次の科目群を履修すること。
 - ・数学教育学研究Ⅰ～Ⅲ

<次世代学校教育創成サブプログラム・理科教育領域>

- (1) 専門基礎科目については、科目番号0ATAG01、0ATAG02、0ATAG14、0ATAG15の科目を履修し、0ATAG03～0ATAG13及び0ATAG16～0ATAG27の科目の中から6単位以上を履修すること。
- (2) 他の学位プログラムにて修得した単位、及び、大学院共通専門基盤科目または大学院共通科目から修得した単位は、領域会議において教育上有益と認められたものに限り、6単位を上限に専門基礎科目として認定することができる。担任または指導教員を通じて申請する。履修前の申請が望ましい。
- (3) 専門科目については、次の科目群を履修すること。
 - ・理科教育学研究Ⅰ～Ⅲ

<国際教育サブプログラム>

- (1) 専門基礎科目については、科目番号OATAL01～OATAL03の科目を履修すること。
 - (2) 専門基礎科目については、他の学位プログラム等の大学院レベルの科目（人間総合科学研究群内の他の学位プログラム及び他研究群の開設科目、学術院共通専門基盤科目、大学院共通科目）を履修してもよい。ただしこの場合、振り替えが認められるのは6単位までとする。
 - (3) 専門科目については、a) またはb) の科目群を履修すること。
 - a) 国際教育学研究Ⅰ～Ⅲ
 - b) International Baccalaureate Education Graduate SeminarⅠ～Ⅲ
- 注) 国際バカロレア教員資格（IB educator certificates）を取得しようとする者は、科目選択にあたってIB教員資格及び免許状取得に必要な単位数を満たすよう考慮すること。

達成度評価について

筑波大学の学位プログラムでは学生が修了時に身につけるべき知識・能力等を「コンピテンス」として設定しています。教育学学位プログラムでは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力として以下の9項目を掲げています。

表. ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力

ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力	評価の観点	対応する主な学修
1. 知の活用力: 高度な知識を社会に役立てる能力	① 研究等を通じて知を社会に役立てた(または役立てようとしている)か ② 幅広い知識に基づいて、専門分野以外でも問題を発見することができるか	Theory of International Education 次世代教育開発研究 教育学理論研究 国語科リテラシー教育論 a
2. マネジメント能力: 広い視野に立ち課題に的確に対応する能力	① 大きな課題に対して計画的に対応することができるか ② 複数の視点から問題を捉え、解決する能力はあるか	Theory of International Education 次世代教育開発研究 教育学理論研究 学校経営学特講
3. コミュニケーション能力: 専門知識を的確に分かりやすく伝える能力	① 研究等を円滑に実施するために必要なコミュニケーションを十分に行うことができるか ② 研究内容や専門知識について、その分野だけでなく異分野の人にも的確かつわかりやすく説明することができるか	Theory of International Education 次世代教育開発研究 教育学理論研究 教育学研究 II
4. チームワーク力: チームとして協働し積極的に目標の達成に寄与する能力	① チームとして協働し積極的に課題に取り組んだ経験はあるか ② 自分の研究以外のプロジェクト等の推進に何らかの貢献をしたか	Theory of International Education 次世代教育開発研究 教育学理論研究
5. 国際性: 国際社会に貢献する意識	① 国際社会への貢献や国際的な活動に対する意識があるか ② 国際的な情報収集や行動に必要な語学力を有するか	Theory of International Education 次世代教育開発研究 教育学理論研究 Education and an Interconnected World
6. 教育課題発見能力: 教育の本質的意義を体系的に理解した上で、グローバルな現代の教育課題を捉える力	① 先行研究を適切に踏まえた研究課題の設定ができるか ② グローバルな視野から現代の教育課題を指摘できるか	Theory of International Education 次世代教育開発研究 教育学理論研究 教育学研究 I
7. 教育内容探究能力: 多種多様な教育現場における教育内容を探究する能力	① 教育行政機関や学校などの具体的な教育現場における教育内容を、適切な方法で探究できるか ② 探究した教育内容の、教育学的な価値を説明できるか	Theory of International Education 次世代教育開発研究 教育学理論研究 社会日本語論 I a
8. 教育学的分析能力: 教育諸分野の学術的アプローチを用いて分析する基礎的研究能力	① 研究課題に対して適切な研究方法の選択ができるか ② 教育学に関する倫理的側面に十分な注意を向けて研究を進められるか	Theory of International Education 次世代教育開発研究 教育学理論研究 教育学研究 II 教学研究研究方法論 Research Design and Methods
9. 教育課題解決能力: 教育諸分野の学術的アプローチを用いて分析する基礎的研究能力	① 教育行政機関や学校などの具体的な教育現場を想定し、適切かつ卓越した専門的知識を用いて課題を解決できるか ② 集団による教育課題解決においてリーダーシップを取るために必要な専門知識を理解できるか	Theory of International Education 次世代教育開発研究 教育学理論研究 教育学研究 I ~ III

教育学学位プログラムでは、在学期間中に2回以上(1学年目の終了時や修士論文提出時など)、コンピテンスに基づいた達成度評価を行います。年度の途中で実施する「達成度評価(自己評価)説明会」で配布する「達成度自己評価シート」により、達成度の自己評価を行い、全ての「コンピテンス」を満遍なく満たすように、必要に応じて履修計画、学修の方向性の変更などを検討して下さい。教育学学位プログラムでは、学会発表やTA・インターンシップ経験などの、授業以外の活動についても、積極的に評価します。

各種資格の取得について

教育職員免許状の取得について

教員免許取得に係る科目一覧（初等・教育学学位 P）

学校心理士資格について

2 教育職員免許状の取得について

学校教育法に定める小学校、中学校、高等学校、中等教育学校(中高6年一貫教育校)、特別支援学校及び幼稚園の教諭、養護教諭、栄養教諭等になろうとする者は、教育職員免許法(以下「免許法」という)に基づく教育職員免許状(以下「免許状」という)を有する者でなければなりません。免許状は、免許法の定める資格要件を満たしたのち、各都道府県教育委員会に申請することにより、授与されるものです。

(1) 免許状の種類等

本学大学院において取得できる免許状の種類は**専修免許状**であり、一種免許状(特別支援学校教諭を除く)は取得できません。免許状の種類と資格は**別表1**、各学術院・研究群で取得できる免許状の種類及び教科は**別表2**のとおりです。

なお、他学術院・研究群で取得できる免許状の種類及び教科であっても、当該学術院・研究群の免許状取得に必要な所定の単位数を修得し、資格要件を充たした場合は取得可能です。

(2) 専修免許状取得のための資格要件

専修免許状を取得するには、当該教科等の一種免許状を有していること、あるいは当該教科等の一種免許状の資格要件を満たしていることが必要であり、これらに加えて、基礎資格として※1修士の学位を有すること及び所定の単位数を修得の上、各都道府県所定の申請(免許法第5条申請)を行うことにより、免許状を取得することができます。

専修免許状取得に必要な単位数

- | | | |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ①小学校教諭専修免許状 ②中学校教諭専修免許状 ③高等学校教諭専修免許状 ④養護教諭専修免許状 ⑤栄養教諭専修免許状 | } | <p>……………※2「大学が独自に設定する科目」を24単位以上</p> <p>……………※3「特別支援教育に関する科目」を24単位以上</p> |
|--|---|---|

※1の修士の学位を有することには、当該学術院・研究群において、1年以上在学し、専修免許状取得に必要な単位数24単位以上を含めて30単位以上(修了要件以外の単位を含む)を修得した学位取得見込者を含みます。

※2の「大学が独自に設定する科目」を24単位以上の「24単位」とは、別表1「免許状の種類と資格」の大学における最低修得単位の「大学が独自に設定する科目」欄の専修免許状の最低修得単位数から同欄の一種免許状の最低修得単位数を差し引いた単位数を示します。

※3も同様に「特別支援教育に関する科目」欄の専修免許状の最低修得単位数(50単位)から同欄の一種免許状の最低修得単位数を差し引いた単位数を示します。

一種免許状を有していない場合は、その資格要件を満たすことが必要であり、希望する免許状が取得できる大学学部等の科目等履修生等において、免許状取得に必要な所定の単位等を修得してください。(本学学群の科目等履修生に在籍して修得することも可能ですが、免許状の種類や教科によっては、履修できない場合があります)

一種免許状の取得を希望する者は、一種免許状の資格要件を満たした後、個人申請により取得してください。(次項の「(4) 免許状取得のための申請 ○個人申請」を参照)

なお、一種免許状の資格要件を満たしている場合は、一種免許状を有していなくとも、専修免許状の資格要件を満たすことにより、専修免許状は取得できます。ただし、専修免許の一括申請時(11月頃)に一種の全ての単位等が修得できていることが条件です。

また、特別支援学校教諭一種免許状は、人間総合科学学術院障害科学学位プログラムで開設されている科目から、必要な所定の単位を修得することにより取得可能です。

現職教員については、教職歴によっては軽減措置がとられる場合(免許法第6条申請)がありますので、必要な単位数等について、申請する各都道府県教育委員会に確認してください。

(3) 大学が独自に設定する科目

本学大学院における「大学が独自に設定する科目」は、別表3のとおりです。

また、これらの科目は、免許状取得のための単位であると同時に、修了に必要な単位として数えることができます。(他学術院・研究群の科目の扱いについて、所属の研究群にお問合せください)

(4) 免許状取得のための申請

免許状を取得するための申請は、大学が申請者に代わって茨城県教育委員会に申請する「一括申請」と、個人がそれぞれの居住する都道府県教育委員会に申請する「個人申請」があります。

○一括申請

本学修士課程・博士前期課程における3月末修了予定者及び一貫制博士課程で3月末の学位記授与式において修士の学位を取得し3末日退学予定者に限り、学位記授与式に免許状を交付できるよう配慮した申請方法として、申請者に代わって本学が関係書類を一括して茨城県教育委員会に申請するものです。

なお、現職教員についても、学位記授与式後4月までに免許が必要であるなど、特別な事情がある場合は、申請することが出来ますので、所属の支援室大学院教務担当で確認してください。

一括申請希望者は、必要書類を所定の期間(例年11月頃)に提出しなければなりません。詳細については掲示により周知しますので、見落としのないよう注意してください。

また、一括申請の対象となるのは、本学大学院において認定を受けている免許状の種類及び教科(別表2参照)のみです。例えば中学校教諭一種免許状等については対象となりませんので、個人申請により取得してください。

○個人申請

大学院修士課程及び博士前期課程修了時に上記一括申請を行わなかった者、一貫制博士課程の在學生、修了生及び免許状の不足単位を大学院科目等履修生などで修得する者は、個人申請により免許を取得してください。

個人申請の申請先は、居住地の各都道府県教育委員会になるので、申請の方法や申請書類を確認上、各自で申請してください。

茨城県に申請する場合……………茨城県教育庁学校教育部特別支援教育課教員免許担当

〒310-8588 茨城県水戸市笠原町 978-6 ☎029-301-5274

個人申請を行う場合に必要「学力に関する証明書」(別紙2の免許状の種類と教科に限る)は、学位記授与式後、本人の申請により各支援室(大学院教務担当)において交付を受けてください。

(5) 博士後期課程での教員免許状の取得について

博士後期課程では、文部科学省の教職課程認定を受けていないため、専修免許状を取得することはできません。専修免許状の取得を希望する者は、博士前期課程の科目等履修生として別表3に掲げる科目を修得し、個人申請により取得してください。

なお、専修免許状を取得するには、一種免許状を有していること又は一種免許状の資格要件を満たしていること、及び修士の学位を取得(1年以上在学し、30単位以上取得した学位取得見込者を含む)していることが必要です。

別表 1 免許状の種類及び資格

免許状の種類		所要資格	基礎資格	大学における最低修得単位数				
				教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目
小学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。		30	10	10	7	26
	一種免許状	学士の学位を有すること。		30	10	10	7	2
中学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。		28	10	10	5	28
	一種免許状	学士の学位を有すること。		28	10	10	5	4
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること。		12	6	6	5	4
高等教学論校	専修免許状	修士の学位を有すること。		24	10	8	5	36
	一種免許状	学士の学位を有すること。		24	10	8	5	12
特別支援学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること及び小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。					50	
	一種免許状	学士の学位を有すること及び小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。					26	
	二種免許状	小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。					16	

免許状の種類		所要資格	基礎資格	大学における最低修得単位数				
				養護に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目
養護教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。		28	8	6	7	31
	一種免許状	イ 学士の学位を有すること。		28	8	6	7	7
		ロ 保健師助産師看護師法第7条の規定により保健師の免許を受け、文部科学大臣の指定する養護教諭養成機関に半年以上在学すること。		3	2		2	
		ハ 保健師助産師看護師法第7条の規定により看護師の免許を受け、文部科学大臣の指定する養護教諭養成機関に1年以上在学すること。		6	2		2	
二種免許状	イ 短期大学士の学位を有すること又は文部科学大臣の指定する養護教諭養成機関を卒業すること。		24	5	3	6	4	
	ロ 保健師助産師看護師法第7条の規定により保健師の免許を受けていること。							
	ハ 保健師助産師看護師法第51条第1項の規定に該当すること又は同条第3項の規定により免許を受けていること。							

免許状の種類		所要資格	基礎資格	大学における最低修得単位数				
				栄養に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目
栄養教諭	専修免許状	修士の学位を有すること及び栄養士法第2条第3項の規定により管理栄養士の免許を受けていること。		4	8	6	4	24
	一種免許状	学士の学位を有すること、かつ、栄養士法第2条第3項の規定により管理栄養士の免許を受けていること又は同法第5条の3第4号の規定により指定された管理栄養士養成施設の課程を修了し、同法第2条第1項の規定により栄養士の免許を受けていること。		4	8	6	4	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること及び栄養士法第2条第1項の規定により栄養士の免許を受けていること。		2	5	3	4	

(注)

1. 各表に示す最低修得単位数は、免許法に定める単位数を示す。

別表2 免許状の種類及び教科(令和2年度以降入学者用)

学院	研究群	免許状の種類	免許教科
人文社会ビジネス科学学術院	人文社会科学研究群	中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	国語 社会 地理歴史 公民 英語
		中学校教諭 専修免許状	
		高等学校教諭 専修免許状	
		高等学校教諭 専修免許状	
理工情報生命学術院	数理物質科学研究群	中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	数 学 理 科
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
	生命地球科学研究群	中学校教諭 専修免許状	社 会 地 理 歴 史 理 科 農 業
		高等学校教諭 専修免許状	
中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状
人間総合科学学術院	人間総合科学研究群	小学校教諭 専修免許状	国語 社会 地理歴史 公民 数 学 理 科 音 楽 美 術 工 芸 書 道 保健体育 保 健 看 護 技 術 家 庭 職 業 情 報 農 業 工 業 商 業 水 産 福 祉 商 船 職業指導 英 語 ドイツ語 フランス語 中国語 宗 教
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭 専修免許状	
		高等学校教諭 専修免許状	
		高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		中学校教諭, 高等学校教諭 専修免許状	
		養護教諭 専修免許状	
		栄養教諭 専修免許状	
		特別支援学校教諭 専修免許状, 一種免許状	

(9)人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 初等教育学コース

今年度開講しない科目もあるので注意すること。

免許種	区分	科目番号	授業科目	単位数	専修免許状 修得単位数
小学校教諭	教科及び 関する 科目の 指導法に	0ATAM01	初等国語特論A	1	24 単 位 以 上
		0ATAM02	初等国語特論B	1	
		0ATAM03	初等社会特講	1	
		0ATAM04	初等数学特講	1	
		0ATAM05	初等理科特講	1	
		0ATAM06	初等英語特講	1	
		0ATAM07	初等図画工作特講	1	
		0ATAM08	初等体育特講	1	
	教育の基礎的 理解に 関する 科目	0AS0101	教育学理論研究	1	
		0AS0102	次世代教育開発研究	1	
		0AS0103	Theory of International Education	1	
		0ATAB01	学校教育論	2	
		0ATAB02	学校心理学	2	
		0ATAB03	スクールリーダーシップ論	2	
		0ATAB04	青年の発達	2	
		0ATAB05	国際・多文化教育論	2	
		0ATAB06	生涯学習論	2	
		0ATAB11	学校の社会学	2	
		0ATAB07	道徳と人権	2	
		0ATAB12	学校安全と危機管理	2	
		0ATAB13	学校経営事例研究	2	
		0ATAB15	学習と学級の心理	2	
		0ATAB16	学校臨床心理	2	
		0ATAA01	日本教育史特講	2	
		0ATAA02	日本教育史演習	2	
		0ATAA03	教育哲学特講	2	
		0ATAA04	教育哲学演習	2	
		0ATAA05	生涯学習・社会教育学特講	2	
		0ATAA06	生涯学習・社会教育学演習	2	
		0ATAA07	教育制度学特講	2	
		0ATAA08	教育制度学演習	2	
		0ATAA09	学校経営学特講	2	
		0ATAA10	学校経営学演習	2	
		0ATAA11	比較・国際教育学特講	2	
		0ATAA12	比較・国際教育学演習	2	
		0ATAA15	カリキュラム論特講	2	
		0ATAA16	カリキュラム論演習	2	
		0ATAA21	教育社会学特講	2	
		0ATAA22	教育社会学演習	2	
		0ATAL01	Education and an Interconnected World	2	
	0ATAL02	Research Methodology	1		
	0ATAL03	Research Design and Methods	2		
	0ATAL04	Pedagogy for a Changing World I	2		

免許種	区分	科目番号	授業科目	単位数	専修免許状 修得単位数
小学校教諭	教育の基礎的 理解に 関する 科目	0ATAL05	Pedagogy for a Changing World II	2	24 単 位 以 上
		0ATAL06	Assessment for Learning I	2	
		0ATAL07	Assessment for Learning II	2	
		0ATAL08	Curriculum as Process I	2	
		0ATAL09	Curriculum as Process II	2	
		0ATAL10	The IB Primary Years Programme	2	
		0ATAL11	The IB Middle Years Programme	2	
		0ATAL12	The IB Diploma Programme	2	
		0ATAL13	Professional Learning and Reflective Practice	1	
		0ATAL14	Field Research	1	
		0ATAL15	国際理解教育論	2	
		0ATAL16	グローバル化と教育	2	
		0ATAL17	国際教育開発論	2	
		0ATAL18	国際教育協力論	2	
		0ATAL19	教員養成の国際比較	2	
		0ATAL20	Education in Japan: Principles Policies and Practice I	1	
		0ATAL21	Education in Japan: Principles Policies and Practice II	2	
		0ATAN01	教育学研究 I	3	
		0ATAN02	教育学研究 II	3	
		0ATAN03	教育学研究 III	3	
	0ATAP01	次世代教育研究 I	3		
	0ATAP02	次世代教育研究 II	3		
	0ATAP03	次世代教育研究 III	3		
	0ATAX01	国際教育学研究 I	3		
	0ATAX02	国際教育学研究 II	3		
	0ATAX03	国際教育学研究 III	3		
	0ATAX04	International Baccalaureate Education Graduate Seminar I	3		
	0ATAX05	International Baccalaureate Education Graduate Seminar II	3		
	0ATAX06	International Baccalaureate Education Graduate Seminar III	3		
	道徳、 生徒、 徒総合 指導的 、な 学習 相に 時に 関等 すの 指導 目法 及び	0ATAB08	心理教育的アセスメント	2	
		0ATAB09	スクールカウンセリング実習I	2	
		0ATAB10	スクールカウンセリング実習II	2	
0ATAA17		教育方法学特講	2		
0ATAA18		教育方法学演習	2		
0ATAB14		学習指導と授業	2		
0ATAC01		教育臨床学特講	2		
0ATAC02		教育臨床学演習	2		
0ATAA25		特別活動学特講	2		
0ATAA26		特別活動学演習	2		
0ATAA19		キャリア教育学特講	2		
0ATAA20		キャリア教育学演習	2		

右段へ続く

免許 教科	区分	科目番号	授 業 科 目	単位数	専修免許状 修得単位数
地	教科及び教科の指導法に関する科目	0ATAE01	社会科教育学特講	2	24 単 位 以 上
		0ATAE02	社会科教育学内容論(地理歴史)	3	
		0ATAE04	社会科教育学実践論(地理歴史)	3	
		0ATAE06	地理教育特講 I	1	
		0ATAE07	地理教育特講 II	1	
		0ATAE08	地理教育特講 III	1	
		0ATAE09	地理教育演習 I	1	
		0ATAE10	地理教育演習 II	1	
		0ATAE11	地理教育演習 III	1	
		0ATAE12	歴史教育特講 I	1	
		0ATAE13	歴史教育特講 II	1	
		0ATAE14	歴史教育特講 III	1	
		0ATAE15	歴史教育演習 I	1	
		0ATAE16	歴史教育演習 II	1	
		0ATAE17	歴史教育演習 III	1	
		0ATAE18	歴史教育学特講	2	
		0ATAE25	人文地理学特講 I	1	
		0ATAE26	人文地理学特講 II	1	
		0ATAE27	人文地理学演習 I	1	
		0ATAE28	人文地理学演習 II	1	
		0ATAE29	自然地理学特講 I	1	
		0ATAE30	自然地理学特講 II	1	
		0ATAE31	自然地理学演習 I	1	
		0ATAE32	自然地理学演習 II	1	
		0ATAE33	地理学野外実験	3	
		0ATAE34	日本史特講 I	1	
		0ATAE35	日本史特講 II	1	
		0ATAE36	日本史演習 I	1	
		0ATAE37	日本史演習 II	1	
		0ATAE38	民俗学実習	3	
		0ATAE39	考古学特講 I	1	
		0ATAE40	考古学特講 II	1	
		0ATAE41	考古学演習 I	1	
0ATAE42	考古学演習 II	1			
0ATAE43	考古学実習	3			
理	教科及び教科の指導法に関する科目	0ATAR01	地理教育学研究 I	3	
		0ATAR02	地理教育学研究 II	3	
		0ATAR03	地理教育学研究 III	3	
		0ATAR04	歴史教育学研究 I	3	
		0ATAR05	歴史教育学研究 II	3	
		0ATAR06	歴史教育学研究 III	3	
史	教科及び教科の指導法に関する科目	※教育の基礎的理解に関する科目および道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目(後段参照)			

免許 教科	区分	科目番号	授 業 科 目	単位数	専修免許状 修得単位数
公 民	教科及び教科の指導法に関する科目	0ATAE03	社会科教育学内容論(公民)	3	24 単 位 以 上
		0ATAE05	社会科教育学実践論(公民)	3	
		0ATAE19	公民教育特講 I	1	
		0ATAE20	公民教育特講 II	1	
		0ATAE21	公民教育特講 III	1	
		0ATAE22	公民教育演習 I	1	
		0ATAE23	公民教育演習 II	1	
		0ATAE24	公民教育演習 III	1	
		0ATAE44	社会学特講 I	1	
		0ATAE45	社会学特講 II	1	
		0ATAE46	社会学演習 I	1	
		0ATAE47	社会学演習 II	1	
		0ATAE48	政治学特講 I	1	
		0ATAE49	政治学特講 II	1	
		0ATAE50	政治学演習 I	1	
		0ATAE51	政治学演習 II	1	
		0ATAE52	経済学特講 I	1	
		0ATAE53	経済学特講 II	1	
		0ATAE54	経済学演習 I	1	
		0ATAE55	経済学演習 II	1	
		0ATAE56	法学特講 I	1	
		0ATAE57	法学特講 II	1	
		0ATAE58	法学演習 I	1	
		0ATAE59	法学演習 II	1	
		0ATAE60	哲学特講 I	1	
		0ATAE61	哲学特講 II	1	
		0ATAE62	哲学演習 I	1	
		0ATAE63	哲学演習 II	1	
		0ATAE64	倫理学特講 I	1	
		0ATAE65	倫理学特講 II	1	
		0ATAE66	倫理学演習 I	1	
		0ATAE67	倫理学演習 II	1	
		0ATAR07	公民教育学研究 I	3	
0ATAR08	公民教育学研究 II	3			
0ATAR09	公民教育学研究 III	3			
※教育の基礎的理解に関する科目および道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目(後段参照)					

免許 教科	区分	科目番号	授 業 科 目	単位数	専修免許状 修得単位数
数 学	教科及び教科の指導法に関する科目	0ATAF01	基礎数理学A	1	24 単 位 以 上
		0ATAF02	基礎数理学B	1	
		0ATAF03	基礎数理学C	1	
		0ATAF04	総合数理学A	1	
		0ATAF05	総合数理学B	1	
		0ATAF06	総合数理学C	1	
		0ATAF07	現代数学基礎A	1	
		0ATAF08	現代数学基礎B	1	
		0ATAF09	現代数学基礎C	1	
		0ATAF10	現代数学特別研究A	1	
		0ATAF11	現代数学特別研究B	1	
		0ATAF12	現代数学特別研究C	1	
		0ATAF13	現代数学特別研究D	1	
		0ATAF14	現代数学特別研究E	1	
		0ATAF15	現代数学特別研究F	1	
		0ATAF16	数学教育研究方法論	2	
		0ATAF17	数学教育学習論	2	
		0ATAF18	数学教育カリキュラム論	2	
		0ATAF19	数学教育内容論	2	
		0ATAF20	数学教育実践論演習(代数・幾何)	2	
		0ATAF21	数学教育実践論演習(解析・確率統計・ICT利用)	2	
0ATAS01	数学教育学研究 I	3			
0ATAS02	数学教育学研究 II	3			
0ATAS03	数学教育学研究 III	3			
※教育の基礎的理解に関する科目および道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目(後段参照)					

免許 教科	区分	科目番号	授 業 科 目	単位数	専修免許状 修得単位数
理 科	教科及び教科の指導法に関する科目	0ATAG01	理科教育基礎論	2	24 単 位 以 上
		0ATAG02	理科教育学演習	2	
		0ATAG03	理科教育学習論	1	
		0ATAG04	理科教育研究方法論	1	
		0ATAG05	理科教育実践演習	1	
		0ATAG06	基礎物理学1	1	
		0ATAG07	基礎化学1	1	
		0ATAG08	基礎生物学1	1	
		0ATAG09	基礎地学1	1	
		0ATAG10	基礎物理学2	1	
		0ATAG11	基礎化学2	1	
		0ATAG12	基礎生物学2	1	
		0ATAG13	基礎地学2	1	
		0ATAG14	理科教育実験1	1	
		0ATAG15	理科教育実験2	1	
		0ATAG16	物理学教育実験	1	
		0ATAG17	化学教育実験	1	
		0ATAG18	生物学教育実験	1	
		0ATAG19	地学教育実験	1	
		0ATAG20	地学教育野外実験1	1	
		0ATAG21	地学教育野外実験2	1	
		0ATAG22	理科野外実習インターンシップ	1	
		0ATAG23	物理学特講	1	
		0ATAG24	化学特講	1	
		0ATAG25	生物学特講	1	
		0ATAG26	地学特講	1	
		0ATAG27	理科教育学特講	1	
		0ATAT01	理科教育学研究I□	3	
		0ATAT02	理科教育学研究II	3	
		0ATAT03	理科教育学研究III	3	
※教育の基礎的理解に関する科目および道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目(後段参照)					

免許 教科	区分	科目番号	授 業 科 目	単位数	専修免許状 修得単位数
英 語	教科及び教科の指導法に関する科目	0ATAH01	英語教育研究方法論	2	24 単 位 以 上
		0ATAH02	英語教育学習論	2	
		0ATAH03	英語教育内容論	2	
		0ATAH04	英語教育実践論	2	
		0ATAU01	英語教育学研究I	3	
		0ATAU02	英語教育学研究II	3	
		0ATAU03	英語教育学研究III	3	
※教育の基礎的理解に関する科目および道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目(後段参照)					

免許 教科	区分	科目番号	授 業 科 目	単位数	専修免許状 修得単位数
美 術	教科及び教科の指導法に関する科目	0ATAJ01	芸術科教育特講A	1	24 単 位 以 上
		0ATAJ02	芸術科教育特講B	1	
		0ATAJ03	芸術科教育実践論演習A	1	
		0ATAJ04	芸術科教育実践論演習B	1	
		0ATAJ05	芸術鑑賞論A-1	1	
		0ATAJ06	芸術鑑賞論A-2	1	
		0ATAJ07	芸術鑑賞論B-1	1	
		0ATAJ08	芸術鑑賞論B-2	1	
		0ATAV01	芸術科教育学研究 I	3	
		0ATAV02	芸術科教育学研究 II	3	
0ATAV03	芸術科教育学研究 III	3			
※教育の基礎的理解に関する科目および道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目(後段参照)					

免許 教科	区分	科目番号	授 業 科 目	単位数	専修免許状 修得単位数		
工 芸	教科及び教科の指導法に関する科目	0ATAJ01	芸術科教育特講A	1	24 単 位 以 上		
		0ATAJ02	芸術科教育特講B	1			
		0ATAJ03	芸術科教育実践論演習A	1			
		0ATAJ04	芸術科教育実践論演習B	1			
		0ATAJ05	芸術鑑賞論A-1	1			
		0ATAJ06	芸術鑑賞論A-2	1			
		0ATAJ07	芸術鑑賞論B-1	1			
		0ATAJ08	芸術鑑賞論B-2	1			
		0ATAV01	芸術科教育学研究 I	3			
		0ATAV02	芸術科教育学研究 II	3			
		0ATAV03	芸術科教育学研究 III	3			
			芸術学学位プログラムの「工芸」に関する科目				
		※教育の基礎的理解に関する科目および道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目(後段参照)					

免許 教科	区分	科目番号	授 業 科 目	単位数	専修免許状 修得単位数		
保 健 体 育 保 健	教科及び教科の指導法に関する科目	0ATAK01	保健体育教育内容論	3	24 単 位 以 上		
		0ATAK02	保健体育教育実践論演習 I	1			
		0ATAK03	保健体育教育実践論演習 II	1			
		0ATAK04	保健体育教育実践論演習 III	1			
		0ATAK05	保健体育カリキュラム論	1			
		0ATAK06	保健体育授業づくり論	1			
		0ATAW01	保健体育教育学研究 I	3			
		0ATAW02	保健体育教育学研究 II	3			
		0ATAW03	保健体育教育学研究 III	3			
			体育学学位プログラムの「保健体育」「保健」に関する科目				
		※教育の基礎的理解に関する科目および道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目(後段参照)					

免許 教科	区分	科目番号	授 業 科 目	単位数	専修免許状 修得単位数
情報・ 農業・ 工業・ 社会・ 地理・ 商業・ 歴史・ 水産・ 公民・ 福祉・ 数学・ 商船・ 理科・ 音楽・ 美術・ 英語・ 書道・ ドイツ語・ 保健体育・ 中国語・ 看護・ 家庭・ 養護・ 栄養	教育の基礎的理解に関する科目	0AS0101	教育学理論研究	1	24 単 位 以 上
		0AS0102	次世代教育開発研究	1	
		0AS0103	Theory of International Education	1	
		0ATAB01	学校教育論	2	
		0ATAB02	学校心理学	2	
		0ATAB03	スクールリーダーシップ論	2	
		0ATAB04	青年の発達	2	
		0ATAB05	国際・多文化教育論	2	
		0ATAB06	生涯学習論	2	
		0ATAB11	学校の社会学	2	
		0ATAB07	道徳と人権	2	
		0ATAB12	学校安全と危機管理	2	
		0ATAB13	学校経営事例研究	2	
		0ATAB15	学習と学級の心理	2	
		0ATAB16	学校臨床心理	2	
		0ATAA01	日本教育史特講	2	
		0ATAA02	日本教育史演習	2	
		0ATAA03	教育哲学特講	2	
		0ATAA04	教育哲学演習	2	
		0ATAA05	生涯学習・社会教育学特講	2	
		0ATAA06	生涯学習・社会教育学演習	2	
		0ATAA07	教育制度学特講	2	
		0ATAA08	教育制度学演習	2	
		0ATAA09	学校経営学特講	2	
		0ATAA10	学校経営学演習	2	
		0ATAA11	比較・国際教育学特講	2	
		0ATAA12	比較・国際教育学演習	2	
		0ATAA15	カリキュラム論特講	2	
		0ATAA16	カリキュラム論演習	2	
		0ATAA21	教育社会学特講	2	
0ATAA22	教育社会学演習	2			
0ATAL01	Education and an Interconnected World	2			
0ATAL02	Research Methodology	1			
0ATAL03	Research Design and Methods	2			
0ATAL04	Pedagogy for a Changing World I	2			
0ATAL05	Pedagogy for a Changing World II	2			
0ATAL06	Assessment for Learning I	2			
0ATAL07	Assessment for Learning II	2			
0ATAL08	Curriculum as Process I	2			
0ATAL09	Curriculum as Process II	2			

右段へ続く

免許 教科	区分	科目番号	授 業 科 目	単位数	専修免許状 修得単位数
情報・ 農業・ 工業・ 社会・ 地理・ 商業・ 歴史・ 水産・ 公民・ 福祉・ 数学・ 商船・ 理科・ 音楽・ 美術・ 英語・ 書道・ ドイツ語・ 保健体育・ 中国語・ 看護・ 家庭・ 養護・ 栄養	教育の基礎的理解に関する科目	0ATAL10	The IB Primary Years Programme	2	24 単 位 以 上
		0ATAL11	The IB Middle Years Programme	2	
		0ATAL12	The IB Diploma Programme	2	
		0ATAL13	Professional Learning and Reflective Practice	1	
		0ATAL14	Field Research	1	
		0ATAL15	国際理解教育論	2	
		0ATAL16	グローバル化と教育	2	
		0ATAL17	国際教育開発論	2	
		0ATAL18	国際教育協力論	2	
		0ATAL19	教員養成の国際比較	2	
		0ATAL20	Education in Japan: Principles Policies and Practice I	1	
		0ATAL21	Education in Japan: Principles Policies and Practice II	2	
		0ATAN01	教育学研究 I	3	
		0ATAN02	教育学研究 II	3	
		0ATAN03	教育学研究 III	3	
		0ATAP01	次世代教育研究 I	3	
		0ATAP02	次世代教育研究 II	3	
		0ATAP03	次世代教育研究 III	3	
		0ATAX01	国際教育学研究 I	3	
		0ATAX02	国際教育学研究 II	3	
		0ATAX03	国際教育学研究 III	3	
		0ATAX04	International Baccalaureate Education Graduate Seminar I	3	
		0ATAX05	International Baccalaureate Education Graduate Seminar II	3	
		0ATAX06	International Baccalaureate Education Graduate Seminar III	3	
		0ATAB08	心理教育的アセスメント	2	
		0ATAB09	スクールカウンセリング実習I	2	
0ATAB10	スクールカウンセリング実習II	2			
0ATAA17	教育方法学特講	2			
0ATAA18	教育方法学演習	2			
0ATAB14	学習指導と授業	2			
0ATAC01	教育臨床学特講	2			
0ATAC02	教育臨床学演習	2			
0ATAA25	特別活動学特講	2			
0ATAA26	特別活動学演習	2			
0ATAA19	* キャリア教育学特講	2			
0ATAA20	* キャリア教育学演習	2			

*の付された科目は、養護および栄養教諭免許取得には使用できない。

筑波大学大学院人間総合科学研究群/研究科「学校心理士」資格申請用 科目対応表 (R4 年度用)

令和4年4月6日

学校心理士指定科目	障害科学学位プログラム (単位数、開講学期、曜時限：担当者)	教育学学位プログラム科目 (単位数、開講学期、曜時限：担当者)
学校心理学		学校心理学(2単位、春AB、水1・2)：飯田(順)
教授・学習心理学		学習と学級の心理(2単位、秋学期・集中)：非常勤講師 (田島充士) 学習指導と授業(2単位、秋AB、金5・6)：樋口
発達心理学	臨床発達心理学(2単位、春AB(月4)春C(月3・4))：大六	青年の発達(2単位、秋AB、火1・2)：佐藤
臨床心理学	行動臨床心理学 (2単位、)：野呂・佐々木(隔年開講：令和4年度開講せず)	学校臨床心理(2単位、秋AB、火3・4)：沢宮
心理教育的アセスメント (基礎実習も含む)	臨床発達心理査定法特講 (2単位、集中講義：6/18,19,26,7/3)：岡崎・原島・野呂	心理教育的アセスメント(2単位、夏季集中、8/30-31,9/5-6) ：非常勤講師(宮崎圭子)
学校カウンセリング・コ ンサルテーション (基礎実習も含む)	行動問題面接指導法特講 (2単位、春AB(金1)、春C(金1・2))：野呂	スクールカウンセリング実習I(2単位、春AB)：令和4年 度開講未定、スクールカウンセリング実習II(2単位、通 年)：令和4年度開講未定 ※詳細は後日通知
特別支援教育	知的・発達障害指導法特講 (2単位、春AB(木1)春C(木1・2))：熊谷・岡崎	
生徒指導・教育相談・キャ リア教育	教育臨床発達援助論 (2単位、集中講義：7/9,10,16,17)：熊谷・野呂・佐々木 (隔年開講：令和5年度開講せず)	

* 「発達心理学」「臨床心理学」「心理教育的アセスメント」「学校カウンセリング・コンサルテーション」は、2科目中1科目の単位を取得すればよい。

* 科目の追加等の変更があった際には、改めて掲示等でお知らせします。

連絡先：野呂文行(障害科学学位 P:noro@human.tsukuba.ac.jp)、石崎和宏(教育学学位 P:ishizaki@geijutsu.tsukuba.ac.jp)

その他の情報へのリンク

履修に関する情報の入手方法：

- ・ 筑波大学 <https://www.tsukuba.ac.jp/>
- ・ 大学院便覧 <https://www.tsukuba.ac.jp/education/g-courses-handbook/index.html>
- ・ 科目情報の確認：教育課程編成支援システム（KdB） <https://kdb.tsukuba.ac.jp/>
- ・ 履修申請：TWINS <https://twins.tsukuba.ac.jp/>

集中授業の情報確認：

- ・ Web掲示板 <https://twins.tsukuba.ac.jp/campusweb/campusportal.do>
および掲示板、メーリングリスト

授業に関する諸連絡：Manaba <https://manaba.tsukuba.ac.jp>

ご不明な点がございましたら、以下の連絡先までお問い合わせください。

- 基礎科学サブプログラムの学生は、基本的に指導教員にお尋ねください。
指導教員の連絡先がわからない場合には、特任助教の早瀬先生にご連絡ください。

hayase.hironori.gm@u.tsukuba.ac.jp

- 次世代学校教育創成サブプログラム／国際教育サブプログラムの学生は、事務室にお尋ねください。

jimu-education-mp@un.tsukuba.ac.jp

電話：029-853-4604

開室時間：8時半～17時15分まで（昼休みは12時15分～13時15分まで）

筑波大学大学院 人間総合科学学術院
教育学学位プログラム 2022 年度 履修ガイド

令和 4 年 4 月 6 日 発行

筑波大学大学院 人間総合科学学術院 教育学学位プログラム

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1